

TelevisGo

ユーザーマニュアル

03/2019



この文書に記載されている情報には、一般的な説明および製品の性能に関する技術的特性が含まれています。この文書は、これらの製品に代わるものではなく、ユーザー固有のアプリケーションに対する適合性と信頼性を判断するために使用する必要もありません。ユーザーまたはインテグレーターは、問題の特定のアプリケーションまたは用途に応じて、製品のリスク分析、評価、および適切かつ完全なテストを実行する責任があります。シュナイダーエレクトリックもエリウェルも、そのパートナーまたは子会社も、この文書に含まれる情報の不正使用について法的または金銭的責任を負いません。改善または修正のための提案がある場合、またはこの出版物に誤りがある場合は、お問い合わせください。

ユーザーは、シュナイダーエレクトリックまたはエリウェルの書面による許可なしに、個人または非営利目的で使用する場合を除き、この文書のすべてまたは一部をいかなる形式でも複製しないことを認めます。また、ユーザーは、この文書またはそのコンテンツへのハイパーテキストリンクを作成しないことに同意します。文書およびそのコンテンツの個人的および非営利的な使用のための権利またはライセンスを付与しないものとします。その他の権利はすべて留保されています。

この製品の設置と使用は、該当するすべての州、地域、および地域の安全規制に準拠する必要があります。安全上の理由と、文書化されたシステムのデータへのコンプライアンスを強化するため、コンポーネントの修理はメーカーのみが行う必要があります。

技術的な安全要件のあるアプリケーションにデバイスを使用する場合は、関連する指示に従ってください。エリウェルソフトウェアまたはエリウェルが承認したその他のソフトウェアを当社のハードウェア製品と一緒に使用しないと、けが、損傷、または誤った動作結果を招く可能性があります。

この情報を順守しないと、けがや装置の損傷につながる可能性があります。
© 2019 Eliwell - すべて rights reserved.



安全情報.....	7
基本情報.....	9
CHAPTER 1. はじめに.....	13
1.1. 概要	13
1.2. 利用可能なアクセサリ.....	13
1.3. 梱包内容	14
1.4. 対応言語.....	14
1.5. 対応ブラウザ.....	14
1.6. 監視可能なネットワークタイプ.....	15
1.7. 互換性のあるモデム.....	16
1.8. 互換性のあるデバイス.....	16
1.9. TELEVISGOの構成.....	17
CHAPTER 2. 機械的設置.....	18
2.1. はじめに.....	18
2.2. 電源切断.....	18
2.3. 動作環境.....	19
2.4. 設置に関する注意事項.....	19
2.5. 設置.....	20
CHAPTER 3. 電氣的接続.....	21
3.1. 配線準備.....	21
3.1.1. 配線ガイダンス.....	22
3.1.2. 接続.....	23
3.1.3. 特定の取り扱いに関する考慮事項.....	23
3.2. インターフェイス.....	24
3.3. ネットワーク接続.....	26
3.3.1. デバイス設定.....	26
3.3.2. RS232と接続されたネットワーク	26
3.3.3. イーサネットと接続されたネットワーク	27

CHAPTER 4. 技術データ	28
4.1. 技術特性.....	28
4.2. 機械的特性.....	30
4.3. 電源.....	30
CHAPTER 5. ユーザーインターフェイス	31
5.1. ユーザーインターフェイスへのアクセス.....	31
5.2. ログイン.....	32
5.3. ようこそページ.....	33
5.4. ページ構成.....	33
5.5. ナビゲーションメニュー.....	33
5.6. 状態バー.....	34
5.7. 状態アイコン.....	34
5.8. ボタンとセレクター.....	36
CHAPTER 6. 設置とメンテナンス	38
6.1. デバイス設定.....	38
6.2. 物理ネットワークの表示.....	40
6.2.1. デバイステンプレートの管理.....	41
6.2.2. テンプレート管理.....	42
6.2.3. 仮想アラーム.....	43
6.2.4. テンプレートの作成/編集.....	43
6.2.5. コピー.....	44
6.2.6. インポート/エクスポートの構成.....	44
6.3. スキャンニング.....	45
6.3.1. インターフェースの定義.....	45
6.3.2. デバイスネットワークのスキャンニング.....	47
6.3.3. エネルギー資源の選択.....	50
6.3.4. アルゴリズムの選択.....	51
6.4. システム構成.....	52
6.4.1. 記録間隔の設定.....	52
6.4.2. 一般的なシステム設定.....	53
6.5. 取得の開始.....	59
6.6. ユーザー管理.....	59
6.6.1. ユーザーグループの表示.....	59
6.6.2. グループの管理.....	60
6.6.3. ユーザー管理.....	61

6.7. スケジュールアクション.....	62
6.7.1. 表示方法.....	63
6.7.2. スケジュールされたアクション管理.....	64
6.7.3. エクスポートされたデータの印刷.....	72
6.7.4. レポートのカスタマイズ.....	73
6.8. スケジュールアクションの開始.....	75
CHAPTER 7. アラーム管理.....	76
7.1. はじめに	76
7.2. アラーム管理ルール.....	76
7.3. 遅延時間.....	77
7.4. アラーム設定.....	77
7.4.1. 表示方法.....	77
7.4.2. アラームカテゴリ.....	78
7.4.3. アクション	79
7.4.4. 時間間隔.....	81
7.5. 構成.....	83
CHAPTER 8. 操作.....	84
8.1. リアルタイムデータ.....	84
8.2. データ表とチャート.....	85
8.2.1. ページ構成	85
8.2.2. ウィンドウ選択.....	86
8.2.3. 履歴テーブル.....	87
8.2.4. 履歴チャート.....	88
8.2.5. HACCPプロファイル.....	90
8.2.6. エネルギーレポート.....	90
8.2.7. エネルギーチャート.....	91
8.3. アラーム.....	91
8.3.1. リアルタイムアラーム.....	91
8.3.2. アラーム履歴.....	93
8.4. コマンド.....	94
8.5. パラメーター	96
8.5.1. デバイスパラメーター一覧.....	97
8.5.2. アルゴリズムパラメーター一覧.....	98
8.5.3. 複数デバイスの編集.....	101
8.6. RVD	102
8.7. レイアウト	103

CHAPTER 9. オフラインモード.....	105
9.1. オフラインモードへの入り方.....	105
9.2. オフライン設定.....	105
9.3. インターフェイス編集.....	106
9.4. 設定の適用.....	107
9.5. オフラインのアラーム.....	108
9.6. オフラインのスケジュールアクション.....	108
CHAPTER 10. HTTPSプロトコルの構成.....	109
10.1. 証明書	109
10.2. 他のPCへの証明書のインストール.....	110
10.3. 新しい証明書のインストール.....	111
CHAPTER 11. レイアウトデザイナー.....	112
CHAPTER 12. システムの更新とバックアップ.....	113
12.1. システムの更新	113
12.1.1. TELEVISGO	113
12.1.2. プラント.....	114
12.1.3. アルゴリズムドライバー.....	115
12.1.4. デバイスドライバ.....	116
12.2. ライセンスの更新.....	116
12.3. 再起動.....	117
12.4. システムのバックアップ/復元.....	117
12.5. アクティビティロギング.....	118
CHAPTER 13. 管理ツール.....	120
13.1. ディスクイメージの復元.....	120
13.2. ダウンロードファイル.....	120
CHAPTER 14. リモートデータアクセスプロトコル.....	121
14.1. データプロトコル.....	121
CHAPTER 15. よくあるご質問.....	122
15.1. FAQ.....	122



重要情報

注意

指示を注意深く読み、機器を視覚的に確認し、機器の設置、運用、オーバーホールまたはサービスを試みる前に、機器をご使用ください。

次の警告メッセージは、潜在的な危険性を警告したり、手順を明確化または簡素化できる情報に注意を喚起したりするために、この文書または機器に表示される場合があります。



危険警告ラベルにこの記号が表記されているのは、指示に従わなかった場合に人身傷害を引き起こす可能性のある電氣的危険の存在を示しています。



これは安全警告記号です。人身傷害の潜在的な危険性をユーザーに警告するために使用されます。重傷または死亡の危険を回避するために、この記号に続くすべての安全上の警告に従ってください。

危険

危険 回避しない限り、死亡または重傷を引き起こす危険な状況を示します。

警告

警告 回避しないと、死亡または重傷を招く可能性がある潜在的に危険な状況を示します。

注意

注意 回避しないと、軽度または中程度の傷害を引き起こす可能性のある危険な状況を示します。

NOTICE

NOTICE 物理的な怪我に関連しない手順に関連して使用されます。

ご注意ください

電気機器は、有資格者のみが設置、使用、修理を行わなければなりません。

エリウェルもシュナイダーエレクトリックも、この資料の使用に起因する結果について責任を負いません。有資格者とは、電気機器の構造と操作に関する特定のスキルと知識を持ち、固有の危険を回避する方法に関する安全トレーニングを受けた人です。

資格

このマニュアルおよび他のすべての関連する製品文書の内容に精通し、理解している適切な訓練を受けた人のみが、この製品の使用を許可されています。

有資格者は、パラメータ設定の変更、パラメータ値、および一般的に機械、電気、または電子機器から生じる可能性のある危険を検出できる必要があります。

有資格者は、システムを設計および実装する際に遵守しなければならない労働災害防止のための基準、規定、および規制に精通している必要があります。

使用目的

デバイスは、提供された指示に従って設置および使用する必要があります。特に、通常の状態では、危険な通電部品にアクセスできないようにする必要があります。
TelevisGoは、データの監視、記録、処理、および食料品の処理、保管、流通に使用される冷凍システムの接続デバイスのリモート表示とメンテナンスの監督者です。
用途に応じて水やほこりから適切に保護する必要があります、また、キー付きまたはツール付きのロック機構を使用する場合にのみアクセスできる必要があります。

禁止されている使用法

許可されている以外の使用は実際には禁止されています。
製品規制で示されている保護デバイスは、デバイスの外部で実装する必要があります。

責任とリスク

シュナイダーエレクトリックとエリウェルの責任は、現在および他の補足文書に含まれるガイドラインに基づくこの製品の適切かつ専門的な使用に限定され、以下に起因する損害には適用されません（ただし、これらに限定されません）。

- 不特定の設置/使用、特に、この文書に記載されている設置国または指定国で施行されている法律の安全要件に違反している。
- 実際の設置条件で感電、水、塵に対する適切な保護を提供しない機器を使用する。
- 鍵付きまたはツール付きのロック機構を使用せずに危険な部品にアクセスできる機器での使用。
- 製品の改ざんおよび改変。
- 設置国で施行されている規制に準拠していない機器の設置/使用。

廃棄



製品は、廃棄物処理に有効な現地の基準に従って個別に廃棄する必要があります。

基本情報



一覧

文書範囲

この文書では、商業用冷凍システムとそのソフトウェアの監視、制御、リモート管理のための TelevisGo およびその設置方法と配線方法について説明します。

この文書を使用して：

- TelevisGo デバイスを設置、使用する
- 使用する TelevisGo デバイスの機能に精通する

注：デバイスの設置、操作、または保守を行う前に、この文書とすべての関連文書を注意深く読んでください。

有効性に関する注意

この文書で説明されているデバイスの技術特性は、エリウェルの Web サイト (www.eliwell.com) からオンラインでも入手できます。

本書で提示される特性は、オンラインで表示される特性と同じでなければなりません。改善の方針に沿って、明確さと正確さを改善するために、コンテンツを修正する場合があります。文書とオンライン情報に違いがある場合は、オンライン情報を参考にしてください。

関連文書

文書タイトル	コード
Manual TelevisGo Modbus_TCP BMS Config Tool - IT	9MA00270
Manual TelevisGo Modbus_TCP BMS Config Tool - EN	9MA10270
Technical Sheet TelevisGo with Win7 EN-IT-ES-DE-FR-RU	9IS54413
Technical Sheet TelevisGo with Win7 AR	9IS54461
Technical Sheet シリアルアダプター 6L	9IS64615
Technical Sheet TelevisGo Spare SSD 6L	9IS64599

Y これらの技術資料およびその他の技術情報は、当社の Web サイト www.eliwell.com からダウンロードできます。

危険

感電、爆発または閃光の危険

- カバーまたはドアを取り外したり、この機器の対応するハードウェアガイドで指定されている特定の条件を除き、アクセサリ、ハードウェア、ケーブル、またはワイヤを取り付けたり取り外したりする前に、接続デバイスを含むすべての機器からすべての電源を切断してください。
- 常に適切な定格の電圧検出デバイスを使用して、いつでも電源がオフしているかを確認してください。
- 電源を復元する前に、すべてのカバー、ハードウェア機器、ケーブル交換して固定してください。
- すべてのデバイスについて、効果的な接地接続があることを確認してください。
- 機器および関連製品を操作するときは、指定された電圧のみを使用してください。

これらの指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

この機器は、危険ではない場所で動作するように設計されており、危険な環境を生成する（または生成する可能性のある）アプリケーションが隔離されている必要があります。

危険

爆発の可能性

- このデバイスは、危険でない場所にのみ設置して使用してください。
- 引火性冷媒を使用するアプリケーションなど、危険な雰囲気が発生させる可能性のあるアプリケーションでこのデバイスを使用しないでください。

これらの指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

有害物質を生成する可能性のあるアプリケーションでの制御機器の使用に関する情報については、関連する国内規制機関または認証機関にお問い合わせください。

警告

制御不能

- コントローラの種類、構成、または数に変更を監視するたびに、新しいネットワークスキャンを実行します。
- システム設計者は、制御回路の潜在的な故障モードを考慮し、一部の重要な制御機能については、回路故障中および故障後に安全な状態に到達する手段を提供する必要があります。
重要な制御機能の例には、緊急停止および移動終了の停止、電源遮断、再起動があります。
- 重要な制御機能のために、TelevisGoとは別の冗長制御回路を用意する必要があります。
- 制御回路には、プロキシモデムやネットワークゲートウェイなどの通信装置が含まれる場合があります。伝送遅延または突然の接続障害の影響に留意してください。
- 事故防止および現地の適用される安全指令に関するすべての基準を順守してください。
- この機器のすべての実装は、個別に完全にテストする必要があります。
試運転前に適切な操作を確認してください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

TelevisGoとシリアルアダプター間の通信は電磁干渉の影響を受けやすく、アラーム信号の送信が不可能な場合があります。

警告

意図しない機器の操作

- 人員や機器に危険がある場合は、適切な安全インターロックを使用してください。
- 装置が機能安全装置として指定されており、適用される規制と標準に準拠している場合を除き、安全重視の機械機能でこの装置を使用しないでください。
- この機器を分解、修理、または改造しないでください。
- 未使用の端子や「接続なし (N.C.) 」と表示された端子にワイヤを接続しないでください。
- TelevisGoおよびシリアルアダプターは、EMC妨害レベルが標準EN61000-6-1で指定された制限を下回る環境（住宅、商業、および軽工業環境）で設置可能です。
- TelevisGoがアクティブであることを確認するために、「Life Test」機能（この機器の対応するハードウェアガイドで指定されているとおり）を構成します。定期的な電子メールが受信されない場合、何かがTelevisGoまたは電子メール送信サービスの誤動作を引き起こしています。
- すべてのRS-485バスハブの等価負荷は、30単位負荷を超えてはなりません。
（ユニット負荷の定義については、標準TIA / EIA-485-Aを参照してください）。
- 監視システムを接続するときは、特別なシールド付き「ツイストペア」ケーブルを使用します
（例：BELDENケーブル、モデル8762）。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

警告

過熱および火災のリスク

日光や大気中の物質に直接さらされないように、保護された場所にのみ機器を設置して使用してください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

警告

意図しない機器の操作

この機器には、エリウェルが承認したソフトウェアのみを使用してください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

Webサイトのページは、システムをセットアップおよび監視し、WebブラウザからWebサーバー経由で機器にアクセスするように設計されています。

信頼できるCA（認証局）によって生成されたTLS証明書をインストールするときは、常にセキュアプロトコル（HTTPS）を使用することをお勧めします。

はじめに

作業領域を効果的に保護しないでこの製品を装置で使用しないでください。装置の作業領域を効果的に保護できないと、装置のオペレーターが重傷を負う可能性があります。

警告

保護のない機器

このソフトウェアおよび対応する自動化機器は、作業領域が保護されていないデバイスでは使用しないでください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

この自動化機器に対応するソフトウェアは、さまざまな産業および商業プロセスを制御するために使用されます。

ユーザー、装置メーカー、またはシステムインテグレーターのみが、装置の準備、操作、および保守中に存在するすべての条件と要因を認識し、どの自動化機器と対応する安全装置とインターロックを適切に使用できるかを決定できます。特定のアプリケーション向けに自動化および制御機器、および対応するソフトウェアを選択する場合は、該当するすべての地域および国の標準および/または規制も考慮する必要があります。さらに、National Safety Council（米国で全国的に認められている）による事故防止のためのマニュアルは、非常に有用な情報を提供します。

機器を試運転する前に、作業エリアに関連するすべての適切な安全装置と機械/電気インターロックが取り付けられていることを確認してください。作業領域の保護に関連するすべてのインターロックと安全装置は、対応する自動化ツールとソフトウェアプログラミングツールと調整する必要があります。

起動とテスト

設置後、通常の操作に電気制御および自動化機器を使用する前に、システムは、機器が適切に機能することを確認するために、有資格のスタッフによって実施される起動テストを受ける必要があります。

このチェックの準備が行われ、完全に満足いく方法で実行するために必要な時間が考慮されることが重要です。

警告

機器を操作するときの危険

- すべての設置および準備手順が完了していることを確認してください。
- 動作テストを実行する前に、使用されているすべてのロックまたはその他の一時的な拘束要素を取り外します。
- 機器からすべての工具、測定器、ゴミを取り除いてください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

機器の文書タイトルで推奨されているすべてのスタートアップテストを実行します。後日参照できるように、すべての機器に関する文書を保管してください。ソフトウェアは、シミュレーション環境と実際の環境の両方でテストする必要があります。完成したシステムに短絡が発生していないこと、および現地の規制（米国のNational Electrical Codeなど）に従って一時的なアースが取り付けられていないことを確認してください。高いポテンシャルでテストを実行する必要がある場合は、機器を誤って損傷しないように、機器の文書タイトルに記載されている推奨事項に従ってください。

機器を電源に接続する前に：

- 機器からすべての工具、測定器、ゴミを取り除いてください。
- 装置のケーシングのカバーを閉じてください。
- 入力電源ラインからすべての一時的なアースを取り外してください。
- メーカーが推奨するすべての起動テストを実行してください。

チャプター 1

はじめに

1.1. 概要

TelevisGoは、データの監視、記録、処理、および食料品の処理、保管、流通に使用される冷凍システムの接続デバイスのリモート表示とメンテナンスの監視システムです。

TelevisGoは、データの記録、アラームの管理、およびネットワーク内のデバイスのデータへのリモートアクセスに使用でき、HACCPデータとメンテナンス作業の管理を可能にします。

次の接続システムがあります。

- イーサネット通信インターフェース (統合)
- GSM モデム (参照 [“1.7. 互換性のあるモデム” 16ページ目](#))
- USBポート

TelevisGoは、追加のソフトウェアのインストールを必要とせずに、Webブラウザを介してリモートでアクセスできます。(参照 [“1.5. 対応ブラウザ” 14ページ目](#))。

多言語ユーザーインターフェースは10言語 (イタリア語、英語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、オランダ語、ポーランド語、ポルトガル語、中国語) をサポートしていますが、他の言語は後でインストールできます。

TelevisGoは、中央システムにデータを転送するオプションを備えた新しい機能で更新できるソフトウェアプラットフォームです。

このライセンスでは、最大224個のデバイスと3000個の取得ポイントを管理できます。システムは、リモートアクセス経由で管理者として制御できます。(参照 [“1.9. TELEVISGOの構成” 17ページ目](#))。

1.2. 利用可能なアクセサリ

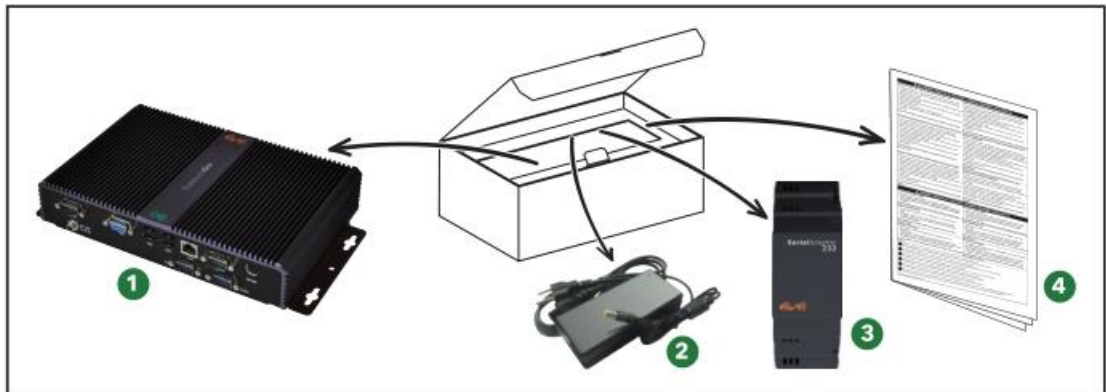
アプリケーションの要件に応じて、次のアクセサリを個別に購入できます。:

アクセサリ	内容
GSMモデム	SIEMENSタイプTC35テクノロジーに基づくRS232インターフェースを備えたGSMモデム。COM3またはCOM4に接続する必要があります
シリアルアダプター	RS232 / RS485インターフェースを備えたモジュール。COM1またはCOM2に接続する必要があります。
Lanアダプター	イーサネット / RS485インターフェースを備えたモジュール。Lanアダプターは、MicronetまたはModbusプロトコルを使用したデバイスのネットワークをサポートします。
Wi-Fi Lan アダプター	Lanアダプターと同様ですが、Wi-Fi / RS485インターフェースを備えています。
BusAdapter	エリウエルデバイスをRS485フィールドバスに接続できるTTL / RS485通信インターフェースを備えたデバイス。
Radio アダプター	エリウエルデバイスをRS485フィールドバスに接続できるTTL / RS485ワイヤレス通信インターフェースを備えたデバイス。

製品コードについては、エリウエル営業所にお問い合わせください

1.3. 梱包内容

TelevisGoデバイスの梱包箱には以下が含まれます。



ラベル	内容
1	TelevisGoデバイス
2	電源と電源ケーブル
3	TelevisGo指示書
4	シリアルアダプターデバイス (モデルによります)

1.4. 対応言語

現在、次の言語がソフトウェアでサポートされています。

- イタリア語
- 英語
- スペイン語
- ドイツ語
- フランス語
- ロシア語
- オランダ語
- ポーランド語
- ポルトガル語
- 中国語

1.5. 対応ブラウザ

TelevisGoは、次のブラウザと対応するバージョンで確認されています。

- Internet Explorer 8 (またはそれ以降のバージョン)
- Mozilla Firefox 54 (またはそれ以降のバージョン)
- Google Chrome 59 (またはそれ以降のバージョン)

Internet ExplorerでTelevisGoのWebページを適切に表示するには、[ツール]メニューの[互換表示設定]機能を有効にし、TelevisGoのアドレスを追加する必要があります。

クイックナビゲーション

ナビゲーションをより速く、より効率的にするには：

1. ブラウザのキャッシュを有効にして、接続するたびに画像が転送されるのを防ぎます。
2. ページの読み込みが完了する前に、ページに部分的なデータを表示するブラウザを使用します。

ブラウザキャッシュの使用

誤ったキャッシュ設定は、更新されたページの表示方法に影響する場合があります。アプリケーションの更新後にキャッシュをクリアします。

次の設定を選択します：

- **Microsoft Internet Explorer:**
 - ツールウィンドウ「インターネットオプション」一般「閲覧履歴」設定
 - 「自動」に設定された保存ページの最新バージョンを検索します。
- **Google Chrome:**
 - デフォルトですでに有効化されています。
- **Mozilla Firefox:**
 - [ツール]ウィンドウ「オプション」説明「ネットワーク
 - 「自動キャッシュ管理を上書きする」は選択しないでください。

1.6. 監視されるネットワークタイプ

TelevisGoとシリアルアダプター間の通信は電磁干渉を受けやすく、アラーム信号の送信が不可能になる場合があります。

警告

意図しない機器の操作

- EMC妨害レベルが標準EN61000-6-1（住宅、商業、軽工業環境）で指定された制限を下回る環境にTelevisGoおよびシリアルアダプターをインストールします。
- TelevisGoがアクティブであることを確認するために、「LifeTest」機能（この機器の対応するハードウェアガイドで指定されているとおり）を構成します。定期的な電子メールが受信されない場合、何かがTelevisGoまたは電子メール送信サービスの誤動作を引き起こしています。
- すべてのRS-485バスハブの等価負荷は、30単位負荷を超えてはなりません。
（ユニット負荷の定義については、標準TIA / EIA-485-Aを参照してください）。
- 監視システムを接続するときは、特別なシールド付き「ツイストペア」ケーブルを使用します（例：BELDENケーブル、モデル8762）。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

TelevisGoは、次の操作で認証されています。

- シリアルアダプターモジュールをゲートウェイとして使用するRS232 / RS485ネットワーク
- Lanアダプターモジュールをゲートウェイとして使用するイーサネット / RS485ネットワーク

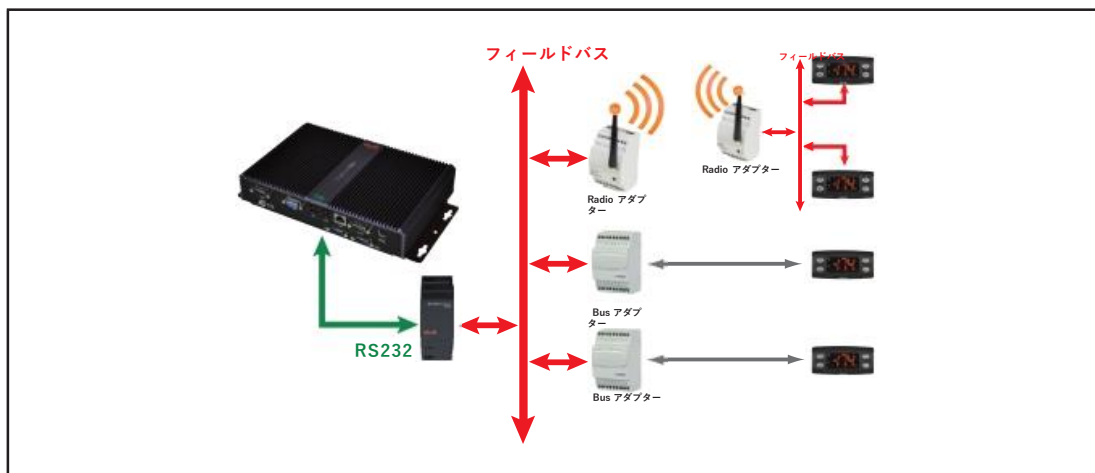
NOTICE

操作不可能なデバイス

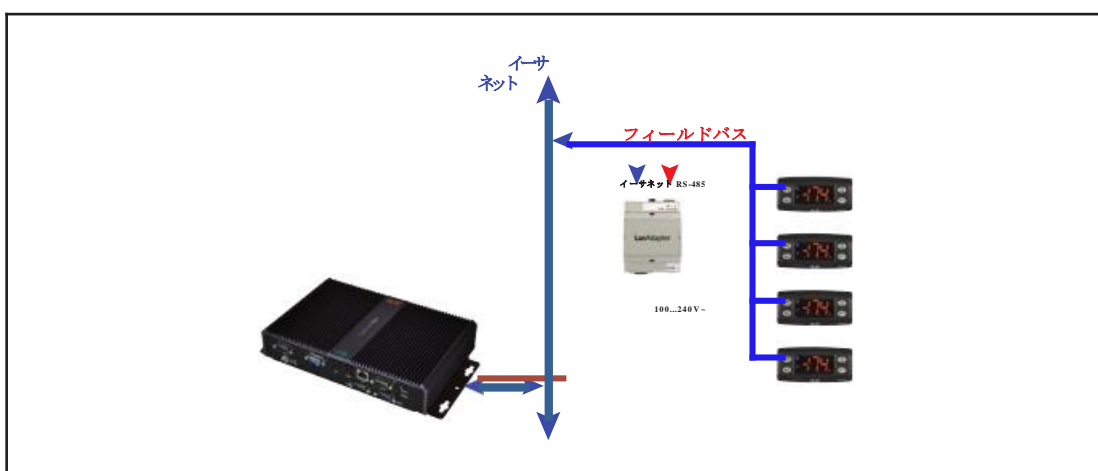
エリウエルは、最大10個のLanアダプターを使用するネットワークの正しい操作を保証します。

これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

以下は、使用できるネットワークの例です：



RS232 / RS485ネットワーク例



イーサネット / RS485ネットワーク例

イーサネットネットワークでは、信号の伝播はバス内のトラフィックに依存します。LANアダプターのアクセス時間は決まっておらず、TelevisGoが可能性のあるリンクなしでさまざまなリソースにアクセスするのにかかる時間に影響する可能性があります。

1.7. 互換性のあるモデム

TelevisGoは、RS232インターフェイスを備えたGSMモデムと互換性があります。

- SIEMENS タイプTC35
- 「four faith F1103」モデル（製品コードSAMGPRS35AL00）

NOTICE

操作不可能なデバイス

SIMカードのPINコードが無効になっていることを確認してください。

これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

GSMモデムは、RS232経由で直接接続できます。

1.8. 互換性のあるデバイス

互換性のあるデバイスリストと対応するドライバーは、Webサイトwww.eliwell.comで入手できます。

1.9. TELEVISGOの構成

次の考慮事項に特に注意してください。

- プリセットのタイムゾーンはGMT + 1です。
- 管理者ユーザーのプリセットパスワードは0（ゼロ）です。ユーザーは変更する責任があります。システムへの安全で予約されたアクセスを保証するためのパスワードを記憶します。
- TelevisGoには、ファルダC:\Yeliwellの読み取りおよび書き込み権限を持つFTPサーバーがあります。FTPサーバーへのアクセスは次の方法で行われます。

- ユーザー: **Go**
- パスワード: **GoZilla**
- TCP/IPポート: **21**.

NOTE: FTPを使用してレポートをダウンロードし、それらを削除してディスク上でスペースを解放する必要があります。TelevisGoアプリケーションファイルを置換または削除するために使用しないでください。

• TelevisGoは、アプリケーションUltraVNCを介してリモートでアクセスできます。

プリセットアクセスアカウントは次のとおりです。

- ユーザー: **TSユーザー**
- パスワード: **TS**
- TCP/IPポート: **5900**

アクセス方法を変更するには、プログラムのプロパティを使用します。

ユーザーTSユーザーは、Windowsの管理者グループに属します。

- メンテナンス手順のたびにUSBスティックを取り外します。

TelevisGoは、プリインストールされたアプリケーションの実装専用です。

他のタイプのアプリケーションの設置は、システム全体の実行に悪影響を与える可能性があります。許可されている唯一の設置は、ウイルス対策プログラムです。

NOTICE

操作不可能なデバイス

- ウイルス対策プログラム以外のソフトウェアをTelevisGoにインストールしないでください。
- USBスティックを接続したままにしないでください。接続すると、コンピューターが適切に再起動できなくなる場合があります。
- インストールされているウイルス対策プログラムが、TelevisGoで使用されるTCP / UDPポートをブロックしないようにしてください。
- インストールされているウイルス対策プログラムがTelevisGoと競合しないことを確認してください。
- TelevisGoが安全なソフトウェア（ホワイトリスト）に含まれていることを確認し、更新後に再起動するように設定します。

これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

ユーザーは、インストールするウイルス対策プログラムを選択する責任があります。

ウイルス対策プログラムのアクションがパフォーマンスに影響する可能性があることに注意してください。

アンチウイルスプログラムがTelevisGoによって使用されるTCP / UDPポートをブロックしないようにしてください。初めて使用するときにプリセットのパスワードを変更します。また、他の人がアクセスできるようにすることの意味を考慮する必要があります。

警告

不正アクセス

- すべてのプリセットパスワードをすぐに変更し、新しい安全なパスワードを設定します。
- 権限のない人または資格のない人にパスワードを回さないでください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

NOTE: 安全なパスワードは、権限のない人の間で共有または配布されておらず、個人情報または明らかな情報が含まれていないパスワードです。さらに、大文字と小文字の文字と数字の組み合わせにより、セキュリティが強化されます。7文字以上のパスワードを選択してください。50文字を超えないようにし、英数字のみを使用してください。

NOTE: TelevisGo管理者のWindowsパスワードは「空白」です。これにより、「リモートデスクトップ」アプリケーションを介した接続が不可能になります。

CHAPTER 2

機械的設置

2.1. はじめに

設置を開始する前に、このCHAPTERを注意深くお読みください。

ユーザー、装置メーカー、インテグレーターのみが、機械の設置とセットアップ、操作、および保守中に存在するすべての条件と要因を認識し、どの自動化機器と対応する安全デバイスとインターロックを適切に使用できるかを決定できます。

特定のアプリケーション向けに自動化および制御機器（およびその他の関連機器またはソフトウェア）を選択する場合は、該当するすべての地方、地域、または国家の標準および/または規制も考慮する必要があります。

特に、機械に適用される安全基準、電気的要件、および法的仕様が遵守されていることを確認してください。

警告

規制の非互換性

使用するすべての機器および設計されたシステムが、適用されるすべての地域、地域、および国内の法律に準拠していることを確認してください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

2.2. 電源切断

制御システムをインストールする前に、すべてのオプションとモジュールを組み立てて設置します。機器を分解する前に、壁またはパネルから制御システムを取り外します。

危険

感電、爆発または閃光の危険

- カバーまたはドアを取り外したり、ハードウェアガイドで指定されている特定の条件を除き、アクセサリ、ハードウェア、ケーブル、ワイヤを取り付けたり取り外したりする前に、接続されたデバイスを含むすべての機器からすべての電源を切断してください。
- 常に適切な定格の電圧検知デバイスを使用して、指示された場所でいつでも電源がオフになっていることを確認してください。
- 電源を復元する前に、すべてのカバー、ハードウェア機器、およびケーブルを交換して固定してください。
- 必要とするすべてのデバイスについて、効果的な接地接続があることを確認してください。
- この機器および関連製品を操作するときは、指定された電圧のみを使用してください。

これらの指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

2.3. 動作環境

この機器は、非危険な場所で動作するように設計されており、危険な環境を生成する（または生成する可能性のある）アプリケーションが隔離されています。この機器は、危険な雰囲気常在でないことが知られている地域にのみ設置してください。

⚠ 危険

爆発の可能性

- このデバイスは、危険でない場所にのみ設置して使用してください。
- 可燃性冷媒を使用するアプリケーションなど、危険な雰囲気を生成する可能性のあるアプリケーションでこのデバイスを使用しないでください。

これらの指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

有害物質を生成する可能性のあるアプリケーションでの制御機器の使用に関する情報については、関連する国内規制機関または認証機関にお問い合わせください。

⚠ 警告

意図しない機器の操作

本書の「技術データ」セクションに記載されている条件に従って機器を設置して使用してください。
これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

2.4. 設置に関する注意事項

⚠ 警告

意図しない機器の操作

- 人員や機器に危険がある場合は、適切な安全インターロックを使用してください。
- 電力線および出力回路は、特定の機器の定格電流および電圧に関する地域および国の規制要件に準拠して配線および融着する必要があります。
- 安全性が重要な機械機能でこの装置を使用しないでください。
- この機器を分解、修理、または改造しないでください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

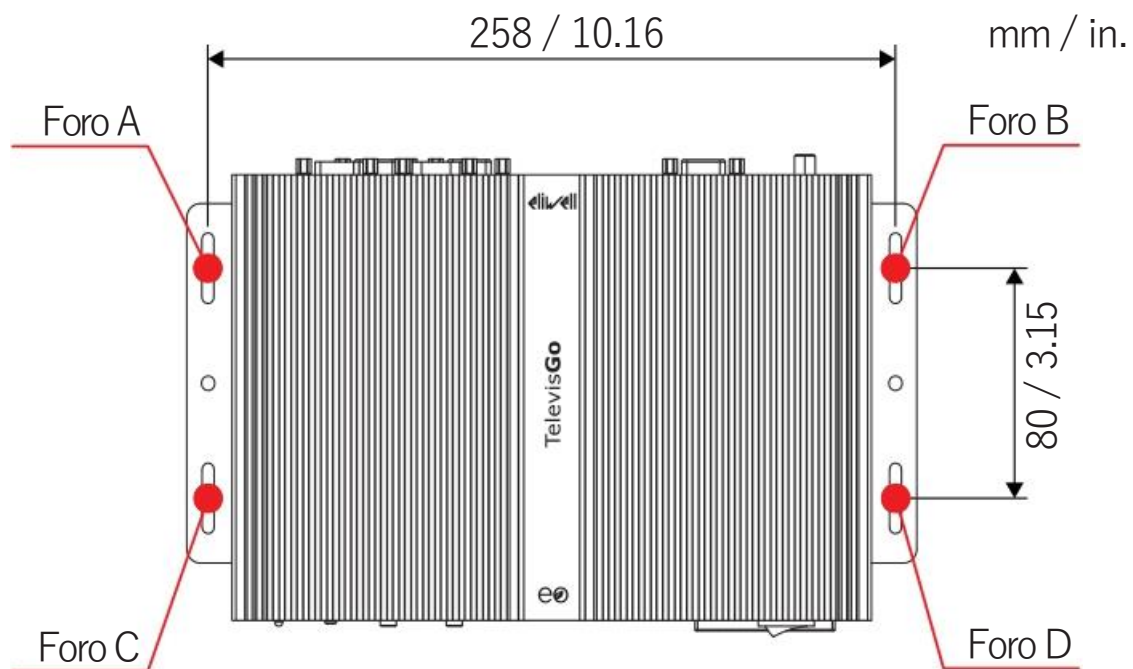
機械的寸法については、“4.2. 30ページの「機械的特性」を参照してください。

2.5. 設置

TelevisGoは、壁またはパネルの取り付け用に設計されています（平面上）。

NOTE: TelevisGoは屋内での使用にのみ適しています。屋外に設置しないでください。

取り付けるときは、下図に示す穴に対応する4本のネジ（別売）を使用して、装置を壁/パネルに固定します。



CHAPTER 3

電氣的接続

3.1. 配線準備

以下の情報は、配線ガイダンスと、TelevisGoデバイスを使用する際に観察する手順について説明しています。

危険

感電、爆発または閃光の危険

- カバーまたはドアの取り外し、ハードウェアガイドで指定されている特定の条件を除き、アクセサリ、ハードウェア、ケーブル、またはワイヤーの取り付けまたは取り外しを行う前に、接続されたデバイスを含むすべての機器からすべての電源を切断してください。
- 常に適切な定格の電圧検知デバイスを使用して、指示された場所でいつでも電源がオフになっていることを確認してください。
- 電源を復元する前に、すべてのカバー、ハードウェアコンポーネント、およびケーブルを交換して固定してください。
- それを必要とするすべてのデバイスについて、効果的な接地接続があることを確認してください。
- この機器および関連製品を操作するときは、指定された電圧のみを使用してください。

これらの指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになります。

警告

過熱および火災のリスク

日光や大気中の物質に直接さらされないように、保護された場所にのみ機器を設置して使用してください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

警告

意図しない機器の操作

- EMC妨害レベルが標準EN61000-6-1（住宅、商業、および軽工業環境）で指定された制限を下回る環境にTelevisGoおよびシリアルアダプターを設置します。
- TelevisGoがアクティブであることを確認するために、「LifeTest」機能（この機器の対応するハードウェアガイドで指定されているとおり）を構成します。定期的な電子メールが受信されない場合、何かがTelevisGoまたは電子メール送信サービスの誤動作を引き起こしています。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

⚠ 警告

制御不能

- 監視対象のコントローラーの種類、構成、または数に変更されるたびに、新しいネットワークスキャンを実行します。
 - システム設計者は、制御回路の潜在的な故障モードを考慮し、一部の重要な制御機能については、回路故障中および故障後に安全な状態に到達する手段を提供する必要があります。重要な制御機能の例には、緊急停止および移動終了の停止、電源遮断、再起動があります。
 - 重要な制御機能のために、TelevisGoとは別の冗長制御回路を用意する必要があります。
 - 制御回路には、プロキシモデムやネットワークゲートウェイなどの通信装置が含まれる場合があります。伝送遅延または突如の接続障害の影響に留意してください。
 - 事故防止および現地で適用される安全指令に関するすべての基準を順守します。
 - この機器のすべての実装は、個別に完全にテストする必要があります。
- 試運転前に適切な操作を確認してください。
- この機器を分解、修理、または改造しないでください。
- これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。**

3.1.1. 配線ガイダンス

TelevisGoデバイスの配線を参照して、次の基準を順守してください。

- 通信配線を電源配線とは別にしてください。
- これら2種類のケーブルを別々のレースウェイに配置します。
- 動作条件と周囲が仕様値に準拠していることを確認してください。
 - 電圧と電流の要件に適した適切な直径のワイヤを使用します。
 - 銅線を使用します（必須）。
 - ネットワークおよびフィールドバスには、ツイストペアシールド線を使用します。
- 通信接続には、正しく接地されたシールド線を使用してください。
- これらの接続にシールド線を使用できない場合、電磁干渉により信号が劣化する可能性があります。信号が劣化すると、デバイス、モジュール、または接続された機器が正しく動作しなくなる可能性があります。

⚠ 警告

意図しない機器の操作

- すべての通信信号にシールド線を使用します。
 - すべての通信信号のワイヤシールドを1点で接地します。
 - デバイスの信号ケーブル（通信および相対的な電源）は、電源ケーブルとは別に配線する必要があります。
 - 接続の長さをできるだけ短くし、電氣的に接続された部品に巻き付けないようにします。
- これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。**

3.1.2. 接続

TelevisGoデバイスには、次の通信ポートがあります。

- 4 x RS232シリアル
- 1 x RJ45イーサネットポート

シリアル回線を接続するときは特に注意してください。

配線を間違えると、機器の動作不良や、完全に動作しなくなる可能性があります。

RS232/RS485

接続は、シリアルアダプターモジュールを介して行われ、システムデバイスは、断面積が0.5 mm²のワイヤを備えたケーブルを介して接続する必要があります。

•RS485用の特別なシールド付き「ツイストペア」ケーブルを使用します（例：BELDENケーブル、モデル9842）。ケーブルを敷設するときは、ITの標準EN 50174の指示に従ってください。配線。データ伝送回路を電力線から分離するように特に注意してください。

•デバイスに直接接続できるRS485ネットワークの長さは1200 mです。（ANSI TIA / EIA RS-485-AおよびISO 8482：1987（E）に準拠）。

•すべてを使用する必要のある3つのシングル端子台（信号には「+」および「-」、0 V信号接地には「G」）。

•ネットワークには、BUS DAISY CHAINトポロジと120 Ωの終端抵抗が必要です-BUSの両端にある端子「+」と「-」の間で1/4 W、またはデバイスですでに提供されている端子を有効にします。

イーサネット

イーサネット接続により、TCP / IPプロトコルを介したイーサネットネットワークを介したTelevisGo通信が可能になります。主なイーサネットの特徴は次のとおりです：

- プロトコル： Modbus TCP/IP
- コネクタタイプ RJ45
- ドライバー 10 M / 100 M、自動ネゴシエーション付き
- ケーブルタイプ： シールド付き

3.1.3. 特定の取り扱いに関する考慮事項

機器を取り扱うときは、静電気放電による損傷を避けるように注意してください。特に、シールドされていないコネクタと特定のケースでは、オープン回路基板は静電放電に対して脆弱です。

▲ 警告

静電気放電による意図しない機器の操作

- 設置の準備ができるまで、機器を保護パッケージに入れたままにします。
- 装置を取り扱う前に、接地された表面または型式承認された帯電防止マットに触れて、常に身体から静電気を放電してください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

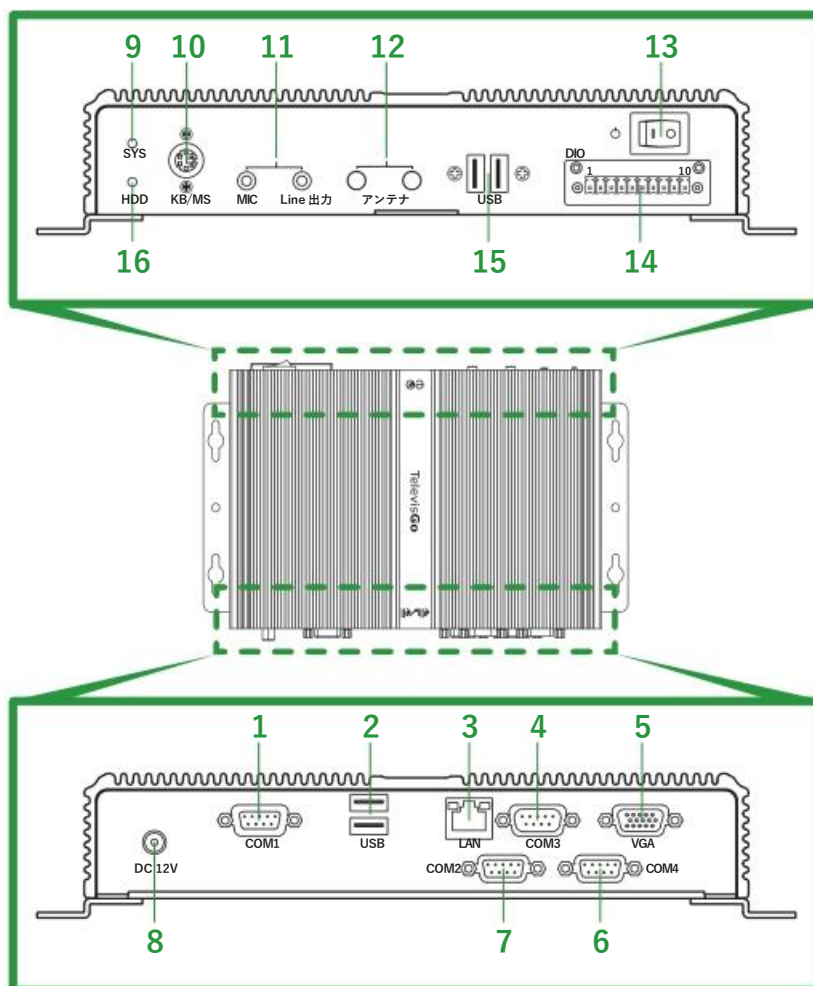
作業を実行する前に、デバイスが適切な外部電源に接続されていることを確認してください。

“4.3. 30ページの「電源」.を参照してください。

3.2. インターフェイス

ウィンドウズ7搭載モデル

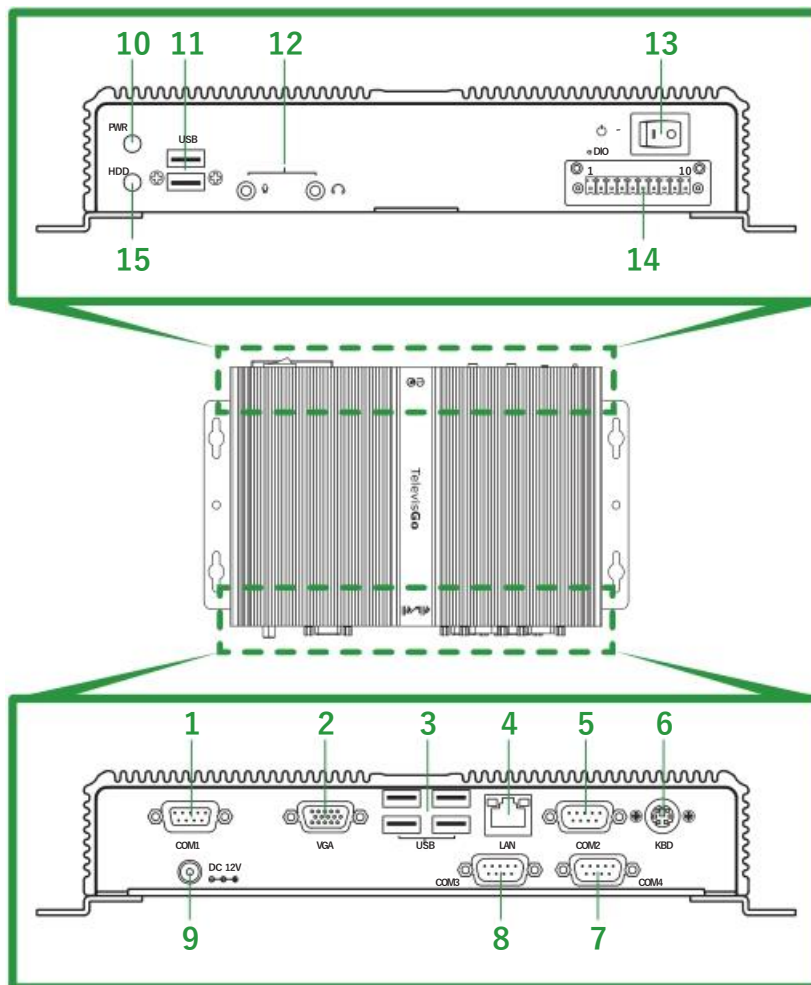
ウィンドウズ7搭載のTelevisGo搭載のインターフェイスは次のとおりです。



番号	項目	説明
1	COM1	COM1シリアルポート (RS232) -シリアルアダプター用
2	USB	2x USB 2.0ポート
3	LAN	イーサネットポート (LAN RJ45)
4	COM3	COM3シリアルポート (RS232) - 外部用モデム
5	VGA	VGAコネクタ外部用モニター接続
6	COM4	COM4シリアルポート (RS232) - 外部用モデム
7	COM2	COM2シリアルポート (RS232) - シリアルアダプター用
8	DC 12V	12 Vdc 電源コネクタ
9	SYS	電源LED
10	KB/MS	PS2 コネクター 外部用キーボード接続
11	MIC - ラインアウト	オーディオミニジャックソケット
12	アンテナ	未使用
13	⏻	ON/OFFボタン
14	DIO	未使用
15	USB	2x USB 3.0ポート
16	HDD	HDD 操作LED

ウィンドウS XP搭載モデル

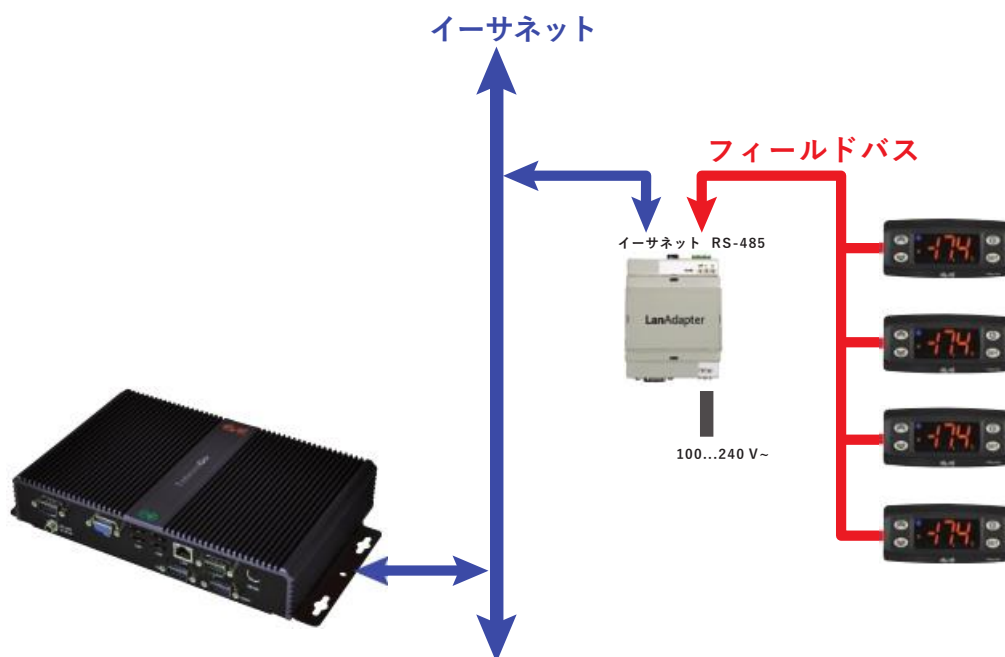
:ウィンドウS XP搭載のTelevisGo搭載のインターフェイスは次のとおりです。



番号	項目	説明
1	COM1	COM1 シリアルポート (RS232) - シリアルアダプター用
2	VGA	VGA コネクター 外部用 モニター接続
3	USB	4x USB 2.0ポート
4	LAN	イーサネットポート (LAN RJ45)
5	COM2	COM2 シリアルポート (RS232) - シリアルアダプター用
6	KBD	PS2 コネクター 外部用 キーパッド接続
7	COM4	COM4 シリアルポート (RS232) - 外部用モデム
8	COM3	COM3 シリアルポート (RS232) - 外部用モデム
9	DC 12V	12 Vdc 電源コネクター
10	PWR	電源LED
11	USB	2x USB 2.0ポート
12	◎ ◎ ◎	オーディオミニジャックソケット
13	⏻	電源ON/OFFボタン
14	DIO	未使用
15	HDD	HDD 操作LED

3.3.3. イーサネットと接続されたネットワーク

イーサネット / RS485ネットワークの接続は、次のようにLanアダプターを介して行われます。:



この例では、次のデバイスが使用されました：

- 1 Lanアダプター
- 4 IDPlusデバイス

イーサネットネットワークでは、信号の伝播はバスのトラフィックに依存します。LANアダプターのアクセス時間は決定論的ではなく、TelevisGoがリンクなしでさまざまなリソースにアクセスするのにかかる時間に影響を与える可能性があります。

NOTICE

操作不可能なデバイス

接続に問題がある場合は、ネットワークに割り当てられたプロファイルが正しいかどうかを確認し、必要に応じて変更します。

これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

チャプター 4

技術データ

4.1. 技術特徴

項目	説明
適用規格	EN 60950-1
機器のモビリティ:	モバイル
電源への接続:	主電源に直接接続されていない
IP規格:	IP20
操作条件:	連続
設置エリアへのアクセス:	オペレーターがアクセス可能
汚染度:	2
電源供給:	12 Vdc 外部電源経由100 ... 240 Vac (±10%)、50/60 Hz *
環境動作条件:	温度: 0 ... 40°C (32 ... 104° F) 湿度: 10...90%RH (結露しないこと) 高度: ≤2000 m
輸送および保管条件:	温度: -20 ... 60°C (-4 ... 140° F) 湿度: 10...90%RH (結露しないこと)

* 提供された電源ユニット、または本物の交換用BT1111xxのみを使用してください。
(100 ... 240 Vac ±10% 60 W)。説明については、エリウェルテクニカルサポートにお問い合わせください。

警告

意図しない機器の操作

環境および電気特性の表に指定されている定格値を超えないでください。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

追加情報：

項目	説明
接続できるデバイスの最大数：	224
オペレーティングシステム（モデルによって異なります）：	ウィンドウズ 7 Embedded Standard（英語） ウィンドウズ XP Embedded（英語） NOTE：ライセンス番号を示す伝票は、ケーシング内に適用されません
接続：	<ul style="list-style-type: none"> • イーサネット (LAN) • External GSM モデム • 統合された USB
最大ボーレート：	9600
RS485 ネットワークの最大長：	1200 m - 3937 ft
RS485 バスの等価負荷：	0.75 ユニットロード
電源の中断：	不揮発性内部メモリ、期間10年
記録間隔：	1分から2時間の間で構成可能（プリセット15分）*
記録時間：	1500のアナログエンティティの1年間のデータ（記録間隔が15分の場合）**
最大検出時間相対誤差および時間記録誤差：	< 0.1%
気候環境：	空気中‘タイプ A’

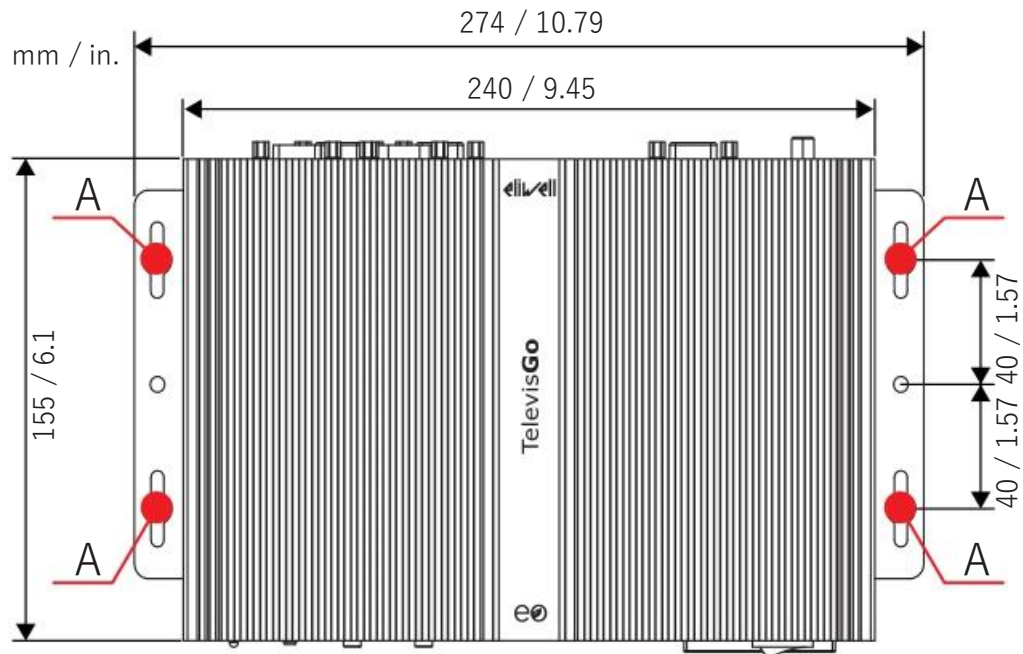
* すべてのリソースの値を確実に再読み取りできるように設定できる最小間隔は、ネットワークの応答時間によって異なります。“[8.1. 84ページのリアルタイムデータ](#)”を参照してください。

**より高いまたはより低い番号の対象となるデジタルエンティティまたはマシンステータスの存在変動により、予想されるログ期間の長さが変わる場合があります。
この場合、ユーザーインターフェイスのアーカイブ管理ページを参照して、システムのストレージ容量を確認してください。“[6.4. 52ページのシステム構成](#)”を参照してください。

4.2. 機械的特性

TelevisGoの機械的特性は次のとおりです：

	横 mm / in.	縦 mm / in.	幅 mm / in.
TelevisGo	274 / 10.79	155 / 6.10	52 / 2.05



4.3. 電源供給

デバイスは、外部電源ユニット100 ... 240 Vac (±10%) 50/60 Hzによって12 Vdcで電力供給されます。

個々のユニットや設置国の要件に応じて、国の主電源の電圧が動作範囲内であれば、デバイスを主電源に直接接続できます。

コンピューターの電源を誤ってオフにしないように、電源を切るには、オン/オフボタンを少なくとも4秒間押す必要があります。

主電源に障害が発生した場合、電源が回復するとコンピューターとアプリケーションが自動的に再起動します。

CHAPTER 5

ユーザーインターフェイス

5.1. ユーザーインターフェイスへのアクセス

TelevisGoは、データ分析とシステム機能の完全な制御のために、Webブラウザを介して任意のPCからアクセスできる高度なユーザーインターフェイスを提供します。WEBインターフェイスにアクセスするには、TelevisGoがオンになっており、ネットワークに接続されている必要があります。

この時点で、互換性のあるブラウザのいずれかを起動し、アドレスを入力する必要があります。

http:// <TelevisGo IPアドレス>

工場出荷時に設定されたパラメーターは次のとおりです。

<TelevisGo IPアドレス> = 192.168.1.50
サブネットマスク:= 255.255.0.0

コンピューターとTelevisGo間の接続を機能させるには、TelevisGoと互換性のあるIPアドレスとサブネットマスクを使用してコンピューターを構成する必要があります（通常、同じサブネットマスクとIPアドレスは番号の4番目のブロックのみが異なり、同じサブネットワーク内の要素ごとに異なる必要があります）。

説明情報と特別な実装については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワーク接続またはルーターパラメーターの構成が正しくない場合、Webインターフェイスを介したTelevisGoおよびデバイスネットワークへの接続が妨げられる可能性があります。

NOTICE

操作不可能なデバイス

ネットワーク接続とルーターが正しく構成されていることを確認してください。

これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

5.2. ログイン

ログインページを使用して、ユーザーインターフェースの表示言語を選択できます（デフォルトでは、ブラウザと同じ言語に設定されています）。

The screenshot shows the TelevisGo login interface. At the top, there is a logo and the text 'TelevisGo' and 'バージョン 8.3.13'. Below this is a status bar with several icons: a computer icon for 'プラント名: TelevisGo', a circular arrow for recording status, a signal icon for alarm status, a warning triangle for network scan, and a user icon for '0' users. The main form has four numbered steps: 1. 'ユーザー名:' field containing '管理者'; 2. 'パスワード:' field with a masked character; 3. 'ユーザーインターフェイス言語:' dropdown menu set to 'English'; 4. A checkbox for '情報を保存' which is unchecked. At the bottom is a 'ログイン' button.

ウィンドウの上部には、システムステータスに関するアイコンがいくつかあります：

- = システム名.
- = 記録ステータス（開始、停止）
- = アラームステータス（アクティブ、進行中、非アクティブ）。
- = ネットワークスキャンが必要であることを示します。
- = TelevisGoに接続しているユーザーの番号。
最大3人の異なるユーザーがTelevisGoに同時に接続できます。

アイコンの説明については“5.6. 34ページの「ステータスバー」を参照してください。

次の資格情報で、事前設定されたユーザープロファイルが利用可能です。

(1) ユーザー: **管理者**

(2) パスワード: **0** (ゼロ)

次の情報も表示されます。

(3) ユーザーインターフェイス言語

(4) ボックスがチェックされている場合、システムはユーザー名と選択された言語を記憶します
(ブラウザのキャッシュがクリアされると、この設定は失われます)

(5) ログイン、クリックしてソフトウェアにアクセスします。

5.3. ようこそページ

ようこそページを表示するには、次のメニューシーケンスを入力します。

 データ  概要



ようこそページには、設置の現在の状態に関する情報が表示されます：

- (1) **プラントID**: システム名
- (2) **バージョン**: TelevisGoにインストールされているアプリケーションのバージョン
- (3) **検知されたインターフェイス**: 各インターフェイスに対して検出されたデバイスの数


5.4. ページ構成

Webアプリケーションのすべてのページは同じ構造を持っています：

- 上部のナビゲーションメニュー
- 中央のワークエリア
- 下部の状態バー

5.5. ナビゲーションメニュー

ページの上にはナビゲーションメニューがあり、アプリケーションのさまざまなセクションへのハイパーテキストリンクが含まれています：

-  データ
-  アラーム
-  ツール
-  設定
-  コンピューター
















各メニューには、バー（サブメニュー）の下に一連のコマンドがあります（例：「概要」、「リアルタイムデータ」、「履歴テーブル」、...）。

メニューをクリックすると、サブメニューがコンテキスト的に変更されますが、現在のページビューは変更されません。サブメニューエントリをクリックすると、ページビューが変更されます。

5.6. ステータスバー










システムのステータスに関する重要な情報を含むステータスバーは、常にページの下部に表示されます。





状態バーには、次の要素を表すテキストとアイコンが含まれています：

- プラント名：システム名。関連アイコンは次のいずれかです：
 -  = TeleviGoは適切に動作しています；
 -  =TeleviGoを再起動する必要があります。
-  データの取得：TeleviGoの取得ステータス（アクティブ/停止）を示します。
-  アラームステータス：アイコンは、アイコンのキーで説明されているように、現在のアラームステータスに対応する形状を想定しています。
-  ネットワーク認識：このアイコンが表示された場合、システムとドライバーの更新後に新しいネットワークスキャンを実行する必要があることを意味します。
-  オフライン設定：ユーザーがオフラインモードに入ることを選択したときに表示されるアイコン。
説明の2行目は、ユーザーが実際に使用している特定の構成を識別します。
-  ユーザー（グループ）：現在のユーザーの名前を示します。カッコ内の表示は、ユーザーが属するグループを示します。権限は、ユーザーが属するグループによって異なります。特定のグループの各ユーザーには同じアクセス許可が割り当てられます。
-  開始ページ：プリセットページに戻るショートカットであることを示します。
-  プリセットページ：現在のページがプリセットオプションであることを示します。
-  プリセットページ設定：プリセットとして選択できるページに表示します：
 -  データ → 概要
 -  データ → リアルタイムデータ
 -  アラーム → アラームステータス
 -  ツール → レイアウト（パラメトリックを含むすべてのレイアウトページ）
 アイコンをクリックすると、現在のページがプリセットページになります。
-  終了：現在の作業セッションを終了し、ログインページに戻ります。

5.7. 状態アイコン


ユーザーインターフェースは、システムのステータスとデバイスのネットワークに関する明確でシンプルな表示を提供するアイコンを備えています。

取得状況	
	TeleviGoによるデータ取得がアクティブであることを示します。
	TeleviGoによるデータ取得が非アクティブであることを示します。
	取得状況に関する情報は利用できません。
	ウィンドウ-存在する場合-ポップアップが表示され、開始/停止できます。
アラームステータス	
	アラームがアクティブであることを示します。
	アラームがアクティブであり、ユーザーがそれを見たことを示します。
	アラーム表示が停止したことを示します。
	アラームがアクティブでないことを示します。
	アラームステータスに関して入手可能な情報がないことを示します（取得状況を確認してください）。

エンティティのステータス	
	コンプレッサー: オン/オフ
	霜取り: アクティブ/非アクティブ
	ドア: オープン/クローズ
	ファン: オン/オフ
入力とレギュレータ	
	アナログエンティティ
	デジタルエンティティ
	装置ステータス
	アラーム
リンク無し	
	リンク無し: スーパーバイザが検査中のデバイスに接続できないことを示します。
取得サイクル	
	ボールの時計回りの動きを介して更新する取得サイクルを表すグラフィックを示します。
フィルタ	
	アルゴリズムが機能するデバイスを識別します。
	アルゴリズムが機能する入力リソースを識別します。
	アルゴリズムが機能する出力リソースを識別します。
アプリケーションへのアクセス	
	開始ページ: プリセットページに戻るショートカットを示します。
	プリセットページ: 現在のページがプリセットオプションであることを示します。
	プリセットページ設定: プリセットとして選択できるページ (リアルタイムデータ、アラームステータス、またはレイアウト) に表示されます。アイコンをクリックすると、現在のページがプリセットページになります。
	ユーザーがオフラインモードに入ることを選択したときに表示されます。説明の2行目は、ユーザーが実際に使用している特定の構成を識別します。
	終了: 作業セッションを終了し、ログインページに戻ります。

5.8. ボタンとセレクトター


管理機能へのアクセス	
 編集	設定の変更/停止をする際に画面内に表示されます。TelevisGoの管理機能を変更する場合に必要です。
リアルタイムデータへのアクセス	
 開始	収集を開始/停止する際に画面内に表示されます。データをリアルタイムで表示する場合に必要です。
データ監視ページ	
 展開する	リスト内のすべての要素のビューを展開します。
 折りたたみ	リスト内のすべての要素のビューを折りたたみます。
 すべて選択	リスト内のすべての要素を選択します。
 すべての選択を解除	リスト内のすべての要素の選択を解除します。
 印刷	表示されているすべてのデータをエクスポートします。pdfファイル (Acrobat readerまたは同様のプログラムを使用して表示できます) に保存し、印刷することができます。
 確認	選択したアラームを確認します。確認済みのアラームは、アイコンタイプ (赤から黄色) に変わります。
履歴テーブル	
 データの更新	1つ以上のフィルタが変更された後、データの更新に使用できます。
 データアーカイブ	データの選択に使用されるウィンドウを表示/非表示します。
 プロファイル	新しいテンプレートのロード、削除、作成に使用されるウィンドウを表示/非表示します。
 プロファイルをロードしてデータを取得する	テンプレートが選択されると、このコマンドはそれをTelevisGoにロードします。
 選択したプロファイルを削除	選択したプロファイルを削除します。
 現在の選択を名前を付けて保存	選択したテンプレートを保存します。
 時間間隔	時間間隔の設定に使用されるウィンドウを表示/非表示します。
 次の間隔	選択した間隔に続く、同じ長さの間隔に属するデータを表示します。
 前の間隔	選択した間隔の前の間隔に属するデータを表示します。時間間隔は同じです。
 リソース	使用するリソースの選択に使用されるウィンドウを表示/非表示します。
 リソースを選択	表示するデバイスとリソースを手動で選択できます。
 凡例ウィンドウ	色の凡例を含むウィンドウの表示/非表示を切り替えます (グラフのみ)。
 印刷/エクスポート	印刷/エクスポートに使用されるウィンドウを表示/非表示します。
 印刷	表示されているすべての要素を印刷するために使用されます。
 エクスポート	表示されているすべての要素をエクスポートするために使用されます。csvファイル (Microsoft Excelなどの電子シートで表示可能)、ユーザーが選択したパーソナルコンピューター上の場所に保存します。
情報入力ページ	
 追加	新しい要素 (ネットワーク、ユーザー、スケジュールされたアクション、時間間隔など) を追加します。
 削除	要素 (ネットワーク、ユーザー、スケジュールされたアクション、時間間隔など) を削除します。
 編集	要素 (ネットワーク、ユーザー、スケジュールされたアクション、時間間隔など) を変更します。
 保存	要素 (ネットワーク、ユーザー、スケジュールされたアクション、時間間隔など) に加えられた変更を保存します。


 名前を付けて保存	TelevisGo内で作成された新しいテンプレートを保存します。
 更新	TelevisGo内で選択されたテンプレートを更新します。
 /  キャンセル	キャンセルして、変更を保存せずに終了します。
 プレビュー	選択したアクションが実行されるデバイスのプレビューを示す新しい画面を表示します。
 終了	前の画面に戻ります。
ネットワーク構成	
 ネットワーク設定のエクスポート	ネットワークを（名前、アドレス、設定とともに）エクスポートし、同じTelevisGo（バックアップとして使用する場 合）または新しいネットワークにインポートします。
 オフライン設定のエクスポート	オフラインネットワーク形式の物理ネットワーク（名前、住所、設定など）をエクスポートし、それをオフライン設定セクションにインポートします。
 インターフェイスの追加	ネットワークに新しいインターフェイスを追加します。
 デバイスの追加	特定のインターフェイスに新しいデバイスを追加します。
 設定を適用	作成したばかりの構成を適用します。
 物理ネットワークに戻る	「オフラインモード」で作成されたネットワークスキャンの後に物理ネットワークに戻ることができます。
コマンド & パラメーター	
 0.00:04 EWDR 985 ▾	ネットワーク内のデバイスの1つを選択するために使用され、パラメーターおよびRVD（リモート仮想デバイス）（機能がその特定のデバイスに適用される場合）。
 デフォルトからのコピー	デフォルト値を「値入力」列にコピーします。
 デバイスからのコピー	デバイスによって読み取られた値を「値入力」にコピーします。
 読み込み	デバイスから選択したパラメーターの値を読み込むことができます。
 書き込み	選択したデバイスの[値の入力]テキストボックスに入力された値を書き込むことができます。
 全て書き込み	1つ以上選択されたデバイスの[値の入力]テキストボックスに入力された値を書き込むことができます。
 最後の操作レポートを見る	ネットワーク内のデバイスで実行された最後のパラメーター書き込み手順の結果を表示します。
 パラメーターマップを保存	新規の入力でパラメーターマップを保存します。
 パラメーターマップをロード	以前にディスクに保存され、関連するチェックボックスを使用して選択されたパラメーターマップをロードします。
 フィルタをキャンセル	すべてのフィルタを削除し、すべての要素を表示します。
 実行	選択したコマンドを選択したデバイスに送信します。
 コマンドフィルタの適用	選択したデバイスに適用できないコマンドを非表示にするために使用します。有効にすると、  アイコンが表示されます。
 コマンドフィルタの削除	以前に適用されたコマンドフィルタを削除します。
テンプレート	
 テンプレートを管理	テンプレートの作成、編集、削除をする新しい画面を開きます。
 テンプレートをエクスポート	選択したテンプレートをエクスポートします。
レイアウト	
 パラメーターの読み込み	表示されたパラメーターの読み込みを強制します。
 最大化	全画面表示用。
 復元	通常の表示を復元します。
 すべてのレイアウトを再構	更新ページにロードされたレイアウトのリストを更新します。

CHAPTER 6

設置とメンテナンス

TelevisGoの設置には、デバイスおよび接続先のデバイスのネットワークのセットアップなど、いくつかの事前の手順を実行する必要があります。

NOTE: 一部の画面では、コンテンツを編集するには、 **編集**をクリックします。

 **保存**をクリックせずにページを変更すると、行った変更は失われます。

プラグを差し込むと、TelevisGoはすぐにオンにならず、一連のテストを実行してソフトウェアをロードします（これには約30秒かかります）。

TelevisGoを使用してネットワークをスキャンする前に、各デバイスに、**FAA**および**dEA**（マイクロネット）または**Adr**（Modbus）を使用して一意のアドレスが割り当てられていることを確認してください。

6.1. デバイス 設定

システム名の設定

次のメニューシーケンスを実行します：

 **コンピュータ** →  **情報** →  **全般**

コントロールバーには、手順に応じて、一連のボタンが表示されます。

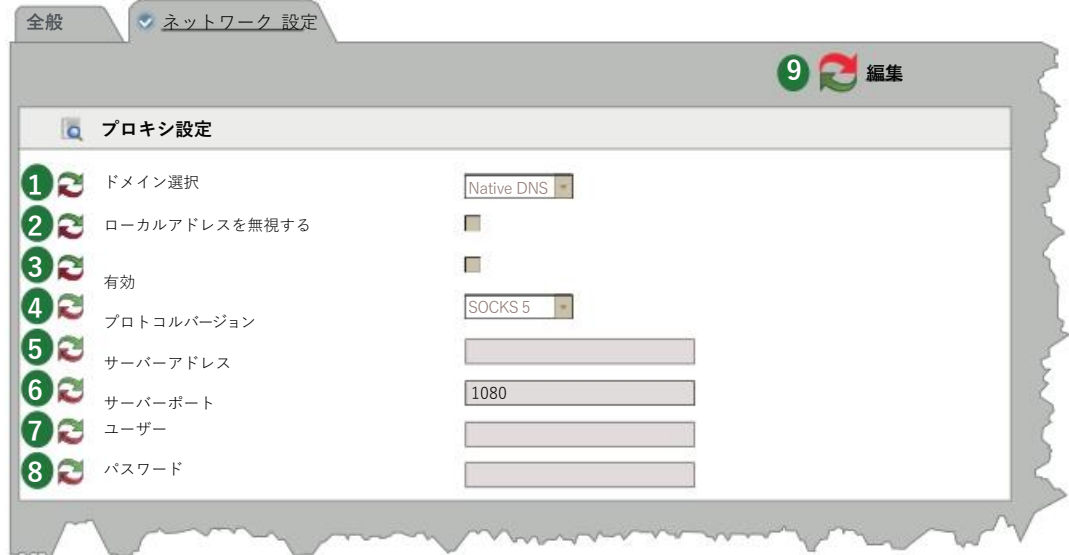
情報については、[36ページの「5.8. ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

設定ネットワークの接続性

次のメニューシーケンスを実行します：

 コンピューター →  情報 →  ネットワーク 設定

次のような画面が表示されます：



ネットワークおよびプロキシ情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

選択項目の内容は次のとおりです：

- | | |
|---------------------------|---|
| (1) ドメイン選択: | ネイティブDNSまたはプロキシ |
| (2) ローカルアドレスを無視する: | 選択した場合、TelevisGoはサブネットワーク内のアドレスの選択にプロキシサーバーを使用しません。 |
| (3) 有効: | 選択すると、SOCKSサーバーは認証を要求します。 |
| (4) プロトコルバージョン: | SOCKS 4、SOCKS 4a、SOCKS 5またはHTTPプロキシ |
| (5) サーバーアドレス: | SOCKSサーバーのIPアドレス |
| (6) サーバーポート: | SOCKSサーバーのアクセスポート |
| (7) ユーザー: | SOCKSの認証を実装するユーザー |
| (8) パスワード: | SOCKSサーバーの認証を実装するためのパスワード |
| (9) コントロールバー: | 36ページの「5.8.ボタンとセレクター」 をご参照ください。 |

NOTE:プロキシパラメーターを設定した後、システムを再起動します。

6.2. 物理ネットワークの表示


次のメニューシーケンスを実行します：

 **設定** →  **インターフェイス** →  **物理ネットワーク**

次のような画面が表示されます：



各項目の説明は次のとおりです：

- 1 デバイステンプレート**: 以前に作成されたテンプレートをネットワーク内の1つ以上のデバイスに関連付けるために使用できるドロップダウンメニュー。
 **デバイステンプレートの管理** ボタンをクリックすると、さまざまなテンプレートの管理に使用できる新しいウィンドウが開きます。(41ページの「6.2.1. デバイステンプレートの管理」)を参照してください。
- 2 デバイスのフィルタ**: 入力ボックスに入力されたテキストに基づいてデバイスのリストをフィルタします。
- 3 リソースのフィルタ**: 入力ボックスに入力されたテキストとリソースのタイプに基づいて、特定のリソースのチェックボックスをオンにしてリソースのリストをフィルタします。
- 4 ネットワーク外**: 選択されていないリソースの表示/非表示に使用できます。
- 5 編集**: デバイス情報を編集するために使用される新しいウィンドウを開き、必要に応じて作成/編集テンプレートを作成します。(42ページの「6.2.2. テンプレート管理」)を参照してください。
- 6 コピー**: 1つのデバイスの設定を1つ以上の他の類似デバイスにコピーするために使用できます。(44ページの「6.2.5. コピー...」)を参照してください。
- 7 説明**: ユーザーがデバイスに割り当てた名前。
- 8 リソース**: デバイスのリソースのリストを展開する/折りたたみするために使用されます。
- 9 コントロールバー**: 36ページの「5.8. ボタンとセレクター」を参照してください。

インターフェイスビューには、次の情報が表示されます：

- **アドレス**: デバイスアドレス
- **モデル**: 使用されるデバイスタイプ
- **説明**: デバイス名
- **リソース**: デバイスに存在するリソースの番号

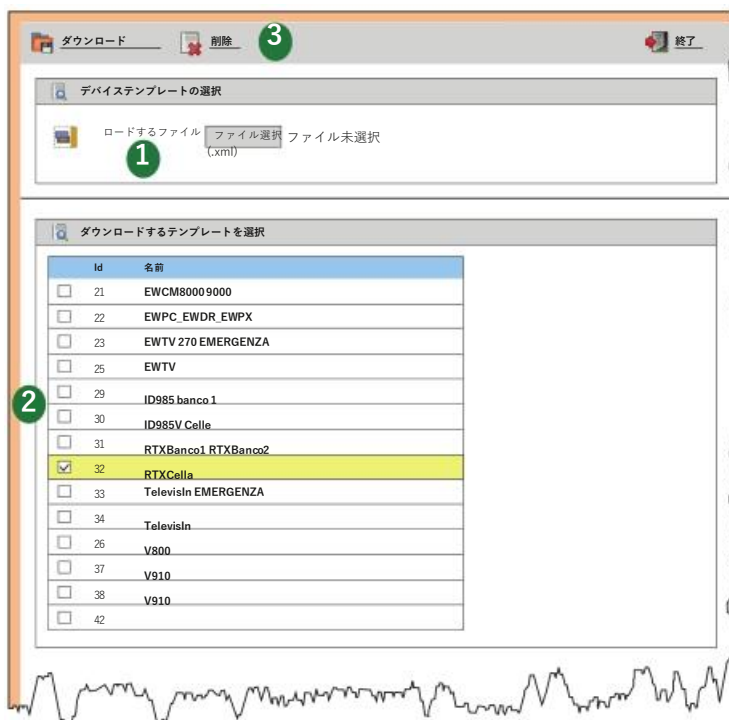
リソースのリストが展開されると、次の情報が表示されます：

- **説明**: リソース名;ユーザーが変更できます。
- **コード**: デバイスリソースのコード (例: ALM00300)。
- **チャート**: リソースがチャート形式で表される場合の色。
- **遅延 (分)**: アラーム起動の分単位の遅延。

各デバイスとペアになっているすべてのリソースはデフォルトで無効になっています。

6.2.1. デバイステンプレートの管理

40ページの「6.2. 物理ネットワークの表示」を参考にTelevisGoに保存されているテンプレートを管理するために **デバイスステンプレートの管理** をクリックしてください。
次のような画面が表示されます：

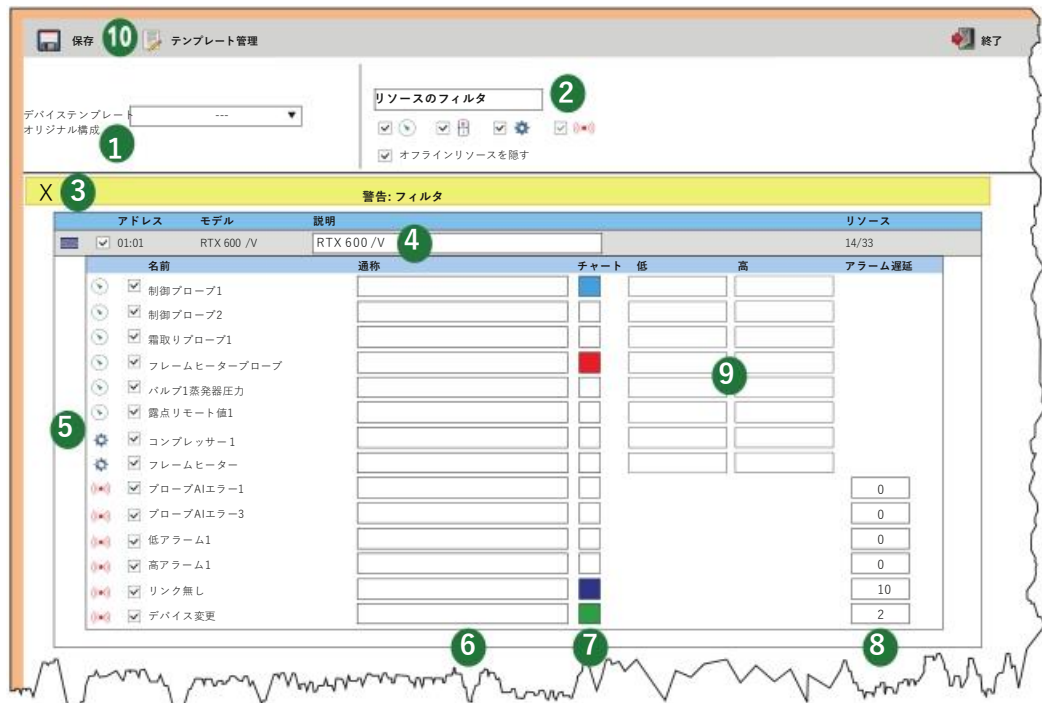


各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **ロードするファイル**: 「ファイルを選択」をクリックして、ロードするファイルを選択できるウィンドウを開きます。このウィンドウには、以前に作成した1つ以上のテンプレートが含まれています。
- (2) **テンプレートリスト**: TelevisGoにロードされているすべてのテンプレートのリスト。ボックスにチェックマークを付けて、1つ以上のテンプレートを選択します。エクスポートするか削除するかに応じて、コントロールバーの関連アイコンを押します。
- (3) **コントロールバー**: 36ページの「5.8. ボタンとセレクター」を参照ください。

6.2.2. テンプレート管理

40ページの「6.2. 物理ネットワークの表示」を参考に **テンプレート管理** クリックして、デバイス情報を変更し、必要に応じて特定のデバイスファミリのテンプレートを作成/編集します（例：RTX 600 / V）。



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **デバイステンプレート**: ドロップダウンメニューを使用して、以前に作成したテンプレートを選択したデバイスにロードできます。
- (2) **リソースのフィルタ**: 入力ボックスに入力されたテキストと、対応するチェックボックスをオンにして選択されたリソースのタイプに基づいて、リソースのリストをフィルタします。
- (3) **イエローボックス**: フィルタが適用されていることをユーザーに通知します。
- (4) **説明**: カスタマイズされた名前をデバイスに割り当てるために使用される入力ボックス。
- (5) **リソースリスト**: 選択したデバイスのすべてのリソースのリスト。
リソースの選択チェックボックスをオンにして、構成に含めるか、構成から除外します。
ネットワーク内の各デバイスまたはアルゴリズムに対して2つのアラームリソースが作成されます：
- **リンク無し**: 設定されている場合、TelevisGoとの通信がないときにアクティブになります。
- **デバイス変更**: 設定されている場合、TelevisGoが、デバイスがネットワークスキャンが実行されたときと異なる（たとえば、もう1つ多いまたは1つ少ないプローブなど）場合にアクティブになります。
- (6) **通称**: カスタマイズされた名前をリソースに割り当てるために使用される入力ボックス。
- (7) **チャート**: チャート形式で表される場合のリソースの色を選択するために使用されます。選択チェックボックスが白色のままの場合、リソースはチャート形式で表示されません。
- (8) **遅延 (分)**: アラーム表示の各タイプに遅延を設定するために使用されます。
0に設定すると、アラームがすぐに表示されます。
- (9) **低/高**: アナログリソースの最小および最大しきい値を設定するために使用されます。ボックスに値を入力した場合、変更が保存されると、対応する最高または低温アラームが生成されます。（43ページの「6.2.3. 仮想アラーム」）を参照してください。
- (10) **コントロールバー**: 36ページの「5.8. ボタンとセレクター」を参照してください。

6.2.3. 仮想アラーム

42ページの「6.2.2. テンプレート管理」を参考に各アナログに対応する「低」（最小値）および「高」（最大値）ボックスのいずれかまたは両方に値が入力され、値が保存で確認されると、システムは対応する「仮想アラーム」を生成します。
たとえば、次を設定した場合：

リソース	低	高
アナログ入力1	(A) 30	(B) 60
アナログ入力2	-	-
露点	-	(C) 45
バルブ開度	-	-

次の「仮想アラーム」が生成されます：

リソース	内容
(A) 低アラーム(アナログ入力1)	アナログ入力1の値が30未満の場合にアクティブ化します
(B) 高アラーム(アナログ入力1)	アナログ入力1の値が60を超えるとアクティブ化します
(C) 高アラーム(露点)	露点の値が45を超えるとアクティブになります

新しいアラームは、それらが参照するデバイスのアラームのすべてのプロパティを継承します（オフラインにするオプション、チャートでのプレゼンス/色の選択、およびアクティベーション遅延など）。

新しいネットワークスキャンの後、「仮想アラーム」が参照するアナログエンティティが存在しなくなった場合、アラームは削除されます。

6.2.4. 作成/編集テンプレート


42ページの「6.2.2. テンプレート管理」を参考に  **テンプレートの作成/編集** をクリックし、TelevisGoに保存されているテンプレートを管理します。次のような画面が表示されます。






各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **New**: 新しいテンプレートの作成に使用されます。
- (2) **テンプレートリスト**: TelevisGoにロードされているすべてのテンプレートのリスト。
プロファイルの名前をクリックして選択します（行が黄色に変わります）。更新するか、削除するか、戻るに進むかによって、コントロールバーの関連アイコンを押します。
- (3) **コントロールバー**: 36ページの「5.8. ボタンとセレクター」 on page 36を参照ください。

6.2.5. コピー...


40ページの「6.2. 物理ネットワークの表示」を参考に  **コピー** をクリックし、1つのデバイスの設定をネットワーク内の他のデバイスにコピーします。
次のような画面が表示されます：

インターフェイス	ID	アドレス	デバイス
シリアルアダプター	0	COM1	2
デバイスリスト			
アドレス	モデル	説明	リソース
<input type="checkbox"/> 01:00	RTX 600/V	Meat Cabinet x	13/33
<input type="checkbox"/> 01:01	RTX 600/V		34/34
<input type="checkbox"/> 01:04	 EMDR 985 LX		33/33
<input checked="" type="checkbox"/> 01:05	 EMDR 985 LX		5/17
<input type="checkbox"/> 01:06	 EWCM 9100		11/23
<input type="checkbox"/> 01:06	EWCM 9100		9/130
アルゴリズム	998	127.0.0.1	0
TelevisGo	999		1
TelevisGo デバイス			
アドレス	モデル	説明	リソース
<input type="checkbox"/> 14:14	TelevisGo	ELWELL SUPERMARKET	4/6


各項目の説明は次のとおりです。

(1) **チェックボックス**: TelevisGoネットワーク内のすべてのデバイスのリスト。

1つ以上のデバイスのチェックボックスにチェックマークを付けます。選択した行は黄色に変わります。

 アップデートを使用して確認すると、選択したテンプレートが選択したアイテムにコピーされます。


(2) **選択アイコン**: この列には、次のアイコンが含まれる場合があります：

 **コピー**: 他のデバイスにコピーする選択されたテンプレートを識別します。

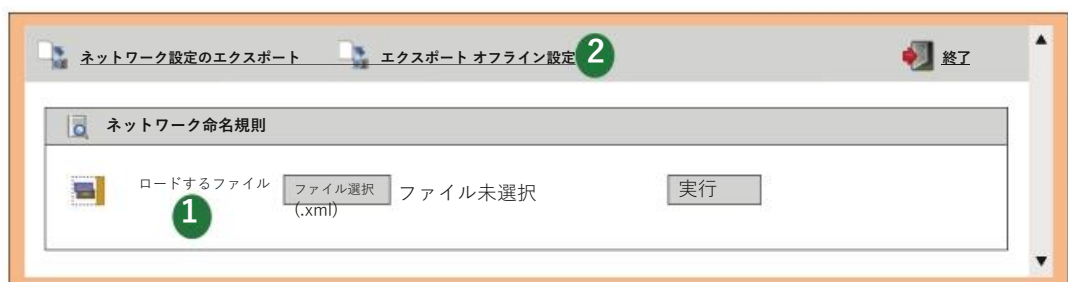
 **貼付け**: 選択したテンプレートが適用されるデバイスを識別します。
行にアイコンが含まれていない場合、デバイスが選択されていないことを意味します。

(3) **リソース**: デバイスのリソースの総数から選択されたリソースの番号を識別します。
たとえば、行4の「5/17」は、使用可能な17個のうち5個のリソースが選択されたことを示します。
選択したテンプレートが適用されると、情報は更新され、新しい状況が反映されます。

6.2.6. インポート/エクスポートの構成

“40ページの「6.2. 物理ネットワークの表示」を参考に  **ネットワーク設定のエクスポート** をクリックし、ネットワーク構成をインポート/エクスポートします。

次のような画面が表示されます：



各項目の説明は次のとおりです。

(1) **ロードするファイル**: 「**ファイルの選択**」をクリックして、リソースエクスプローラーウィンドウを開きます。このウィンドウでは、以前に保存したネットワーク構成を含むロードするファイルを選択できます。選択したら、「**実行**」をクリックしてインポートプロセスを完了します。


(2) **コントロールバー**: 36ページの「5.8. ボタンとセレクター」を参照ください。


6.3. スキャンニング

6.3.1. インターフェースの定義

次のメニューシーケンスを実行します：

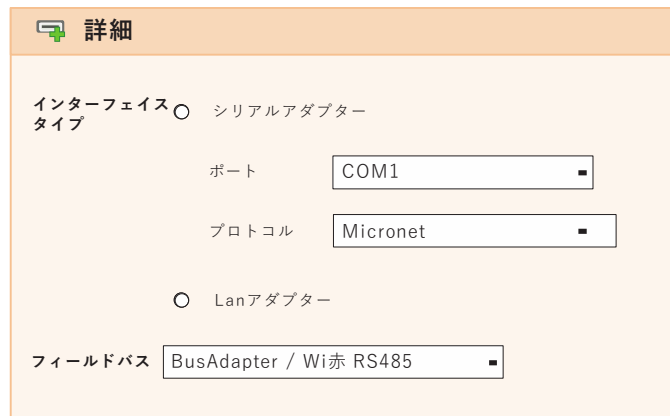
 **設定** →  **インターフェイス** →  **検出**

開いた新しいページで、アイコン  「インターフェースの管理」をクリックします。インターフェイスを入力/編集するための画面が表示されます。

ネットワークを追加するには、追加アイコン  をクリックします。
表示される画面で、ネットワークインターフェースタイプを選択します：

- 1) シリアルアダプター
- 2) Lanアダプター

シリアルアダプター



詳細

インターフェイスタイプ シリアルアダプター

ポート

プロトコル

Lanアダプター

フィールドバス

画面上の情報は次のとおりです。：

- **ポート**: TelevisGoで使用される物理通信ポート（例：COM1）
- **プロトコル**: 通信のタイププロトコル
 - 1) **Micronet**
 - 2) **Micronet & Modbus と Smart アダプター**
(Smartアダプターのサブネットワークダウンストリームを備えたMicronet)
 - 3) **Micronet & Modbus** (同じネットワーク上のMicronet & Modbus)
 - 4) **Modbus**
- **フィールドバス**: 選択できるネットワークのタイプ：
 - 1) **BusAdapter / Wi赤 RS485**
 - 2) **Radioアダプター**
 - 3) **Smartアダプター**
 - 4) **Lanアダプター**
 - 5) **Lanアダプター Wifi**
 - 6) **Lanアダプター (Radioアダプター)**

Lanアダプター

詳細

インターフェイスタイプ シリアルアダプター Lanアダプター

アドレス . . .

ポート

プロトコル

フィールドバス

画面上の情報は次のとおりです。:

- **アドレス:** LanアダプターのIPアドレスを設定します
- **ポート:** 通信ポート (通常は工場出荷時設定)
- **プロトコル:** 通信のタイププロトコル
 - 1) **Micronet**
 - 2) **Micronet & Modbus with Smart アダプター**
(Micronet with Modbus sub-ネットワーク downstream of a Smartアダプター)
 - 3) **Micronet & Modbus** (Micronet & Modbus on the sameネットワーク)
 - 4) **Modbus**
- **フィールドバス:** 選択できるネットワークのタイプ:
 - 1) **BusAdapter / Wi赤 RS485**
 - 2) **Radio アダプター**
 - 3) **Smartアダプター**
 - 4) **Lanアダプター**
 - 5) **Lanアダプター Wifi**
 - 6) **Lanアダプター (Radioアダプター)**

Lanアダプターの場合、TelevisGoとLanアダプターインターフェースデバイス間の通信を確認するために、常に「**テスト接続**」キーを使用することをお勧めします。

コントロールバー: [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

6.3.2. デバイスネットワークのスキヤニング

次のメニューシーケンスを実行します。:

設定 → インターフェイス → 検出

表示されるページに、以前に定義されたすべてのインターフェイスのリストおよび対応する設定（名前、ID、アドレス）が表示されます。「45ページの3.1. インターフェースの定義」を参照ください



アドレススキャンにより、ネットワーク構成が変更される場合があります。

NOTICE

操作不可能なデバイス

手順の最後に、TelevisGoに接続されているデバイスのネットワークが正しく構成されていることを確認してください。

これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

各項目の説明は次のとおりです。




(1) **ネットワーク分析:** 分析されたネットワークを識別し、スキャンの実行に使用される「フィールドバス」の設定に使用できます。ドロップダウンメニューを使用して、次のいずれかを選択できます:

- BusAdapter / Wi赤 RS485
- Radioアダプター
- Smartアダプター


(2) **アドレス番号:** に選択されたアドレスの番号を示します。


(3) このボタンを使用すると、単一のネットワークのアドレスマトリックスを展開/折りたたみできます。

(4) **アドレスマトリックス:** デバイスの検索を実行する個々のネットワークアドレスを選択するために使用されます。セルの色は次のとおりです:

-  = 選択されたアドレスです
-  = 物理ネットワーク内のこのアドレスには、すべて読み取り済みのデバイスがあります
-  = 物理ネットワークでは、このアドレスは自由です。
前回のネットワークスキャン中にデバイスが検出されなかったという意味になります。

(5) **ファミリーアドレス:** スキャンを実行するファミリーに対応するチェックボックスにチェックマークを付けます。対応するすべてのアドレスが自動的にチェックされ、セルが強調表示されます。

ネットワークを開始するには  クリックしてください。手順には数分かかる場合があります。

スキャン中に、リアルタイムでスキャンの進行状況を示す画面が表示されます。最初は、選択されたアドレスに対応するすべてのボックスがグレー () で表示され、スキャンが進むと、各アドレスについて、デバイスが検出されたかどうか、および検出された場合はどのモデルかも表示されます。

複数のネットワークがある場合、スキャンが取得された結果とともに、同じ画面にすべてのネットワークに関連する情報が表示されます。

下記は画面の例です：

1	COM1	---	88 %	---	見つかったデバイス:	6/8											
	FAA	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
2		00	✓														
		01	✓	✓		✓	✓	✓	✗	■							
3		00:01	Smart Più														
		01:00	RTX 600/V														
		01:01	RTX 600/V														
		01:04	EWDR 985 LX														
		01:05	EWDR 985 LX														
		01:06	EWCM 9100														

各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **ネットワーク:** スキャンされたネットワークに関する主な情報を示します。
- ネットワークが接続されているポート (COM1)
 - 完了したスキャンの割合 (88%)
 - 検出/検索されたデバイスの番号 (6/8)




- (2) **アドレス:** 結果とともに、スキャンされる対象のみが灰色の四角形 (■) で表示されたアドレスマトリックスを表示します。次第に、アドレスがスキャンされると、長方形の表示が次のように変わります。
- ■ = スキャンするアドレス
 - ✓ = アドレスがスキャンされ、デバイスが見つかりました
 - ✗ = アドレスがスキャンされ、デバイスが見つかりません

- (3) **デバイスリスト:**リアルタイムで、見つかったデバイスリストとそのネットワークアドレスを表示します。

NOTE: ネットワーク内の1つ以上のデバイスが識別されない場合、次のことを確認してください：

- デバイスがネットワークに適切に接続されている、または
- デバイスドライバがTelevisGoにインストールされている、または
- デバイス設定が正しい (modbus伝送速度など)

スキャンが完了すると、次のような画面が表示されます：


インターフェイス	ID	アドレス	デバイス
シリアルアダプター	0	COM1	6
アドレス	説明	状態	
 <input checked="" type="checkbox"/> 00:01	0.00:01 Smart Più	New	
 <input checked="" type="checkbox"/> 01:00	0.01:00 RTX 600/V		
 <input checked="" type="checkbox"/> 01:01	0.01:01 RTX 600/V		
 <input checked="" type="checkbox"/> 01:04	0.01:04 EWDR 985 LX		
 <input checked="" type="checkbox"/> 01:05	0.01:05 EWDR 985 LX	New	
 <input checked="" type="checkbox"/> 01:06	0.01:06 EWCM 9100	New	

各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **ネットワーク:** スキャンされたネットワークに関する主な情報を示します。
(2) **デバイスリスト:** 見つかったデバイスリストとそのネットワークアドレスを表示します。
(3) **状態:** 各デバイスのステータスを示します。

表示される行の色には次の意味があります：

- ・ **緑:** ネットワーク内で見つかった新しいデバイス
- ・ **黒:** ネットワーク内に常に存在していたデバイス
- ・ **グレー:** デバイスは検出されず、古いネットワークに存在しますが、既に存在しない可能性があります
- ・ **赤:** TelevisGo内にドライバーがないデバイスです。

手順が完了したら、 保存をクリックして、取得したデータを保存します。ネットワークが保存されると、インターフェイス表示ページが表示されます。(40ページの「6.2. 物理ネットワークの表示」)を参照ください。

NOTE: TelevisGoでドライバを編集し、1つ以上のデバイスを交換し、デバイスの1つ以上のリソースを編集するには、ネットワークスキャンを再度実行する必要があります。デバイスのドライバが見つからない場合は、テクニカルサポートポートにお問い合わせください。

6.3.3. エネルギー資源 SELECTION

TelevisGoは、一部のデバイスをエネルギー資源、つまりシステム内の電力消費を測定するエンティティと見なすためのリソースを削減します。これらのエンティティの記録は、履歴情報データから独立した専用のデータベースに保存され、履歴情報記録間隔とは独立した記録間隔を持ちます。

次のメニューシーケンスを実行します：

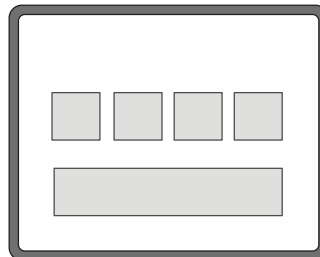
 **設定** →  **インターフェイス** →  **エネルギー資源**

次のページが表示されます：




各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **配置:** 選択可能なエネルギー資源を持つデバイスを配置するために使用される列の番号を選択するために使用されます（これは1から5に設定できます）。
- (2) **リソースのフィルタ:** 特定のリソースに関連するチェックボックスにチェックを入れることによりアクティブ化されたリソースのタイプに基づいて、デバイスのリソースをフィルタリングします。
- (3) **登録間隔:** エネルギー資源データの記録間隔を設定します。間隔を設定するには、チェックボックスを選択します。次のウィンドウが開きます。



必要に応じて日、分、秒を設定し、「OK」で確認します。設定できる最小間隔は15分です。

- (4) **リソース選択:** データを収集するリソースを選択するために使用されます。すべてのリソースは、デバイスアイコン () の横にあるチェックボックスをオンすることで選択できます。いくつかのリソースを選択するには、リソースの横にあるチェックボックスをオンにします。
- (5) **デバイスリスト:** さまざまなネットワークのデバイスがリストされ、列ごとに整理されている作業領域。
- (6) **コントロールバー:** [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#) を参照ください。

Modbusデバイスが検出されない場合、ページに要素が表示されない場合があります。

6.3.4. アルゴリズムの選択

次のメニューシーケンスを実行します。:

 **設定** →  **インターフェイス** →  **アルゴリズム**

次のページが表示されます。:



この画面には、TelevisGo内に以前にロードされたアルゴリズムのリストが表示されます。

(113ページの「12.1. システムの更新」)を参照し、設定を行ってください。

各項目の説明は次のとおりです。

(1) **説明:** 説明によるフィルタリングに使用されます。

アルゴリズムインスタンスはすべて同じロジックを実装しますが、異なる入力/出力データに適用されます。複製されたインスタンスの番号は、アルゴリズムのプリセットパラメーターです:

- TelevisGoが同時に管理するアルゴリズムの最大数は16です
- TelevisGoによって同時に管理されるインスタンスの最大数は16です
- 各アルゴリズムのインスタンスの最大数は10です

(2) **アドレス:** 各インスタンスとペアになっているアドレスを表し、アプリケーションによって自動的に割り当てられます。


(3) **モデル:** 各アルゴリズムのモデルは、プログラミング段階で設定されます。

(4) **期間:** インスタンスの現在のサイクル期間を表します。期間は秒単位で表されます。60 (1分) から86400 (1日) までの値をとることができます。

(5) **コントロールバー:** 36ページの「5.8. ボタンとセレクター」を参照ください。

表示される行の色には次の意味があります:

- **黒:** virtualデバイス selected
- **緑:** virtualデバイス available but not selected

仮想インターフェイスで有効にするインスタンスを選択し、アドレス (2) の横にある対応するチェックボックスをオンにして、 保存アイコンをクリックしてアルゴリズムインスタンスを保存します。

6.4. システム構成

6.4.1. 記録間隔の設定

概要:

次のメニューシーケンスを実行します。:

 **設定** →  **データアーカイブ** →  **概要**



この画面には、TelevisGoのデータアーカイブに対応するすべての設定がまとめられています。以下の設定がリストされます:



- ヒストリカルアーカイブ: 記録間隔
使用率
残存期間
最も古いデータ
- テンポラリアーカイブ: 記録間隔
インターフェイス
記録番号
最も古いデータ
- 管理: 最大容量
循環性専用のアーカイブの一部
最新のアーカイブ更新日

制御:

次のメニューシーケンスを実行します。:

 **設定** →  **データアーカイブ** →  **制御**



この画面を使用して、記録間隔を設定できます。設定時間（1分から2時間を含む）は、選択したリソースの値の保存間隔（サンプリング）を表します。画面にアクセスしたら、「**アーカイブの登録間隔**」をクリックし、 **編集** をクリックします。アイコン、数値（時間：分：秒）を入力し、 **保存** アイコンをクリックします。

この間隔は、装置ステータス、アラーム、およびデジタルエンティティには適用されません。これらの場合、実際には、記録は間隔に基づいてではなく変化するときに行われます。最も古いデータの日付も設定できます。設定すると、入力した日付より前のすべてのデータが削除されます。画面にアクセスしたら、「**最も古いデータ**」をクリックし、 **編集** アイコンをクリックして、目的の日付を入力し、 **保存** アイコンをクリックします。

管理:

次のメニューシーケンスを実行します。:

 **設定** →  **データアーカイブ** →  **管理**

この画面を使用して、データの保存に使用される大容量メモリの最大量を表す「アーカイブの循環性専用の部分（%CA）」（最大30%）を設定できます。画面にアクセスしたら、「**アーカイブの一部（循環性（%CA）専用）**」をクリックし、 **編集** アイコンをクリックして、数値（10など）を入力し、 **保存** アイコンをクリックします。

NOTE: データアーカイブ管理設定は、システムのパフォーマンスに影響を与える可能性があるため、システム管理者のみが変更できます。

6.4.2. 一般的なシステム設定

警告

意図しない機器の操作

- EMC妨害レベルが標準EN61000-6-1（住宅、商業、および軽工業環境）で指定された制限より低い環境にTelevisGoおよびシリアルアダプターをインストールします。
- TelevisGoがアクティブであることを確認するために、「LifeTest」機能（この機器の対応するハードウェアガイドで指定されているとおり）を構成します。定期的な電子メールが受信されない場合、何かはTelevisGoまたは電子メール送信サービスの誤動作を引き起こしています。
これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

システム

このページを使用して、システム言語、通信ポート、およびシステムライフテスト通知の送信時間を設定できます。

次のメニューシーケンスを実行します：

設定 → 一般設定 → システム

以下のように画面が表示されます：

各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **言語**：TelevisGoの外部のシステム（TWINまたはサードパーティシステム）とのアラームメッセージおよび通信の構築に使用される言語の設定に使用されます。
システム言語の設定は、通常のエクスポート（.csvおよび.pdfファイル）に関連する情報に影響します。
- (2) **ポート**：次のポートの設定に使用されます。
 - Webサーバー**：WEB接続に使用されるポートを識別します（例：80）。
 - データ転送**：データのダウンロードに使用するポートを識別します（例：8888）。

(3) **電子メール寿命テスト**: 電子メールの送信に関する情報を管理します:

- **開始時間**: テストがいつ実行されるかを識別します (例: 05:00:00)。
- **間隔 (時間)**: 時間 (例: 6) で表されるテスト実行間隔を識別します。
- **受信者**: テストの送信先となる受信者を識別します。
複数の受信者がいる場合は、さまざまなアドレスを「;」で区切ります。

(4) **メール検証**: 電子メールアドレスが入力されると、LEDは**赤**に変わり、検証されていないことを示します。「検証...」をクリックします。

(NOTE: メールサーバーを設定する必要があります... / [一般設定](#) / [アラーム](#))

開いたウィンドウで、メールで受信したコードを入力すると、LEDが**緑**に変わります。
送信の1つが失敗すると、LEDの色が**黄**に変わります。

(5) **コントロールバー**: [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

TELEVISTWIN

次のメニューシーケンスを実行します。:

 [設定](#) →  [一般設定](#) →  [TelevisTwin](#)

以下のように画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

(1) **寿命テスト通知の送信**: ツイーンに関する管理情報-寿命試験の送信:

- **送信期間**: テストがいつ実行されるかを識別します (例: 05:00:00)。
- **最初の送信で遅延**: 時間 (例: 6) で表されるテスト実行間隔を識別します。
- **再試行間隔**: テストの送信先となる受信者を識別します。
- **再試行期間**: テストの送信先となる受信者を識別します。

(2) **コントロールバー**: [「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

少なくとも1つの「TelevisTwin」タイプアクションがシステムで構成されている場合、寿命テストはTelevisTwinに送信されます。([76ページの「アラーム管理」](#))を参照ください。

アラーム

次のメニューシーケンスを実行します。:

設定 → 一般設定 → アラーム

以下のように画面が表示されます:

各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **全般:** アラーム送信の設定に使用します(**76ページ**の「アラーム管理」)を参照ください:
- **再試行間隔:** 連続する2回のアラーム送信の間隔を設定します。
 - **再試行期間:** アラーム送信が試行される最大間隔を設定します。
 - **緊急受信者:** TelevisGoデータベースが破損しているため、ユーザーが設定した受信者が利用できない場合に、緊急メッセージが送信される電話番号や電子メールを設定します。複数の受信者を入力する場合は、「;」で区切ります。

NOTICE

操作不可能なデバイス

- TelevisGoデータベースの誤動作に関する通知を受信するように緊急受信者を設定します。
- SMSや電子メールメッセージを送信するには、無制限の使用プランでSIMカードを使用します。

これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

- (2) **検証:** 電話番号が入力されると、LEDは**赤**に変わり、検証されていないことを示します。「検証...」をクリックし、開いたウィンドウで、コードを入力します
SMSで受信するとLEDが**緑**に変わります。
送信の1つが失敗すると、LEDが**黄**に変わります。
- (3) **SMS:** SMSを介した情報の送信を設定するために使用されます:
- **SMSアルファベット:** SMSメッセージを送信するときに使用するタイプのアルファベットを設定します:
Standard 7 bit (デフォルト) もしくは **UCS-2** (Universal Character Set) もしくは **Russian 7 bit**.
 - **モデム信号強度下限アラームしきい値(%):** 「モデム信号強度低」のアラーム表示をアクティブにする前に、最小モデム信号強度しきい値を設定します (%)。

(4) 電子メール サーバー構成:メールサーバーの設定に使用します。(電子メール - サーバー):

- **アドレス:** メールサーバーアドレスを設定します。
- **ポート:** メールサーバーの接続ポートを設定します。
- **送信者アドレス:** 送信者の電子メールアドレスを設定します。
- **認証が必要:** 認証が必要かどうかをシステムに伝えます。
- **名前:** ユーザー名を設定します (認証が必須の場合)。
- **パスワード:** ユーザーパスワードを設定します (認証が必須の場合)。
- **電子メールサーバーでSSLプロトコルが使用されている場合に無効な証明書を受け入れるサーバー:**
SSLプロトコルがアクティブな場合は、無効な証明書の使用を制限します。
- **電子メールサーバータイムアウト:** エラーモード (タイムアウト) に入る前にサーバーとの通信を試みるための最大間隔を設定します。
- **SSLプロトコルが電子メールサーバーで使用されています:**
メールサーバーがSSLプロトコルを使用するかどうかを設定します。

(5) テストユーティリティ: SMSを送信することにより、入力された設定が正しいか、正しく動作しているかをすぐに確認できます。

(6) テストユーティリティ: 電子メールを送信することで、設定enteredが正しく、正しく機能しているかどうかを即座に確認できます。

(7) コントロールバー: [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

メディア

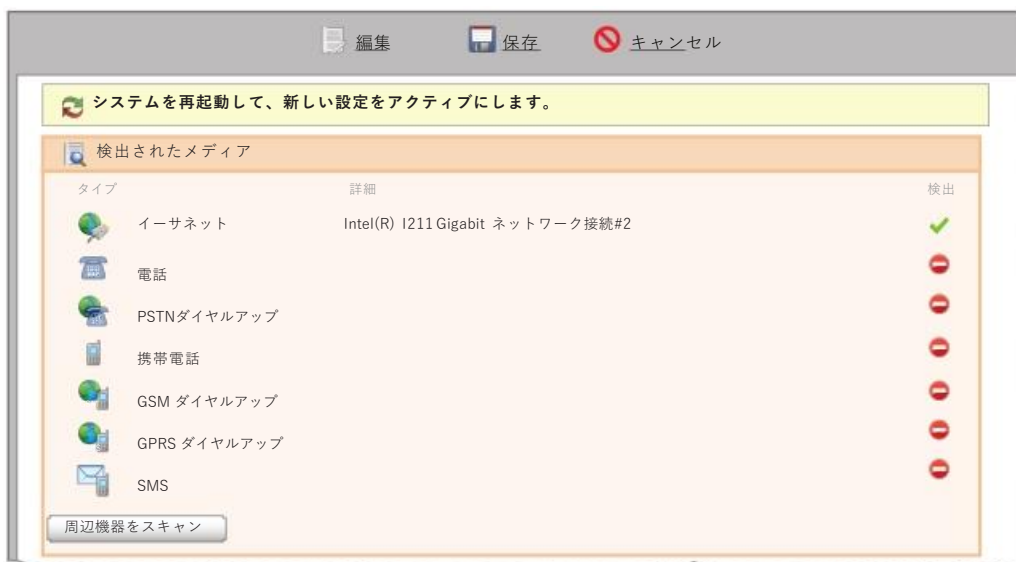
TelevisGoは、接続されている互換性のある接続デバイス (LANやGSMモデムなどのメディア) を自動的に検出し、それらを使用してアラーム通知を送信できます。

次のメニューシーケンスを実行します:

:

 [設定](#) →  [一般設定](#) →  [メディア](#)

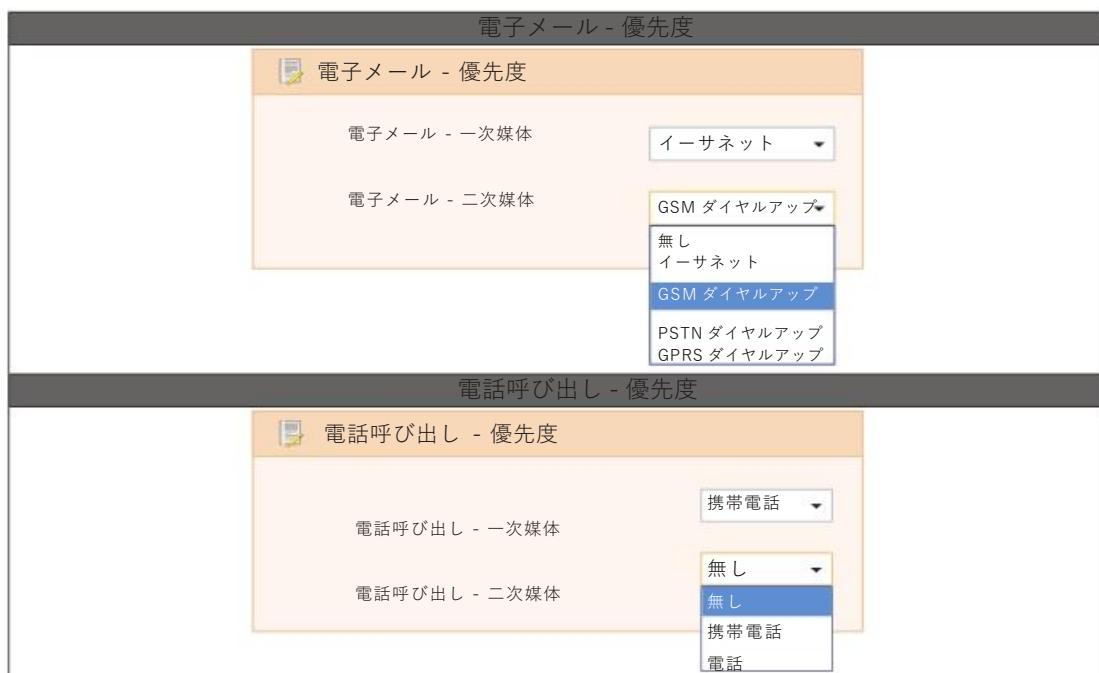
以下のように画面が表示されます:



検出されたメディアボックスには、見つかった要素と対応する接続タイプがリストされます。検出された列は、指定されたメディアが検出されたかどうかを示し、列の詳細はその説明を示します。

[[周辺機器をスキャン](#)]をクリックすると、システムはTelevisGoに接続されているメディア要素を自動的に検出します。

TelevisGoには、アラーム通知を送信する際のバックアップ機能があります。このページを使用して、システムがメディアのさまざまなタイプを使用して通知を送信する順序を決定できます。



たとえば、[電子メールの優先度]ボックスで、電子メールを介してアラーム通知を送信するための1次メディアを選択できます（この例では、イーサネット）。イーサネット接続が利用できない場合、TelevisGoは二次媒体（この場合はGSMモデム）を使用して電子メールを送信しようとします。

電話呼び出しによるアラーム通知の優先度の選択は、同じ方法で行われます。

どちらの場合も、特定のメディアが現在有効ではない場合でも、ドロップダウンリストでは、その種類の通知に関連するすべてのメディアから選択できます。

PSTN、GSM、GPRSタイプ接続の構成もこのページで行われます。3つの接続タイプはそれぞれ、対応するドロップダウンリストからアクティブ化できます。PSTNおよびGSMタイプ接続では、次の情報がenteredである必要があります。

- 国内通話コードを含む電話回線プロバイダーの番号（たとえば、イタリアの場合は+39）
- ダイヤルアップ接続のユーザー名、および
- ダイヤルアップ接続のユーザーパスワード



GPRS接続には、サービスのアクセスポイント名（APN）も必要です（例：internet.mnc012.mcc345.gprs）



その他

次のメニューシーケンスを実行します。:

設定 → **一般設定** → **その他**

以下のように画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

(1) **寿命テスト通知の送信**: 寿命試験情報の送信を管理します:

- ネットワーク名前付けスナップショットファイルにパラメーターを含む
- 履歴データにアラームリソースを表示
- リアルタイムデータでアラームリソースを表示
- データエクスポートタスクの実行時間:
- 取得を開始

取得が自動的に再開されるまでの非アクティブ期間を示します。

(2) **コントロールバー**: 36ページの「5.8.ボタンとセレクター」を参照ください。

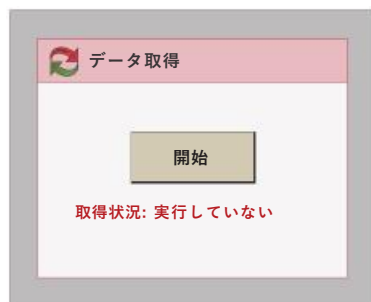
6.5. 取得の開始

次のメニューシーケンスを実行します。:

✕ ツール → ⚙️ 開始/停止

メニューにアクセスすると、次のウィンドウのいずれかが表示されます。

- 収集実行前：左側のウィンドウが表示されます：**開始**をクリックして実行します。
- 収集実行中：右側のウィンドウが表示されます：**停止**をクリックして停止します。



自動取得を再起動するように設定すると、ユーザーがメンテナンス作業後に誤ってデータ取得を中止してしまうのを防ぐことができます。

取得状況は、状態バーで確認できます(34ページの「5.7. 状態アイコン」)をご参照ください。

6.6. ユーザー管理

6.6.1. ユーザーグループの表示

次のメニューシーケンスを実行します。:

🔧 設定 → 👤 ユーザー → 📄 表示

以下のように画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

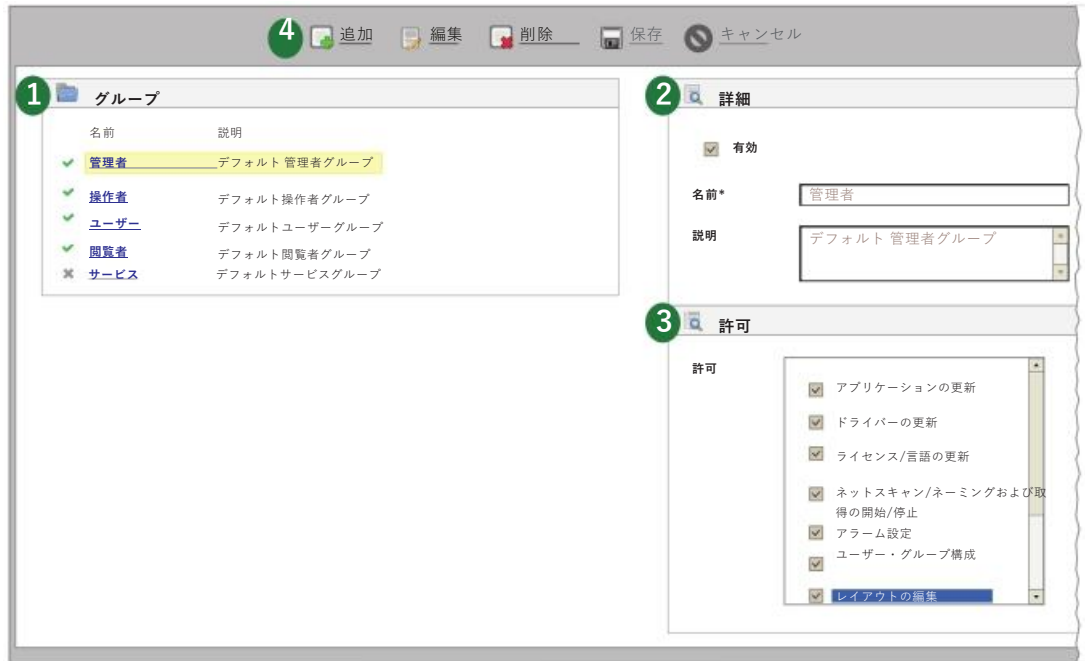
- (1) **グループ**: システム内のすべてのグループ登録済のリスト。
- (2) **ユーザー**: グループに分割された、システム内のすべてのユーザー登録済のリスト。

6.6.2.グループ管理

次のメニューシーケンスを実行します。:

設定 → ユーザー → グループ

以下のように画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **グループ:** システムのすべてのグループ登録赤をリストします。
- (2) **詳細:** グループの名前と説明の設定に使用します
(**追加** または **編集** アイコンをクリックした後にのみ有効です)
- (3) **許可:** 特定のグループに関連付けられた権限を設定するために使用され、1つ以上の機能を更新/構成するオプションを有効/無効にします。
(**追加** または **編集** アイコンをクリックした後にのみ有効です)
- (4) **コントロールバー:** [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

グループの許可を編集するには、管理者のパスワードまたはユーザー/グループ構成に許可されているユーザーを使用してログインする必要があります。

現在、オプション「**レイアウト-書き込み許可**」は、グループに割り当てることができる許可の中にあります。次のように機能します。

- チェックボックスにチェックマークが付いている場合、グループに属するユーザーは、レイアウトページ（変数、実行コマンドなどの値を変更できます）。
- チェックボックスがチェックされていない場合、グループに属するユーザーはレイアウトページを表示できますが、変数の値や実行コマンドを変更することはできません。

6.6.3. ユーザー管理

次のメニューシーケンスを実行します。:

設定 → ユーザー → ユーザー

以下のように画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **ユーザー**: システム内のすべてのユーザー登録をグループに分けてリストします。
- (2) **詳細**: ユーザーとユーザーが属するグループの名前、パスワード、説明を設定するために使用されます。
- (3) **コントロールバー**: [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

NOTE: -ユーザーの「管理者」グループの権限は変更できません。

-ユーザーのプロファイルを編集するには、管理者またはユーザーのパスワードを使用してログインする必要があります。

ユーザーは、ユーザー/グループ構成に対して承認されています。

6.7. スケジュールアクション

TelevisGoは、プログラム可能なタイムスケジュールに従って、ユーザーが設定したアクションを自動的に実行できます。

スケジュールされたアクションには3つのタイプがあります。

- 1つ以上のデバイスにコマンドを送信する
- 1つ以上のデバイスのパラメーターを書き込む
- データをエクスポートする

スケジュールされたアクションには、3つのプログラミングオプションがあります。

- 定期：ユーザーによって定義された期間が終了するたびに、アクションが定期的に実行されます。
- 毎日：アクションは日ごとに、日中に1回以上実行されます。
- 毎週：アクションは週ごとに、日中に1回以上実行されます。スケジュールされた各アクションには、開始日と終了日を使用して定義された有効間隔があります。

アクションはプログラムされたスケジュールに従って実行されます。アクションが正常に完了しなかった場合、TelevisGoはユーザーが設定した間隔で、ユーザーが設定した最大期間、再度実行しようとしています。

最大時間期間が0に設定されている場合、または時間期間が再試行間隔よりも低い値に設定されている場合、試行は行われません。

スケジュールアクションは、現在の構成のデバイスの選択に作用し、アクティビティを最適化します。ユーザーが多くのアクションを頻繁に実行するように設定すると、表示の送信に遅延が発生したり、誤動作が発生したりする可能性があります。同様に、頻繁なエクスポートの生成により、過剰な数のファイルが生成される場合があります。時間が経つと、TelevisGoのフォルダーから外部ネットワークフォルダーに移動しないと、マシンがダウンするか、誤動作する可能性があります。

NOTICE

操作不可能なデバイス

- 重要なアクションを管理するために「スケジューラ」ツールを使用しないでください。
- 多くのデータエクスポートの生成が予想される場合は、TelevisGoの外部にネットワークフォルダーを設定します。

これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

6.7.1. 表示方法

次のメニューシーケンスを実行します。:




 **設定** →  **スケジューラ** →  **表示**

以下のように画面が表示されます:



1 タイプ	2 名前	3 説明	4 スケジュール	5 次の実行
	霜取り	コマンド送信: 手動霜取り アクティベーション (1デバイス)	毎週日曜、水曜、土曜の9時30分 および12.30 (2011年7月31日22.00以降)	30-Jun-18 09.30
	マップの書き込み	パラメータマップの書き込み: Map_1.dat (16デバイス)	オンデマンド実行	-----
	セットポイント	データのエクスポート 'C:%Eliwell%TelevisDB%エクスポート' using profile: defaultトGraph (13デバイス)	毎週16:05の日曜 (18/6月8日12:02から)	28-Jun-18 05.00

各項目の説明は次のとおりです。

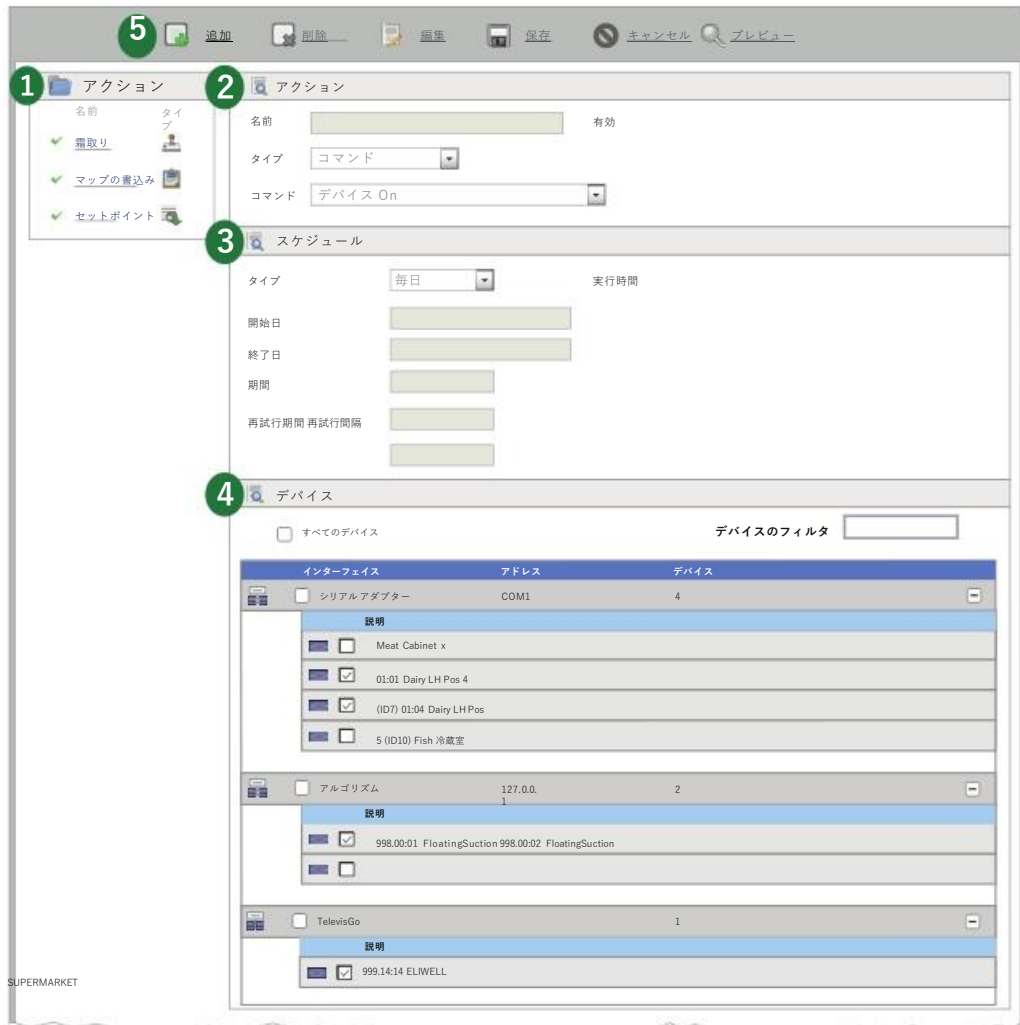
- (1) **タイプ:** スケジュールされたアクションのタイプを識別します:
-  = コマンドの送信
 -  = パラメータの書き込み
 -  = データのエクスポート
- (2) **名前:** ユーザー定義
- (3) **説明:** 実行するアクションを定義します。アクションが実行されるデバイスの番号。
- (4) **スケジュール:** アクションが実行される規則性について説明します。
- (5) **次の実行:** アクションが実行される次の日付/時刻を示します。

6.7.2. スケジュールされたアクション管理

スケジュールされたアクションを編集するには、次のメニューシーケンスを実行します：

 **設定** →  **31. スケジューラ** →  **アクション**

以下のように画面が表示されます：



The screenshot shows a software interface for managing scheduled actions. It is divided into several sections, each highlighted with a numbered callout:

- 1** **アクション**: A list of actions with checkboxes for '削除' (Delete), 'マップの書き込み' (Write map), and 'セットポイント' (Setpoint).
- 2** **アクション**: A form for creating or editing an action, including fields for '名前' (Name), 'タイプ' (Type), and 'コマンド' (Command).
- 3** **スケジュール**: A form for scheduling the action, including fields for 'タイプ' (Type), '開始日' (Start date), '終了日' (End date), '期間' (Duration), and '再試行期間' (Retry interval).
- 4** **デバイス**: A section for selecting devices, featuring a table with columns for 'インターフェイス' (Interface), 'アドレス' (Address), and 'デバイス' (Device). Below the table are sections for '説明' (Description) and checkboxes for each device.
- 5** **コントロールバー**: A toolbar at the top with buttons for '追加' (Add), '削除' (Delete), '編集' (Edit), '保存' (Save), 'キャンセル' (Cancel), and 'プレビュー' (Preview).

インターフェイス	アドレス	デバイス
<input type="checkbox"/> シリアルアダプター	COM1	4
説明		
<input type="checkbox"/>	Meat Cabinet x	
<input checked="" type="checkbox"/>	01:01 Dairy LH Pos 4	
<input checked="" type="checkbox"/>	(ID7) 01:04 Dairy LH Pos	
<input type="checkbox"/>	5 (ID10) Fish 冷蔵庫	
<input type="checkbox"/> アルゴリズム	127.0.0.1	2
説明		
<input checked="" type="checkbox"/>	998.00:01 FloatingSuction 998.00:02 FloatingSuction	
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/> TelevisGo		1
説明		
<input checked="" type="checkbox"/>	999.14:14 ELIWELL	

各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **アクション**: アクションリスト。
- (2) **アクション**: アクションを作成/編集するためのセクション。
- (3) **スケジュール**: アクションを実行するタイミングを設定するセクション (期間)。
- (4) **デバイス**: アクションを実行するデバイスを選択するセクション。
- (5) **コントロールバー**: [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

右側の部分は3つのセクションに分かれています：

アクション

アクションセクションは、実行するアクションの**タイプ**を定義するために使用されます。

アクションタイプ：コマンド

+ **アクション**

名前 有効

タイプ コマンド

コマンド

Instrument on

Instrument on

Instrument off

Energy saving function

Activation Energy saving function deactivation Economy Mode On

Economy Mode Off

ライトs Off

Keypad Locked

フィルターを使用して選択したデバイスで実行する**コマンド**のタイプを設定するために使用します。アクションの名前は、[名前]ボックスで指定する必要があります。**コマンド**ドロップダウンリストには、ネットワーク構成に存在するすべてのデバイスが表示されます。アクションを実装するには、「有効」をクリックします。

アクションタイプ：パラメーター書き込み

+ **アクション**

名前 有効

タイプ writing

タイプ parameterMap_1.dat

ファイル名

警告:EEPROMデバイスの書き込み頻度が高すぎると、電子デバイスが損傷する可能性があります

パラメータマップの書き込みアクションが実行されるたびに適用されるマップファイルの名前を設定するために使用されます。
アクションの名前は、[名前]ボックスで指定する必要があります。
ファイル名は、ファイル名ボックスで指定する必要があります。
TelevisGoで手順を実行するには、システムアップデートページからマップファイルをロードする必要があります。

⚠ **警告**

意図しない機器の操作
EEPROMパラメーターを頻繁に書き込むと、システムメモリが破損する場合があります。
これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

アクション

名前 有効

タイプ

タイプ

パラメーター

ラベル (case sensitive)

値

ラベル	値	
Set	-2	<input type="button" value="-"/>
HAL	1	<input type="button" value="-"/>
LAL	-5	<input type="button" value="-"/>

警告: EEPROMデバイスが頻繁に書き込まれると、電子デバイスが損傷する可能性があります。

個々のパラメーター書き込みアクションが実行されるたびに、書き込みとその値のリストを手動で入力するために使用されます。少なくとも1つのパラメーターを入力する必要があります。アクションの名前は、[名前]ボックスで指定する必要があります。

新しいパラメーターを入力するには、[ラベル]ボックスにラベルを入力し、[値]ボックスに値を入力して、 をクリックします。ラベルと値のペアが下のリストに追加されます。がある場合???ラベル、TelevisGoは、別のペアリングが入力されるとすぐにそれを削除します。

同じラベルとのペアリングが既に読み込まれている場合、TelevisGoは以前に入力された値を上書きします。

リストからラベル/値のペアを削除するには、 をクリックします。

NOTE: ラベルを入力するときに、TelevisGoは小文字と大文字を区別します。

警告

意図しない機器の操作

EEPROMパラメーターを頻繁に書き込むと、システムメモリが破損する場合があります。これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

アクションタイプ: データエクスポート

期間: **フラッシュ** - スケジュール: **毎日**

アクション

名前 有効

タイプ

期間

フォルダ: CSVにエクスポート PDFにエクスポート 印刷

電子メール受信者 ●

フィルターを介して選択された前日 (00:00から24:00まで) のデータのエクスポートに使用され、.csvファイルまたは.pdfファイルおよび/またはそれを印刷します。
名前ボックスにアクションの名前を入力します。

設定項目:

- ファイルをディレクトリに保存し、ディレクトリと形式 (.csv、.pdf、またはその両方) を指定するかどうか。
- データを印刷するかどうか。
- 電子メール経由でファイルを送信するかどうか。

関連するボックスにチェックを入れて、受信者1の電子メールアドレスを入力します。

期間: **毎日** - スケジュール: **毎日**

アクション

名前 有効

タイプ

期間 アンダーサンプリング バリエーションをエクスポート

フォルダ: CSVにエクスポート PDFにエクスポート 印刷

電子メール受信者 ●

フィルターを介して選択された前日 (00:00から24:00まで) のデータのエクスポートに使用され、.csvファイルまたは.pdfファイルおよび/またはそれを印刷します。

名前ボックスにアクションの名前を入力します。

アンダーサンプリングが「なし」の場合、前日のすべてのデータ (00:00~24:00) がエクスポートされます。

値xが異なる場合、x分/時間ごとのデータ読み取りのみがエクスポートされます (x = 5分、15分、30分、1時間、2時間、3時間、4時間、6時間、および12時間)。

「バリエーションをエクスポート」を選択すると、スケジュール外の異なる時間に発生したイベントもエクスポートされます。

設定項目:

- ファイルをディレクトリに保存し、ディレクトリと形式 (.csv、.pdf、またはその両方) を指定するかどうか。
- データを印刷するかどうか。
- 電子メール経由でファイルを送信するかどうか。関連するボックスにチェックを入れて、受信者1の電子メールアドレスを入力します。

期間: 毎週 - スケジュール: 毎週

アクション	
名前	<input type="text"/> <input checked="" type="checkbox"/> 有効
タイプ	データエクスポート
期間	毎週 アンダーサンプリング X <input type="checkbox"/> バリエーションをエクスポート
<input checked="" type="checkbox"/> フォルダ:	C:\eliwell\TeleviDB\export <input type="checkbox"/> CSVにエクスポート <input type="checkbox"/> PDFにエクスポート <input type="checkbox"/> 印刷
<input type="checkbox"/> 電子メール受信者	<input type="text"/> ● <input type="text"/> 検証...

フィルターを介して.csvファイルまたは.pdfファイルに選択された、前週（00:00月曜から24:00から次の日曜まで）のデータをエクスポートするために使用されます。および/またはそれを印刷する。名前ボックスにアクションの名前を入力します。アンダーサンプリングが「なし」の場合、前日のすべてのデータ（00:00～24:00）がエクスポートされます。値xが異なる場合、x分/時間ごとのデータ読み取りのみがエクスポートされます（x = 5分、15分、30分、1時間、2時間、3時間、4時間、6時間、および12時間）。「バリエーションをエクスポート」を選択すると、スケジュール外の異なる時間に発生したイベントもエクスポートされます。

設定項目：

- ファイルをディレクトリに保存し、ディレクトリと形式（.csv、.pdf、またはその両方）を指定するかどうか。
- データを印刷するかどうか。
- 電子メール経由でファイルを送信するかどうか。関連するボックスにチェックを入れて、受信者1の電子メールアドレスを入力します。

(1) 電子メールアドレスを入力する場合、関連するボタンを使用して検証する必要があります。正しい場合、LEDが緑に変わります。

NOTE: • 複数の電子メール受信者が存在する場合があります。アドレスを「;」で区切るだけです。
• エクスポートされたデータのテンプレートは、「履歴テーブル」機能を使用して作成/編集できます。
• デフォルトは「システム_HACCP」であり、ネットワーク上の各デバイスから最初のプローブと最初の霜取りステータスを抽出します。

スケジュール

スケジュールセクションは、スケジュールのタイプを定義するために使用されます。

スケジュール タイプ: 定期

アクション時間 1日と6時間 (30時間)

スケジュール

タイプ

開始日 終了日

期間

再試行期間

再試行間隔

タイムスパンの設定
日:時間:分:秒

.::

定期スケジュールでは、ユーザーが以下を定義する必要があります。

- 1.スケジュールの**開始日** (および時刻)
- 2.スケジュールの**終了日** (および時刻)
- 3.スケジュール**期間** (日:時間:分:秒)。
期間を入力するウィンドウが開きます (上記を参照)。次に、[OK]をクリックします
- 4.以前に失敗した場合、アクションを**再度実行**しようとする最大期間 (再試行期間)
- 5.アクションが以前に失敗した場合の**再試行**の時間間隔 (再試行間隔)
このタイプのスケジュールの最初の実行は、開始日ボックスで指定された時間と一致します。

スケジュール タイプ: 毎日

アクション 実行時間 毎日3:00

スケジュール

タイプ

開始日 終了日

期間

再試行期間

再試行間隔

実行時間

時間を設定

:

毎日のスケジュールでは、ユーザーが以下を定義する必要があります。

- 1.スケジュールの**開始日** (および時刻)
- 2.スケジュールの**終了日** (および時刻)
- 3.アクションの各実行間の日数
- 4.アクションが実行される日の1つ以上の**実行時間**。
「Time」というテキストの下にあるボックスをクリックして、時間を入力するためのウィンドウ (上記参照) を開きます。次に、[OK]をクリックします。時間がリストに追加されます。手順を繰り返して新しい時間を追加します。
- 5.再試行期間
- 6.再試行間隔
アクションの各実行間の日数を定義するには、「期間」ボックスに番号を入力します。
リストに入力された時間を削除するには、 をクリックします。
このタイプのスケジュールの最初の実行は、[開始日]ボックスで指定された日時に続く最初の利用可能な時間に行われます。

スケジュールタイプ: 毎週

毎週日曜日、水曜、土曜の9時30分と12時30分にアクション実行


タイプ	毎週	実行時間	09:30	週間	<input checked="" type="checkbox"/> 日曜
開始日	10-10-2012 @		12:30		<input type="checkbox"/> 月曜
終了日	10:38 12-12-2012				<input checked="" type="checkbox"/> 火曜
期間	@ 10:38 1				<input checked="" type="checkbox"/> 水曜
再試行期間	01:00:00				<input type="checkbox"/> 木曜
再試行間隔	00:05:00				<input type="checkbox"/> 金曜
					<input checked="" type="checkbox"/> 土曜

時間を設定

01:00

OK

毎週スケジュールでは、ユーザーが以下を定義する必要があります。

1. スケジュールの**開始日**（および時刻）
2. スケジュールの**終了日**（および時刻）
3. アクションの各実行間の週数
4. アクションが実行される週の曜日
5. アクションが実行される日の1つ以上の**実行時間**。
「Time」というテキストの下にあるボックスをクリックして、時間を入力するためのウィンドウ（上記参照）を開きます。次に、[OK]をクリックします。時間がリストに追加されます。手順を繰り返して新しい時間を追加します
6. 再試行期間
7. 再試行間隔
アクションの各実行間の週数を定義するには、「**期間**」ボックスに番号を入力します。アクションを実行する曜日を定義するには、「**週**」リストで1つ以上の日を選択します。ユーザーが日をまったく選択しない場合、情報が保存されるとTelevisGoは自動的に日曜を選択します。リストに入力された時間を削除するには、をクリックします。
このタイプのスケジュールの最初の実行は、「**開始日**」ボックスで指定された日付と時刻に続く最初の利用可能な日/時間に行われます。

デバイス

デバイスセクションを使用して、設定するアクションが適用されるネットワークに属するデバイスを選択できます。



各項目の説明は次のとおりです。

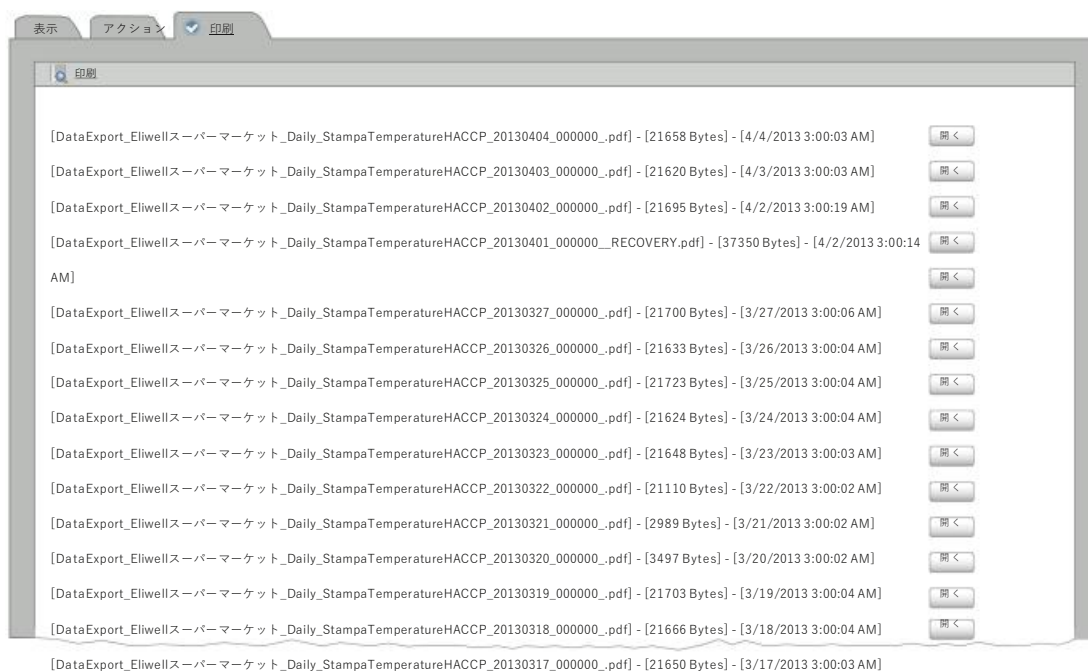
- (1) **すべてのデバイス:** ネットワークのすべて選択デバイスに使用されます。
- (2) **デバイスのフィルタ:** ネットワーク内のデバイスをフィルタリングするために使用されます。
- (3) **インターフェイス:** 画面には、フィルターを満たすデバイスのみが表示されます。対応するチェックボックスにチェックマークを付けることにより、同じインターフェースのデバイスをすべて選択するために使用されます。
- (4) **デバイス:** 対応するチェックボックスにチェックを入れて、インターフェースの個々のデバイスを選択するために使用します。

6.7.3. エクスポートされたデータの印刷

実行されたデータエクスポート手順のリストを表示するには、次のメニューシーケンスを実行します。

 設定 →  スケジューラ →  印刷

以下のように画面が表示されます：



上記の図では、TelevisGoは以前に保存されたデータエクスポートファイルとその詳細のリストを示しています。

6.7.4. レポートのカスタマイズ

ユーザーが明示的に指定しない限り、レポートはヘッダーを持ちません。

レポートの位置は、印刷される情報がリアルタイムデータであるか履歴データであるかに応じて変わります。

•リアルタイムデータ：レポートは垂直になります。

•履歴データ：レポートは水平になります

ヘッダーは同じグラフィック要素（ロゴ、画像、タイトル）を使用します。以下は、ヘッダーが表示されたヒストリカルなレポートの例です。

Time (日付)	0.00:04 EWDR 985 LX アナログ 入力1	0.00:05 EWDR 985 LX アナログ 入力1
08.57.16 (05/09)	-23.6	-7.4
09.12.16	-23.6	-7.4
09.27.16	-23.6	-7.4
09.42.17	-23.6	-7.4
09.57.16	-23.6	-7.4
10.12.16	-23.6	-7.4
10.27.16	-23.6	-7.4
10.42.17	-23.6	-7.4
10.57.16	-23.6	-7.4
11.12.16	-23.6	-7.4
11.27.16	-23.6	-7.4
11.42.17	-23.6	-7.4
11.57.15	-23.6	-23.3
12.10.33	-23.6	-7.4
12.23.50	-23.6	-7.4
12.33.51	-23.6	-7.4
12.53.51	-23.6	-7.4
12.57.33	-23.6	-7.4
13.12.33	-23.6	-7.4
13.27.33	-23.6	-23.3
13.42.33	-23.6	8.4
13.57.34	-23.6	8.4
14.12.34	-23.6	-7.4
14.27.34	-23.6	-7.4
14.42.34	-23.6	-7.4
14.57.35	-23.6	-23.3
15.12.34	-23.6	-7.4
15.27.34	-23.6	-7.4
15.42.34	-23.6	-23.3
15.57.35	-23.6	-7.4
16.12.34	-23.6	-7.4
16.28.03	-23.6	-7.4
16.43.03	-23.6	-7.4
16.58.03	-23.6	-7.4
17.13.03	-23.6	-7.4
17.23.04	-23.6	-7.4
17.43.03	-23.6	-23.3
17.58.03	-23.6	-7.4

1 eliwell 2 タイトルライン Subtitle line 1 Subtitle line 2 3 TelevisGo

Plant name: ELIWELL
SUPERMARKET
04 April 2013 03:00:01

1: アクティブ - 0: Sleeping Page 1 of 3

レポートヘッダーをカスタマイズするには、TelevisGoの次のフォルダにアクセスします：

C:\¥Eliwell¥Televis¥customerReports

リスト上の1つ以上のファイルを編集/カスタマイズした後、サービスを再起動して変更を実装する必要があります。

フォルダ内のファイルは次のとおりです。

- A) **head-first-page.html**：レポートの最初のページのヘッダーを設定するために使用されます（1、2、および3）。
- B) **head-page.html**：レポートの後続ページ（1、2、および3）のヘッダーを設定するために使用されます。
- C) **ロゴ-left.png**：ヘッダーの左側に表示されるロゴが含まれています（1）。
- D) **ロゴ-right.png**：ヘッダーの右側に表示されるロゴが含まれています（3）。
- E) **ReportTemplate.xml**：レポートテンプレートを表し、最初のページと後続のページのヘッダーの高さを設定するために使用されます。

PNGファイルの編集（ファイルCおよびD）

最初に、PNGファイルをレポートヘッダーに表示するロゴまたは画像に置き換えます。位置決めは次のようになります。

- **ロゴ-left.png**：ヘッダーの左側に表示されるロゴ/画像（1）
 - **ロゴ-right.png**：ヘッダーの右側に表示されるロゴ/画像（3） デフォルトファイルは、エリウエルロゴとTelevisGoロゴです（例を参照）。
- デフォルトでは、HTMLファイルには次のサイズの画像が必要です。
- 最初のページでは、200pt x 64ptになります
 - 後続のページでは、96pt x 46ptになります

画像のサイズが異なる場合、プリセットのサイズに合わせてサイズが変更されます。

ファイル名を変更しないでください。異なる名前を使用するには、ヘッダーの特性を含む2つのHTMLファイルのコードを編集する必要があります。

HTMLファイルの編集（ファイルAおよびB）

まず、2つのファイルをテキスト編集またはメモ帳++で開いて編集します。

2つのファイルは次のとおりです。

- **head-first-page.html**：レポートの最初のページのヘッダーを設定します（1、2、3）
- **head-page.html**：レポートの後続ページのヘッダーを設定します（1、2、3）

以下に示すように、コードのカスタマイズする部分はファイルの最後にあります。

```
-----  
...  
<br />  
タイトルライン  
<br /></span>  
<span class="sub-title">  
Subtitle line 1  
<br />  
Subtitle line 2  
</span></p></td>  
<td class="img-cell"></td>  
</tr></table>  
</body>  
</html>
```

赤の3つの部分（タイトルライン、字幕行1および字幕行2）は、レポートヘッダー（B）の中央に表示され、独自の要件に合わせてテロ赤にする必要があります。

1つ以上の行が必要ない場合は、テキストを「空白」に置き換えます。ファイナライズされたファイルに有効なHTML形式が含まれていることを確認してください。

ファイルの名前を変更しないでください。変更すると、レポートの生成時に誤動作が発生する可能性があります。

XMLファイルの編集（ファイルE）

まず、ファイルをテキスト編集またはメモ帳++で開いて編集します。カスタマイズする必要のあるコードには、リアルタイムデータレポート用と履歴データレポート用の2つの部分があります。

1) ヒストリカルデータ

4行目を編集する必要があります（以下を参照）。

```
<historical gap="5" margin="20">
<customHeader firstPage="head-first-page.html" firstPageHeight="100" otherPages=
"head-page.html" otherPagesHeight="100" />
<custom値>
```

設定される2つの値は、赤と緑で示され、以下を表します：

- 赤の値：レポートの最初のページのヘッダーの高さを表します。
 - 緑の値：レポートの後続ページのヘッダーの高さを表します。
- デフォルトでは、2つの値は「0」に設定されます
ページの過剰な番号を生成しないように、画像をあまり大きく拡大しないことをお勧めします。

2) リアルタイムデータ

28行目を編集する必要があります（以下を参照）。

```
<realTime gap="5" margin="20" orientation="portrait">
<customHeader firstPage="head-first-page.html" firstPageHeight="100" otherPages=
"head-page.html" otherPagesHeight="100" />
<custom値>
```

設定される2つの値は、赤と緑で示され、以下を表します。

- 赤の値：レポートの最初のページのヘッダーの高さを表します。
- 緑の値：レポートの後続ページのヘッダーの高さを表します。デフォルトでは、2つの値は「0」に設定されます。

ページの過剰な番号を生成しないこと、画像をあまり大きく拡大しないことをお勧めします。

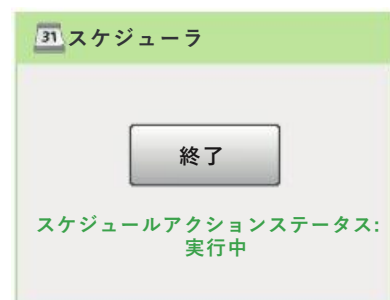
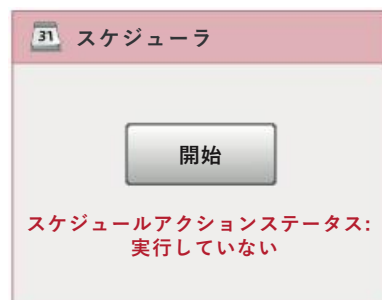
6.8. スケジュールされたアクションの開始

次のメニューシーケンスを実行します。：

🔧 ツール → ⚙️ 開始/停止

メニューにアクセスすると、アクションが開始されたかどうかに応じて、次のウィンドウのいずれかが表示されます。

- スケジュールアクション実行していない：左側のウィンドウが表示されます。
[開始]をクリックして、スケジュールされたアクションを開始します。
- スケジュールアクション実行中：右側のウィンドウが表示されます。
[停止]をクリックして、スケジュールされたアクションを停止します。



CHAPTER 7

アラーム管理

7.1. はじめに

TelevisGoは、ネットワークに接続されているデバイスのアラーム表示（温度アラームなど）を表示およびログに記録し、1つ以上の受信者に送信できます。

アラームが検出されると、**(●)**アイコンが状態バーに表示されます（以前のアラーム）。アラーム履歴は、ユーザーが選択した時間間隔に基づいてアラームを表示します。アラームは、アラーム条件が診断されるとすぐに記録されます。

NOTE:データ収集を開始して、アラーム管理を有効にします。

ネットワーク内のデバイスを確認するには、システムに2つの仮想アラームを設定して有効にする必要があります。すべてのデバイスのリソースとアルゴリズム、つまり「リンクなし」と「デバイス変更」の間に入ります。

NOTICE

操作不可能なデバイス

さまざまなデバイスの「リンク無し」および「デバイス変更」アラームを設定して有効にし、通信がない場合、またはデバイスリソースの誤った認識に操作リンクされた障害の場合に通知を受信します。

これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

7.2. アラーム管理ルール

アラームが発生した場合、システムは、管理対象であるか、どのデバイスで発生するか、有効なカテゴリに属しているかどうか、有効な間隔でアクティブにされたかどうかを確認します。すべての条件が検証されると、アラームカテゴリレベルベースのシステムで設定されたアクションが実行されます。

TelevisGoは、適切に構成されたすべての赤および有効な受信者にアラーム通知を送信します。

アラーム管理は、特定の時間間隔内で一連のアクションにデバイスアラームをペアリングするアラームカテゴリによって制御されます。

TelevisGoがアラームを送信するために使用する方法は、「レベル」と「エスカレート」の概念に基づいています。

レベル	予想される行動
レベル 4	ソフトウェアは、このレベルで始まるアラームカテゴリをチェックし、基準を満たすすべての通知を送信します。
レベル 3 (**)	ソフトウェアは、このレベルが割り当てられているすべてのアラームカテゴリをチェックします 2つの状況： I) レベル4カテゴリがアラームを管理していない場合 II) 少なくとも1つのレベル4カテゴリによって管理されている場合 「エスカレート」を規定しています。
レベル 3 – エスカレート	(*) レベル 4 – エスカレート.
レベル 2	(**) レベル 3.
レベル 2 – エスカレート	(*) レベル 4 – エスカレート.
レベル 1	(**) レベル 3.

7.3. 遅延時間

バリエーションが発生すると、すべてのアラームは登録赤になりますが、遅延時間が設定されていて、アラームが設定された期間より長く持続しない場合、一部のアラームは受信者に送信されない場合があります。

遅延時間は、ネットワーク内のデバイスのテンプレート構成パネルで設定できます (42ページの「6.2.2. テンプレート管理」)を参照ください。

7.4. アラーム設定

7.4.1. 表示方法



次のメニューシーケンスを実行します。:

 **設定** →  **アラーム** →  **表示**

以下のように画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

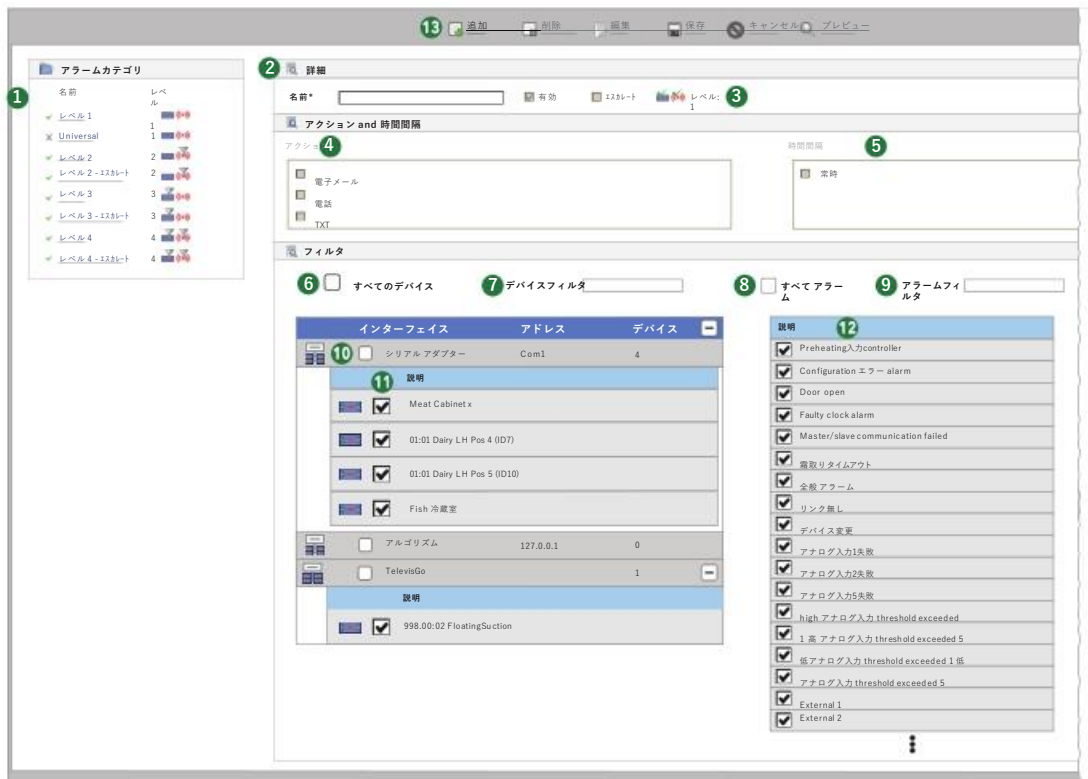
- (1) **レベル:** アラームカテゴリに割り当てられたレベルを識別します。
「76ページの7.2. アラーム管理ルール」)をご参照ください。
- (2) **エスカレート:** 次のレベルのチェックを有効にする (またはしない) :
 -  = 次のレベルにエスカレート可能
 -  = 次のレベルにエスカレート不可
- (3) **名前:** アラームカテゴリに割り当てられた名前を表示します。
- (4) **アクション:** アラームカテゴリに対して有効な通知を一覧表示します。
- (5) **時間間隔:** アラームカテゴリがアクティブになっている時間間隔をリストします。

7.4.2. アラームカテゴリ

アラームカテゴリを設定するには、次のメニューシーケンスを入力します：

設定 → **アラーム** → **アラームカテゴリ**

以下のように画面が表示されます：



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **アラームカテゴリ**： 「アラームカテゴリ」セットを表示します。
- (2) **名前**： アラームカテゴリに割り当てる名前を設定します。
- (3) **設定**： 以下の特性を設定するために使用されます。
- 有効： 「アラームカテゴリ」を有効/無効にします。
 - イコノ： 次のレベルのチェックを有効にします（またはしない）。
 - ： チェックボックス「すべてのデバイス」にチェックが入っています。
 - ： 特定のデバイスのリストが選択されています。
 - ： チェックボックス「すべてのアラーム」にチェックマークが付いています。
 - ： 特定のアラームのリストが選択されています。
 - レベル： ポイント (6)、(7)、(8)、および (9) の設定に基づいて、「アラームカテゴリ」に1~4のレベルが割り当てられます。

レベル	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
デバイス選択	すべて	すべて	選択	選択
アラーム選択	すべて	選択	すべて	選択

- (4) **アクション**： 実行するアクションを選択するために使用されます。
- (5) **時間間隔**： 選択したアクションがいつ実行されるかを選択するために使用されます。
- (6) **すべてのデバイス**： チェックされている場合、ネットワーク内のすべてのデバイスを選択します。
- (7) **フィルタ**： 説明によってアクションが適用されるデバイスをフィルタリングするために使用されます。
- (8) **すべてアラーム**： チェックすると、ネットワーク内のすべてのアラームを選択します。
- (9) **アラームフィルタ**： 説明によってアラームをフィルタリングするために使用されます。
- (10) **インターフェイス**： チェックされている場合、ネットワークのインターフェイスにすべてのデバイスを選択します。
- (11) **選択デバイス**： リストから1つ以上の特定のデバイスを選択します。
- (12) **選択アラーム**： リストから1つ以上の特定のアラームを選択します。
- (13) **コントロールバー**： [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)をご参照ください。

TelevisGoは常に有効なカテゴリのアカウントを常に排他的に取得し、常にレベルで始まります4つのカテゴリ、存在する場合。同じレベルに複数のカテゴリがある場合、デバイスはそれらすべてを実行します。

レベル4カテゴリ（存在する場合）のアクションが実行されると、少なくとも1つのレベル4カテゴリで「Escalate」フラグが選択されている場合、システムはレベル3カテゴリを検証して実行します。同じことが他のレベルにも当てはまります。

レベル4のカテゴリで「Escalate」フラグが選択されているが、レベル3またはレベル2に有効なカテゴリがなく、レベル1にある場合、システムは最も高いレベルのカテゴリを実行します。

アラームを選択するには、まず、アラームを表示するデバイスを選択するか、すべてのデバイスを選択してすべてのアラームの完全なリストを取得する必要があります。

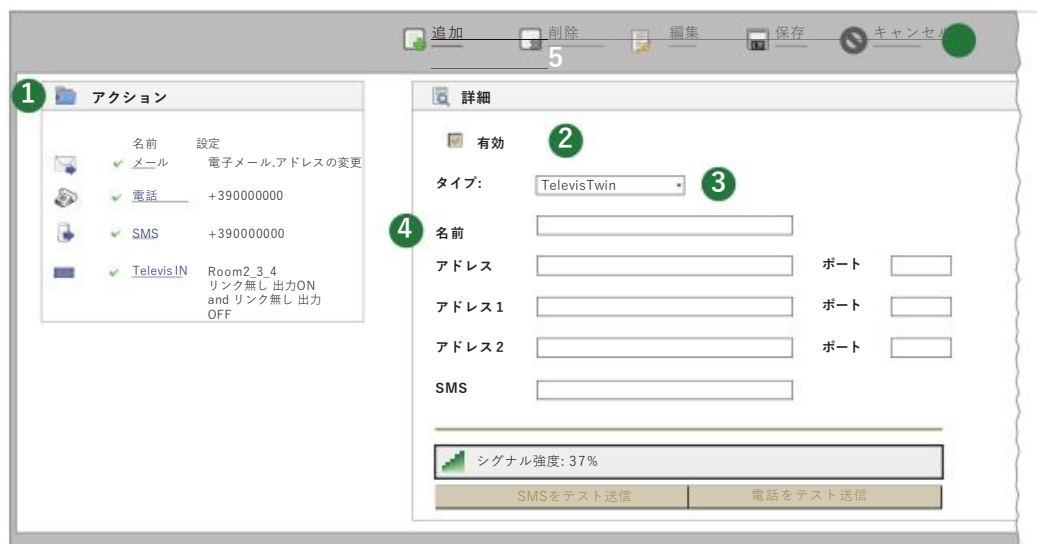
複数の時間間隔が同じカテゴリとペアになっている場合、それらはアンサンプルと見なされます。

7.4.3. アクション

アラームが発生したときに実行されるアクションを設定するには、次のメニューシーケンスを入力します：

🔧 設定 → 📧 アラーム → 🔄 アクション

以下のように画面が表示されます：



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **アクション:** すべてのセット「アクション」を表示します。
- (2) **有効:** チェックボックスをオンにして、選択したアクションの実行を有効/無効にします。
- (3) **タイプ:** 設定するアクションタイプを選択するために使用します。
- (4) **名前:** アクションの設定に使用されます。フィールドの順序は、ポイント (3) で選択した「タイプ」によって異なります。
- (5) **コントロールバー:** [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。5つの異なるタイプのアクションを作成できます：

- **TelevisTwin:** アラームの送信先となるTelevisTwinのIPアドレスを設定します。
- **電子メール:** アラームの送信先となる電子メールアドレスを設定します。
- **モデム経由のSMS:** アラームが発生した場合にSMSが送信される電話番号を設定します。
- **電話:** アラーム発生時に電話を受ける電話番号を設定します。
- **コマンド:** アラームが発生した場合に1つ以上のデバイスに送信されるコマンドを設定します。

選択は関連するドロップダウンメニューを介して行われ (C)、その下の制御が変化します (D)。アクションは、アラームカテゴリに入力された場合にのみ有効です。

表示される画面の1つ:

The screenshot displays five configuration panels in a grid layout:

- A - TelevisTwin:** Includes fields for Type (TelevisTwin), Name, Address (192.168.0.23), Port (8080), Address 1, Address 2, SMS (+393337600000), and Signal Strength (37%).
- B - 電子メール:** Includes fields for Type (電子メール), Name, and Email Address (elliwell@invensys.com).
- C - モデム経由のSMS:** Includes fields for Type (モデム経由のSMS), Name, and Phone Number (+393337600000).
- D - 電話:** Includes fields for Type (電話), Name, and Phone Number (+393337600000).
- E - コマンド:** Includes fields for Type (コマンド), Device Name (0.00:10 RTX 600/V-低SH), Alarm Action Command (Instrument On), and Command.

データを入力したら、 [保存]をクリックして変更を保存するか、 [キャンセル]をクリックして変更をキャンセルします。

A. TelevisTwin:

- ・ 名前: アクションに割り当てられた名前を入力します。
- ・ アドレス: デバイスのIPアドレス (例: 192.168.0.23) および対応するポート (例: 8080) を入力します。
- ・ アドレス 1: 代替IPアドレス1と対応するポートを入力します。
- ・ アドレス 2: 代替IPアドレス2と対応するポートを入力します。
- ・ SMS: SMSの送信先の電話番号を入力します (例: +39 333 7600000)。
- ・ シグナル強度: TelevisGoに接続されたモデムの信号強度を示します (%)。
- ・ SMSをテスト送信: 入力した番号にSMSをテスト送信します。
- ・ 電話をテスト送信: 入力した電話番号に電話をかけます。

B. 電子メール:

- ・ 名前: アクションに割り当てられた名前を入力します。
- ・ 電子メール: アラーム表示を送信する電子メールアドレスを入力します。
- ・ 検証: 電子メールアドレスの検証に使用されます。正しい場合、LEDが緑に変わります。

C. モデム経由のSMS:

- ・ 名前: アクションに割り当てられた名前を入力します。
- ・ 電話番号: SMSメッセージの送信先の電話番号を入力します (例: +39 333 7600000)。
- ・ 検証: 電話番号の検証に使用されます。正しい場合、LEDが緑に変わります。
- ・ シグナル強度: TelevisGoに接続されたモデムの信号強度を示します (%)。

- ・ 名前: アクションに割り当てられた名前を入力します。
- ・ 電話番号: 電話番号を入力します (例: +39 333 7600000)。
- ・ 検証: 電話番号の検証に使用されます。正しい場合、LEDが緑に変わります。
- ・ シグナル強度: TelevisGoに接続されたモデムの信号強度を示します (%)。

E. コマンド:

- ・ 名前: アクションに割り当てられた名前を入力します。
- ・ デバイス: ネットワークで検出されたデバイスから、動作するデバイスを示します。
- ・ アラーム作動指令: アラームがアクティブになった場合のデバイスの動作を示します。
- ・ コマンド: アラームの無効化時: アラームが無効化された後、デバイスが何をすべきかを示します。

電話をかけるときとSMSを送信するときの両方で、実際の電話番号の前に受信者の国際プレフィックスを忘れずに入力してください (例: イタリアの場合は+39を入力します)。

7.4.4. 時間間隔

アラームが発生したときに実行されるアクションを設定するには、次のメニューシーケンスを入力します：

 **設定** →  **アラーム** →  **時間間隔**

以下のように画面が表示されます：



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **時間間隔**：すべてのセット「時間間隔」を表示します。
- (2) **タイプ**：時間間隔のタイプを設定するために使用されます。
- (3) **期間**：間隔とペアになる時間を設定するために使用されます（フィールドは、選択した間隔のタイプによって異なります）。
- (4) **チャート**：設定された時間間隔のグラフィカル表示。
- (5) **コントロールバー**：[36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

時間間隔の3つの異なるタイプを作成できます：

- 毎日
- 毎週
- 毎週

選択は、関連するドロップダウンメニューを介して行われ、その下の制御が変化します。選択した間隔のタイプに応じて開く画面は次のとおりです：

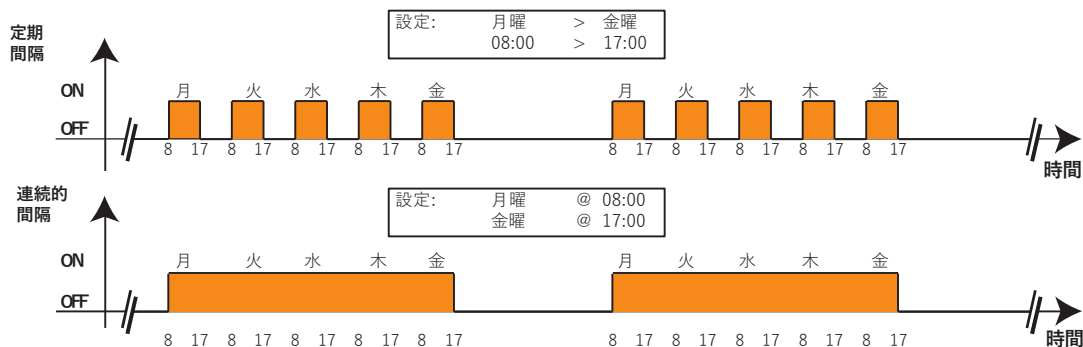


A. 毎日の期間:

- 名前：間隔に割り当てられた名前を入力します。
- 間隔：2つのチェックボックスを使用して、すべての日の有効期間の開始時刻と終了時刻を設定します。
(例：08.00> 19.00は、朝の08.00から夕方の19.00までを示します。
19.00> 06.00は、夕方の19.00から翌朝の06.00までを示します)。

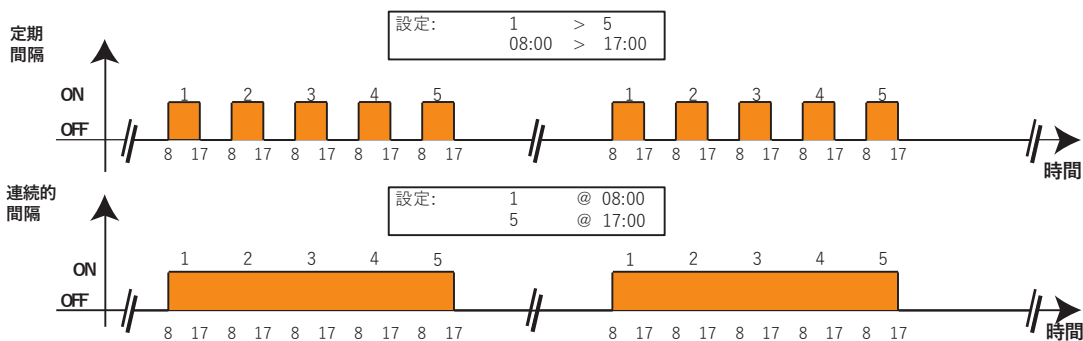
B. 毎週の期間:

- 名前：間隔に割り当てられた名前を入力します。
- 定期：以下を設定する必要があります。
 - 有効な曜日 (→から)
 - 各日内の有効な時間 (→から)
- 連続：以下を設定する必要があります。
 - 曜日と有効開始時間
 - 曜日と有効期間の終了時刻



C. 毎週の期間:

- 名前：間隔に割り当てられた名前を入力します。
- 定期：以下を設定する必要があります。
 - 月の有効日 (→から)
 - 各日内の有効な時間 (→から)
- 連続：以下を設定する必要があります。
 - 月の日と有効期間の開始時刻
 - 月の日と有効終了時間



NOTE: 「常時」時間間隔はシステムで事前設定されており、削除できません。
(週のすべての日に24時間を選択します)。

7.5. 構成

TelevisGoは、接続されている互換性のある接続デバイス (LANやGSMモデムなどのメディア) を自動的に検出し、それらを使用してアラーム通知を送信できます。(53ページの「6.4.2. 一般的なシステム設定」)を参照ください。

チャプター 8

操作

ユーザーは、データ/アラームをリアルタイムで、履歴データ/アラームまたはチャートで表示し、このデータを外部ファイルにダウンロードできます。

8.1. リアルタイムデータ

データをリアルタイムで表示するには、次のメニューシーケンスを入力します：


 データ →  リアルタイムデータ

以下のように画面が表示されます：



The screenshot displays a web interface for monitoring real-time data. At the top, there are controls for profile selection (1), configuration (2), and expansion (7). The main area shows a list of devices under the heading 'シリアルアダプター (COM1)'. Each device entry includes a timestamp, ID, and a list of resources (3). A tooltip (6) provides details for a selected device. Below this, there are sections for 'アルゴリズム (アルゴリズム)' and 'TelevisGo' with their respective resource lists.

各項目の説明は次のとおりです。

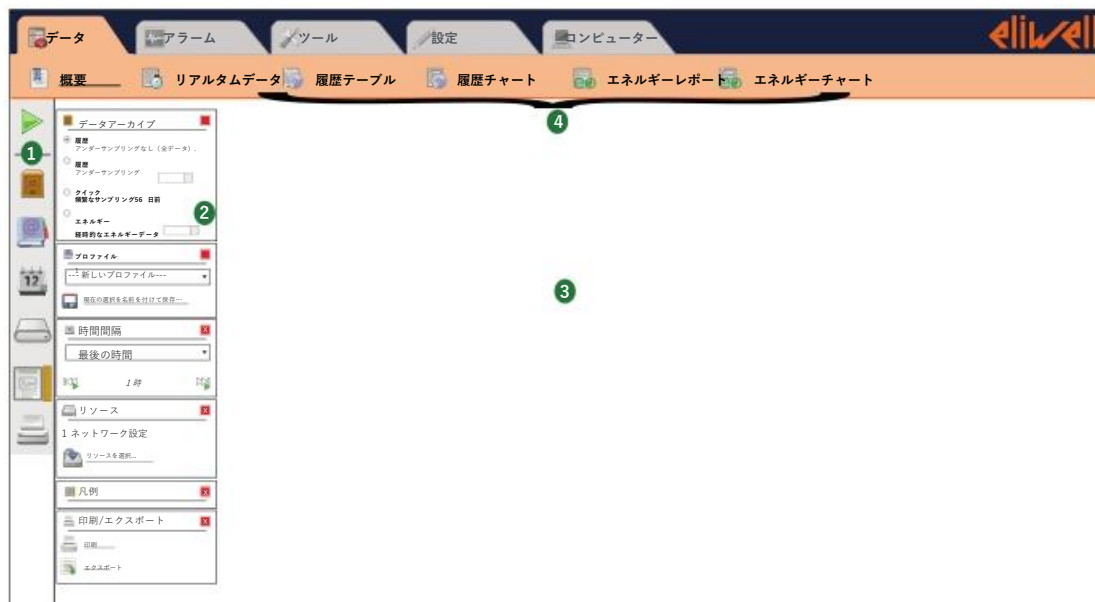
- (1) **プロファイル:** 「履歴テーブル」で以前に定義されたプロファイルをロードするために使用されます。
- (2) **配置:** 1、2、3、4、または5列で、それらが属するインターフェイス内にあるデバイスグループを表示するために使用されます。
- (3) **デバイス:** デバイス上のデータの概要：アドレス、モデル、状態アイコン。
- (4) **リソース:** デバイスのリソースリストを表示します。
- (5) **データ取得:** TelevisGoがインターフェイスに接続されたすべてのデバイスから発信されるデータを取得するのにかかった秒数が、 アイコンと一緒に表示されます。
- (6) **デバイス情報:** デバイス名の上にカーソルを移動すると、デバイスのアドレスとモデルを示すツールチップが表示されます。これにより、ネットワーク表示ページにアクセスしなくても、この情報をすばやく表示できます。
- (7) **コントロールバー:** [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)をご参照ください。

ネットワークスキャンの最後に、ユーザーがすべてを保存した後、TelevisGoは各デバイスのプロファイルを自動的に作成します。各デバイスの名前の前には接頭語「#」が付きます。

8.2. データテーブルとチャート

8.2.1. ページ構成

履歴データとエネルギーデータを表示するためのWebアプリケーションページは、同じ構造です：



各項目の説明は次のとおりです。

(1) 選択バー:

次の情報の表示を有効または無効にするために使用されます:

- ▶ : ポイント2で説明されているウィンドウ選択の設定に基づいてデータを検索します
- 📁 : 「データアーカイブ」ウィンドウの表示/非表示
- 📄 : 「プロファイル」ウィンドウの表示/非表示
- 📅 : 「時間間隔」ウィンドウの表示/非表示
- 🖨️ : 「リソース」ウィンドウの表示/非表示
- 📄 : 「凡例」ウィンドウの表示/非表示 (チャートでのみ適用可能)
- 🖨️ : 「印刷/エクスポート」ウィンドウの表示/非表示

(2) ウィンドウ選択:

データ、プロファイル、時間間隔、リソースなどのタイプを設定して、検索をカスタマイズするために使用されます。
(53ページの「6.4.2. 一般的なシステム設定」)をご参照ください。

(3) データ表示:

以前に実装された設定に応じて、テーブルまたはチャートの形式でデータを表示します。▶ アイコンを押します。

(4) 選択:

この画面でアクセスできる表示オプションは4つあります:

- 📄 : 履歴テーブル
- 📄 : 履歴チャート
- 📄 : エネルギーレポート
- 📄 : エネルギーチャート

8.2.2. ウィンドウ選択

選択バーのアイコンで表示/非表示されるウィンドウは、次のように使用されます:

アイコン	ウィンドウ	アクションの説明
	/	選択ウィンドウに基づくフィルター設定。
	<div data-bbox="443 376 794 667"> <p>データアーカイブ <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p><input checked="" type="radio"/> 履歴 アンダーサンプリングなし (全データ)</p> <p><input type="radio"/> 履歴 アンダーサンプリング, 表示するレコード数 <input type="text" value="1"/></p> <p><input type="radio"/> クイック 頻繁なサンプリング56日前</p> <p><input type="radio"/> エネルギー 経時的なエネルギーデータ タイムベース乗数: <input type="text" value="1"/></p> </div>	<p>表示するデータを選択するために使用します:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 履歴 No アンダーサンプリング: 保存されているすべてのデータを表示します - 履歴 アンダーサンプリング: 表示する録音の数を選擇するために使用されます - クイック 頻繁なサンプリング: 過去56日間の頻繁なデータを表示します - エネルギー エネルギーデータの経時変化: タイムベース乗数の選擇に使用します
	<div data-bbox="443 683 794 958"> <p>プロファイル <input type="button" value="X"/></p> <p>--- 新しいプロファイル --- <input type="button" value="→"/></p> <p> プロファイルをロードしてデータを取得する</p> <p> 選択したプロファイルを削除...</p> <p> 現在の選擇を名前を付けて名前を付けて保存</p> </div>	<p>下記のように使用します:</p> <ul style="list-style-type: none"> -保存されたプロファイルを選択する -新しいプロファイルを作成する -作成または編集したばかりのプロファイルを保存する- 保存したプロファイルを削除する <p>NOTE: プロファイルを選択した後、ボタンをクリックする必要があります。適用して関連するデータを表示します。</p>
	<div data-bbox="443 974 794 1153"> <p>時間間隔 <input type="button" value="X"/></p> <p>最後の時間 <input type="text" value="最後の時間"/></p> <p> 1時間 </p> </div>	<p>プリセットのリストから表示間隔を選択するために使用値 (1時間、2時間、3時間、6時間、12時間、1日、2日、1週間)、ソフトウェアはアーカイブが検索された瞬間からカウントダウンを開始します。</p>
	<div data-bbox="443 1176 794 1355"> <p>リソース <input type="button" value="X"/></p> <p>1ネットワーク構成</p> <p> リソースを選択...</p> </div>	<p>既存のプロファイルを選択しない場合、このボックスを使用して、ネットワーク内の表示するデバイスとリソースを設定できます。</p>
	<div data-bbox="443 1377 794 1646"> <p>凡例 <input type="button" value="X"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 0.00:01 Current-Phase2 ● 0.00:01 Reactive Energy ● 0.06:04 HT line suction pressure probe ● 0.06:04 LT line suction pressure probe ● 0.01:06 Stand-by mode ▼ 0.01:06 リンク無し </div>	<p>システムのセットアップ中に選擇されたパラメーターと各行を (色と形状で) ペアリングします。</p> <p>NOTE: チャートが表示されている場合にのみ表示されます。</p>
	<div data-bbox="443 1668 794 1971"> <p>印刷/エクスポート <input type="button" value="X"/></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 統計を表示 <input type="checkbox"/> 凡例を表示 <input type="checkbox"/> ヘッダーを表示 <input checked="" type="radio"/> ランドスケーププリント <input type="radio"/> ポートレイトプリント  印刷  エクスポート </div>	<p>印刷手順またはエクスポート手順中に次を表示するかどうかを選択するために使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> -統計 -凡例 -ヘッダー <p>また、出力表示を水平にするか垂直にするかを決定することもできます。</p>

8.2.3. 履歴テーブル



TelevisGoによって保存された履歴データを表示するには、次のメニューシーケンスを入力します：

 データ →  履歴テーブル


開く画面については、85ページの「8.2.1. ページ構成」に記載されており、利用可能な選択については、86ページの「8.2.2. ウィンドウ選択」に記載されています。

各項目の説明です。：



- **データアーカイブ:**表示するデータを選択します。
- **プロファイル:** プロファイルの選択、保存、または削除に使用されます。プロファイルがロードされると、時間間隔とリソースが自動的に割り当てられます。
- **時間間隔:** 時間間隔の設定に使用されます。
- **リソース:** 特定のプロファイルに割り当てられずにリソースを選択するために使用されます。
- **印刷 エクスポート:**データの印刷またはエクスポートに使用されます。

 ボタンをクリックして選択したプロファイルまたは  アイコンをロードすると、次の画面が表示されます。：

Time of 09/06/2009	アナログ入力 (V)	修正済パラメーター	デバイス状態	キーボード有効化	コンプレッサー	露取リステータス	ファン	補助	ライト	アラーム	ブザー	減少セットポイント	強制換気	出力 1	出力 2	出力 3
14.31.32	41.7	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1
14.32.32	41.7	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1
14.33.32	41.7	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1
14.34.32	41.7	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1
14.35.15					0	1	0							0	1	0
14.35.32	41.7	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0
14.36.32	41.7	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0
14.37.32	41.7	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0
14.38.32	41.7	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0
14.39.32	41.7	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0
14.40.32	41.7	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0
17.08.01	Acquisitions stopped															
17.08.09	Acquisitions 実行中															
17.08.09	41.7	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1
17.09.09	41.7	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1
17.19.34	41.7	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1
17.20.01	Acquisitions stopped															
17.20.18	システム時刻変更: -1 hour															
17.20.46	Acquisitions 実行中															
17.20.52	41.7	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1

次の10 次の50 次の100 次の200 すべて 

各項目の説明は次のとおりです。

- (1)  / : 非同期リソースのバリエーションを展開する/展開するために使用します。(デジタル入力および出力、ステータス、アラーム)。
- (2) **日/時間:** データが保存された日時を識別します。次に、以前に選択されたリソースと、指定された瞬間に各デバイスの値読み取りをリストした一連の列が表示されます。
- (3) **イベント:**色付きの線は、特別な色分けされたイベントの存在を示します：
 - **赤** 背景色：取得が停止された瞬間を識別します
 - **緑** 背景色：取得が開始された瞬間を特定します
 - **YELLOW** 背景色：システム時刻がいつ変更されたかを識別します
 - **グレー** 背景色：システムがオフにされた時間、または電氣的停電が発生した時間を識別します
- (4) **新しい記録:**最初の画面には、最初の50件の結果のみが表示されます。さらに値を表示するには、次のオプションのいずれかを選択します：
 - **次の10:** 次の10の値を表示します。
 - **次の50:** 次の50の値を表示します。
 - **次の100:** 次の100の値を表示します。
 - **次の200:** 次の200の値を表示します。
 - **すべて:** すべての値を表示します。

(NOTE: 場合によっては、これには数分かかることがあります)。

8.2.4. 履歴チャート



次のメニューシーケンスを実行します。:

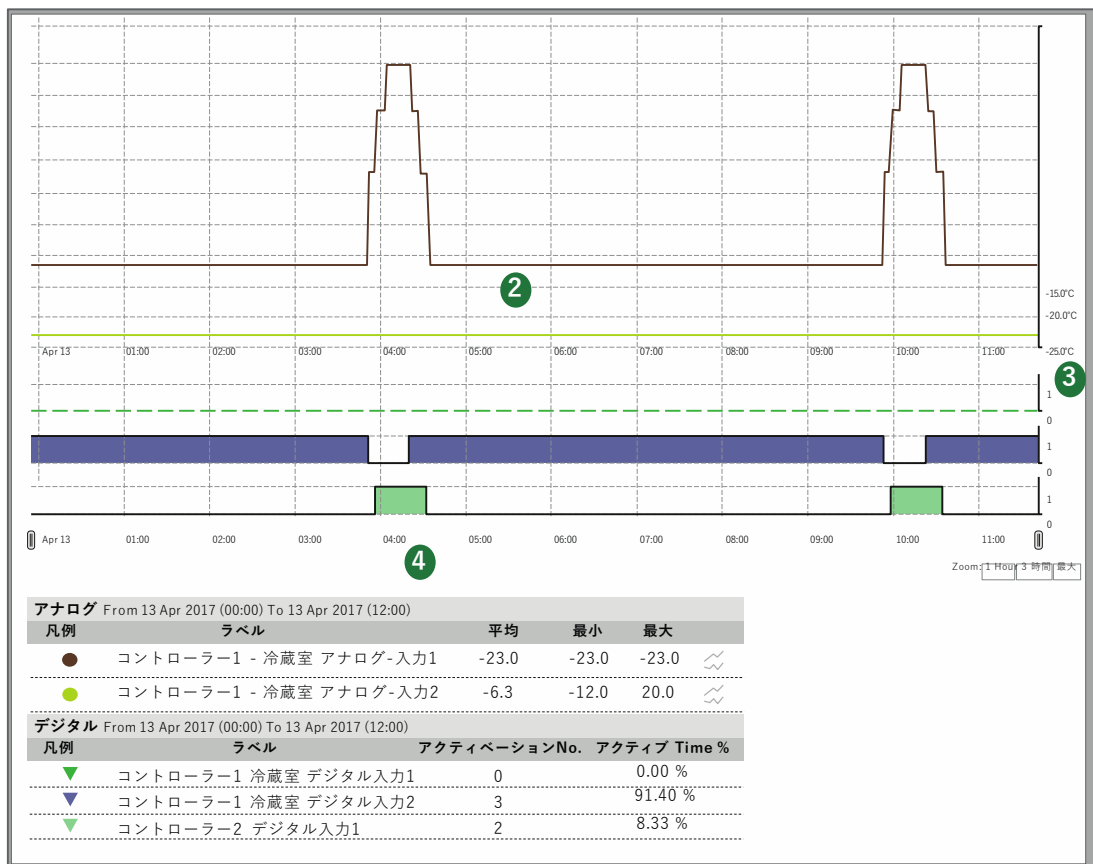
 データ →  履歴チャート

開く画面については、85ページの「8.2.1. ページ構成」に記載されており、利用可能な選択については、86ページの「8.2.2. ウィンドウ選択」に記載されています。

各項目の説明です。:

- **データアーカイブ:** 表示するデータを選択します。
- **プロファイル:** プロファイルの選択、保存、または削除に使用されます。プロファイルがロードされると、時間間隔とリソースが自動的に割り当てられます。
- **時間間隔:** 時間間隔の設定に使用されます。
- **リソース:** 特定のプロファイルに割り当てられずにリソースを選択するために使用されます。
- **凡例:** リソースを表示されている特定の行とペアリングするために使用されます。
- **印刷 エクスポート:** データの印刷またはエクスポートに使用されます。

 ボタンをクリックして選択したプロファイルまたは  アイコンをロードすると、次の画面が表示されます。:



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **凡例:** デバイスプロファイルが作成されていたときに各リソースに対して選択された色を表示します(42ページの「6.2.2. テンプレート管理」を参照ください。)リソースのタイプを識別する記号 (●=アナログリソースおよび▼=デジタルリソース)。
- (2) **リソース チャート:** 値読み取り (y縦軸) と時間経過 (x横軸) の曲線が画面に表示されます。選択された各リソースには、割り当てられた色の独自の行があり、時間の経過とともに値の進行状況が表示されます (例: ●コントローラー1-冷蔵室アナログ-入力1)。
- (3) **値の軸:** 表示されるさまざまな曲線の縦座標軸を示します。複数のリソースの縦座標軸に互換性がある場合、単一の軸が表示されます。そうでない場合は、右側に複数の縦座標軸が表示されます。
- (4) **統計:** 表示されるアナログおよびデジタルリソースに関連する統計を示します。

単一のエンティティのシンボルをクリックして、非表示/表示します。
 アナログエンティティが非表示になっている場合、チャート上の対応する行も非表示になり、値読み取りの軸（測定単位ごとに最大3つ）が残りの値に基づいてサイズ変更されます。
 デジタルエンティティ（デジタル入力/出力、装置ステータス、アラーム）が非表示の場合、そのチャートは消え、次のエンティティがその場所に表示されます。

値の名前の最初の行をクリックすると、ウィンドウが開き、次のことができます。

- **色の変更**：チャートで使用される色を変更します。
- **マーク**：(デジタルエンティティのみ) デジタルエンティティの値1に対応する垂直バンドを表示します。

アナログリソース	デジタルリソース
コントローラー1 冷蔵室 アナログ入力1 色の変更	コントローラー1 冷蔵室 デジタル 入力1 色の変更 マーク

読み取り値の軸 (y座標)

値の軸をクリックすると、次のオプションを含む新しいウィンドウが開きます：

- **プリセットとして設定**： 2軸または3軸がある場合にのみ表示され、選択した軸の測定単位でチャートの値を表示するために使用できます。
- **色の変更**： 軸と対応するグリッドの色をカスタマイズするために使用されます。
- **最小/最大の変更**： 値の軸に表示される最大/最小値をカスタマイズするために使用されます。
- **バンドを設定**： 設定値AおよびBに基づいています（終了グリッド値に設定）。


15を超えるリソースが選択されている場合、次のメッセージが上部に表示されます。「15を超えるエンティティが選択されているため、チャートの表示に時間がかかります。」

表示されるチャートはインタラクティブです。さまざまなリソースの線の上にマウスを移動すると、マウスポインターは形状 ● (リソースと同じ色) になり、次のようになります。

- **チャート内**： 値とそれらが記録された瞬間が表示されます
- **凡例**： すべてのリソースの値が測定単位で表示されます

ズーム： 表示したい時間帯に焦点を合わせるための制御が左下隅にあります：

- **1時間**： 選択した間隔の最後の時間に関連するチャート（前のページを参照）が表示されます。
- **3時間**： 選択した間隔の最後の3時間に関連するチャート（前のページを参照）が表示されます。
- **最大**： 選択した間隔全体に関するチャートが表示されます（前のページを参照）。

間隔を編集するには、カーソルを下にドラッグします。

NOTE： 選択した印刷オプションと同じ向きにプリンターが設定されていることを確認してください。

8.2.5. HACCPプロファイル

プロファイルのセットアップ中に、**HACCP**タイププロファイルとして分類された1つ以上のプロファイルを作成するオプションがあります。これは、印刷段階でデータが表示およびフォーマットされる方法に影響します。

HACCPプロファイルを作成するには、次の条件のいずれかを満たす必要があります。

- A. プロファイルに入力するデバイスごとに、1つのアナログエンティティ（通常は規制プローブ）と、選択したアナログプローブ（通常は霜取りステータス）に関連付けられた1つのマシンステータスのみを選択します。
- B. プロファイルに入力するデバイスごとに、1つのアナログエンティティのみを選択します。

温度値の右側に、マシンのステータス（通常は霜取り）がアクティブな場合、*（アスタリスク）があります。




















フラッシュ印刷（リアルタイムデータの通常の印刷）またはリアルタイム表示の場合、動作は次のとおりです。

- アナログエンティティにエラーがある場合、またはデバイスに到達できない場合、システムはデータログを検索します
その前の最初の有効な温度値。

- 検索時間ウィンドウは、構成レベルで定義されます（デフォルト=30分）。

HACCPプロファイルとしてマークできるのは、ポイント1および2で説明した条件を満たすプロファイルのみです。

ユーザーは、対応するチェックボックスにチェックを入れてプロファイルを**HACCP**としてマークすることを決定しますが、ソフトウェアは、条件が観察された場合にのみこのオプションを提供します。

TeleviseGo   エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー  エネルギー <

8.2.7. エネルギーチャート

次のメニューシーケンスを実行します。:

 データ →  エネルギーチャート

開く画面については、85ページの「8.2.1. ページ構成」に記載されており、利用可能な選択については、86ページの「8.2.2. ウィンドウ選択」に記載されています。

各項目の説明です。:

- **データアーカイブ:** 表示するデータを選択します。
- **プロファイル:** プロファイルの選択、保存、または削除に使用されます。プロファイルがロードされると、時間間隔とリソースが自動的に割り当てられます。
- **時間間隔:** 時間間隔の設定に使用されます。
- **リソース:** 特定のプロファイルに割り当てられずにリソースを選択するために使用されます。
- **凡例:** リソースを表示されている特定の行とペアリングするために使用されます。
- **印刷 エクスポート:** データの印刷またはエクスポートに使用されます。

 クリックして選択したプロファイルまたは  アイコンをロードすると、履歴チャートが開きます (88ページの「8.2.4. 履歴チャート」) をご参照ください。

8.3. アラーム

ネットワーク内のデバイスを確認するには、システムがすべてのデバイスのリソースとアルゴリズムの間に入力する2つの仮想アラーム、「リンク無し」と「デバイス変更」を設定して有効にする必要があります。

NOTICE

操作不可能なデバイス

さまざまなデバイスの「リンク無し」および「デバイス変更」アラームを設定して有効にし、通信がない場合、またはデバイスリソースの誤った認識に操作リンクされた障害の場合に通知を受信します。
これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

8.3.1. リアルタイムアラーム

次のメニューシーケンスを実行します。:

 アラーム →  アラーム状態

表示されるウィンドウは、次の2つのケースを予測しています:

表示方法

以下のように画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **デバイスのフィルタ**: デバイス名によるアラームのフィルタリングに使用されます。
- (2) **アラームフィルタ**: タイプ (発報中(●●)、確認済みのアラーム(●●)) によるアラームの選択に使用 (発報中のアラームは選択解除できません)。
- (3) **ヘルパーを表示**: 関連するチェックボックスをオンにして、テーブルヘッダーを表示および/または凡例を表示/非表示します。
- (4) **アラーム**: デバイス内の既存のアラームのリスト。すでに (B) でフィルタリングされています。アラームアイコンをクリックします (D) その詳細を含むページにアクセスします。
- (5) **アラーム詳細**: アラームリソースがアクティブである期間を示します。
- (6) **コントロールバー**: 36ページの「5.8.ボタンとセレクター」を参照ください。

確認

以下のように画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **アラームメモ**: 選択したすべてのアラーム内に表示されるテキストです。
- (2) **デバイスのフィルタ**: アラームデバイス名によるアラームのフィルタリングに使用されます。
- (3) **ヘルパーを表示**: 関連するチェックボックスをオンにして、テーブルヘッダーを表示または凡例を表示/非表示します。
- (4) **List of アラーム**: 所属するデバイスによってアクティブになっているアラームグループのリストを表示します。アラームが表示されるデバイスは、デバイスフィルター (3) に依存します。
- (5) **アラーム**: アラームを選択するには、各アラームの左側にあるチェックボックスをオンにします。
- (6) **コントロールバー**: 36ページの「5.8.ボタンとセレクター」を参照ください。

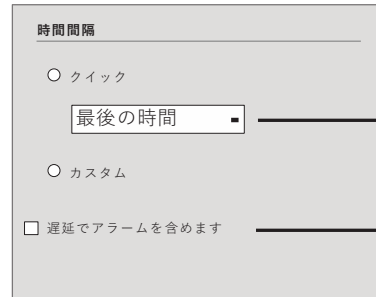
アラームの確認は、アラームステータスに対して操作上の影響はありません。目的は、アラームが少なくとも1人のユーザーに見られたことを示します (複数の操作者がいる状況: 確認されたアラームは、「誰かがそれを把握している」ことを意味します)。

8.3.2. アラームログ

次のメニューシーケンスを実行します。:

アラーム → アラーム履歴

以下のように画面が表示されます:



時間間隔

クイック

最後の時間

カスタム

遅延でアラームを含めます

相対 (**クイック**) または絶対 (**カスタマイズ**) 時間間隔を使用するかどうかが選択します。最初のケースでは、選択された瞬間 (1、2、3、6または12時間、1または2日々)。2番目の場合、開始と終了の日付/時刻を指定する必要があります。

復旧済みのアラームは、関連するチェックボックスを有効にすることで含めることができます。

をクリックして次のページにアクセスします。以下のように画面が表示されます:



1 時間間隔
タイプ: 最後の時間
From: 21/07/2010 15:44:18
to: 21/07/2010 16:44:18
デバイス
2
リソース
3

4

デバイス	コード	アラーム	開始	遅延	終了	期間
999.14:14 TelevisGo	ALM99998	Modem signal strength 低	18/06/10 16.27.41			
0.02:01 ID 974LX	ALM00300	リンク無し	09/07/10 9.46.43			
0.02:00 ID 974LX	ALM00300	リンク無し	09/07/10 9.46.49			
999.14:14 TelevisGo	ALM99999	Acquisitions stopped	20/07/10 16.11.18		21/07/10 16.11.20	1日

5 エクスポート

各項目の説明は次のとおりです。

(1) **時間間隔**: 前の画面で設定された時間間隔を示します。

(2) **デバイス**: デバイス名によるアラームのフィルタリングに使用されます。

(3) **アラーム**: 名前でアラームをフィルタリングするために使用されます。

(4) **詳細**: アラームに関する詳細を表示します:

- **アラームメモ**: アラームアイコンの左側のボックスが黄色 () に色付けされている場合、これは、「アラームメモ」が入力されたことを意味します。
- **アラームアイコン**:
 - 赤 () アラームの発報が識別された場合
 - 緑 () アラームの復旧が識別された場合
- **デバイス**: デバイス名
- **コード**: アラームコード
- **アラーム**: アラームの説明
- **開始**: アラームの開始 日付/時間
- **遅延**: アラームの遅延時間 (通知はされません)
- **終了**: アラームの終了日付/時間
- **期間**: アラームの全体的な持続時間を示します。

(5) **コントロールバー**: [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

「アラームメモ」は、アラーム自体内で (アラームアイコンをクリックすることで) 入力/編集することもできます。

8.4. コマンド

次のメニューシーケンスを実行します。:

 ツール →  コマンド

以下のように画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **デバイスのフィルタ:** 説明によるデバイスのフィルターに使用されます。
- (2) **コマンド:** 1つ以上のデバイスに送信するコマンド/アクションを選択するために使用されます。リストは、ネットワーク内のすべてのデバイスで利用可能なすべてのコマンドのグループと、「スケジュールされたアクション」内で定義された「手動で実行された」パラメータ書き込みアクションです。
- (3) **ヘルパーを表示:** テーブルヘッダーの表示/非表示に使用されます。
- (4) **デバイスリスト:** アドレスの左側にある対応するチェックボックスを使用して個々のデバイスを選択するために使用します。
- (5) **展開する/折りたたみ:** デバイスリストをインターフェイス用に展開/折り畳みます。
- (6) **コントローラバー:** 36ページの「5.8.ボタンとセレクター」を参照ください。

実行が完了すると、次の画面が表示されます:



次の情報が表示されます。

- (7) 存在するエラーをユーザーに通知する文。
点灯したテキストをクリックして、検出されたエラーの完全なリストを含むポップアップを開きます。
- (8) 選択されたすべてのデバイスについて、含むことができる結果:
 - ・ **完了:** アクションは正常に完了しました。
 - ・ **エラー:** エラーが発生しています
- (9) エラーがある場合: 特定のデバイスの「エラー」をクリックして、検出されたエラーのリストを含むポップアップを開きます。

エラーの完全なリストを表示するには、文 (7) または新しい黄色のウィンドウ内の赤の文 (9) をクリックします。次の画面が表示されます:

12 印刷

アドレス: 0.02:00 - 説明: RTX600/V - 名前: 10

ラベル	説明	UM	最小	最大	Set	デバイス	値	結果
rE	設定タイプ	num	0	4	0	0	6	限界値
rP1	Thermostat1 temperature regulation		0	7	6		Pb6	エラー
dF3	プローブ---	---	---	---	---	---	4.0	未定義
dF4	---	---	---	---	---	---	4.0	未定義
dF5	---	---	---	---	---	---	4.0	未定義
dF6	---	---	---	---	---	---	4.0	未定義
dF7	---	---	---	---	---	---	4.0	未定義

アドレス: 0.02:01 - 説明: RTX600/V - 名前: 11

ラベル	説明	UM	最小	最大	Set	デバイス	値	結果
rE	設定タイプ	num	0	4	0	0	6	限界値
rP1	Thermostat1 temperature regulation		0	7	6		Pb6	エラー
dF3	プローブ	---	---	---	---	---	4.0	未定義
dF4	---	---	---	---	---	---	4.0	未定義
dF5	---	---	---	---	---	---	4.0	未定義
dF6	---	---	---	---	---	---	4.0	未定義
dF7	---	---	---	---	---	---	4.0	未定義

次のような項目が表示されます:

(10).エラーが検出されたデバイスのデータ

- アドレス
- 説明
- デバイ스에割り当てられた名前

(11) 検出されたエラーのリスト。各エラーに関連する次の情報が含まれています:

- パラメーター ラベル
- 説明
- 測定単位
- プリセット値
- デバイ스에設定された値
- アクションが書き込みを試行した値
- 検出されたエラーのタイプ

(12) 印刷は、エラーレポート全体の印刷に使用されます。

NOTE: 1つ以上のコマンドの誤った選択 (例: 「デバイスオフ」) は、機器の動作を損なう可能性があります。この例では、コマンド「デバイスOFF」を送信すると、デバイスが物理的にオフになり、データを取得したり、規制手順を実行したりできなくなります。常時は、重要な機能のためにTelevisGoの外部にある制御システムを提供します。

警告

制御不能

システム設計者は、制御回路の潜在的な失敗モードを考慮し、いくつかの重要な制御機能について、回路失敗中および失敗後に安全な状態に到達する手段を提供する必要があります。重要な制御機能の例としては、緊急停止および移動終了停止、電源遮断、再起動があります。

これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

8.5. パラメーター

次のメニューシーケンスを実行します。:

🔧 ツール → 📄 パラメーター

以下のように画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **デバイスのフィルタ**: デバイス説明によるフィルタリングに使用されます。
- (2) **デバイスリスト**: ネットワークでグループ化されたデバイスリストを表示します。
存在するコマンドは、個々のデバイスに固有のものであります。
- (3) **パラメーター**: デバイス行をクリックして、選択したデバイスのパラメーターにアクセスします。
- (4) **展開する/折りたたみ**: インターフェースのデバイスリストを作成します。
- (5) **コントロールバー**: [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

一度に選択できるデバイスは1つだけです。

一部のパラメーターの値を誤って設定すると、値が設定可能な値の範囲内にある場合でも（たとえば、セットポイント、温度など）、機器の動作を損なう可能性があります。

NOTICE

操作不可能なデバイス

アプリケーションにとって重要なリソースのTelevisGoアラームしきい値を有効にします。

これらの指示に従わないと、機器が損傷する可能性があります。

8.5.1. デバイスパラメーター一覧

以下のように画面が表示されます：

ラベル	説明	MU	最小	最大	デフォルト	デバイス	入力
<input type="checkbox"/> SEI	規制設定値	"C"/ F	LSE0	HSE0	-2.4		
<input type="checkbox"/> dF	トリップ差動	"C"/ F	0.1	30.0	0.3		
<input type="checkbox"/> HSE	セットポイントに設定可能な最大値	"C"/ F	LSE0	302.0	-1.0		
<input type="checkbox"/> LSE	セットポイントに設定可能な最小値	"C"/ F	-58.0	HSE0	-2.4		
<input type="checkbox"/> OSP	設定点のオフセット	"C"/ F	-30.0	30.0	0.0		
<input type="checkbox"/> CIt	コンプレッサー出力の最小有効化期間	min	0	250	0		
<input type="checkbox"/> CAI	コンプレッサー出力の最大有効化期間	min	0	250	0		
<input type="checkbox"/> dOd	ドアマイクロが有効化された後、ロードが有効化されます	flag	0	1	0		
<input type="checkbox"/> dAd	有効化デジタル入力からの遅延	min	0	255	0		
<input type="checkbox"/> OnI	欠陥のある規制プロープを使用したコンプレッサー出力のオン時間	min	0	250	10		
<input type="checkbox"/> OFI	欠陥のある調整プロープを使用したコンプレッサー出力のオフ時間	min	0	250	3		
<input type="checkbox"/> dOn	コンプレッサー出力有効化リクエストからの遅延	s	0	250	0		
<input type="checkbox"/> dOF	コンプレッサー出力有効化シャットダウンからの遅延	min	0	250	3		
<input type="checkbox"/> dbI	コンプレッサー出力の2つの連続した開始時間の遅延	min	0	250	0		
<input type="checkbox"/> dOd	電源供給からの遅延出力有効化	min	0	250	0		
<input type="checkbox"/> dTy	露取りタイプ	flag	0	2	0		
<input type="checkbox"/> dIt	露取り間の間隔	h/min/s	0	250	8		
<input type="checkbox"/> dtI	露取り間隔の測定単位	flag	0	2	0		
<input type="checkbox"/> dtZ	露取り間隔の測定単位	flag	0	2	1		
<input type="checkbox"/> dCt	露取り間隔カウントモード	flag	0	2	1		
<input type="checkbox"/> dOH	露取りサイクル有効化リクエストからの遅延	min	0	59	59		

各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **選択されたデバイス:** 選択されたデバイスに関連する情報を表示します：選択されたデバイスのアドレス、説明、名前
- (2) **コマンド:** デバイスに送信するコマンドを選択するために使用します（リストは、ネットワーク内のすべてのデバイスで使用可能なすべてのコマンドのグループです）。
- (3) **パラメーター フィルタ 1:** グループ、ラベル、または説明によってパラメーターをフィルタリングするために使用されます。
- (4) **パラメーター フィルタ 2:** 独立して動作するチェックボックスのペアが3つあります：
 - **チェック行/未チェックの行(*):** フィルタチェック済みまたは未チェックの行。
 - **空の値/ 充填値(*):** ユーザー値を入力して、または入力せずに行をフィルタリングします。
 - **有効の値/ 無効または欠落している値(*):** 有効の値の有無にかかわらず行をフィルタリングします。
- (*) ペアの両方のチェックボックスがチェックされている場合、すべての行が表示されます。チェックボックスがどれもチェックされていない場合、テーブルが表示されます
- (5) **パラメーターマップのロード:** ファイルからマップをロードするために使用されます。ファイルの選択をクリックして、ファイルの選択を許可するウィンドウを開きます
- (6) **パラメーターリスト:** デバイスパラメーター一覧（フィルター済みまたはフィルターなし）を示します。
- (7) **パラメーター選択:** 対応するチェックボックスをチェックして、1つ以上のパラメーターを選択するために使用します。
- (8) **パラメーター 値:** 特定のパラメーターに割り当てる値を入力するために使用されます。パラメーターの値の書き込みを有効にするには、パラメーター名の左側にあるボックスにチェックマークを付けます。
- (9) **コントロールバー:** [36ページの「5.8.ボタンとセレクター」](#)を参照ください。

8.5.2. アルゴリズムパラメーターのリスト

以下のように画面が表示されます：



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **選択されたデバイス:** 選択されたデバイスに関連する情報を表示します：
選択されたデバイスのアドレス、説明、名前
- (2) **コマンド:** デバイスに送信するコマンドを選択するために使用します（リストは、ネットワーク内のすべてのデバイスで使用可能なすべてのコマンドのグループです）。
- (3) **パラメーターフィルタ 1:** グループ、ラベル、または説明によってパラメーターをフィルタリングします。
- (4) **パラメーターフィルタ 2:** 独立して動作するチェックボックスのペアが3つあります。
(97ページの「8.5.1. デバイスパラメーター一覧」)を参照ください。
- (5) **パラメーターマップのロード:** ファイルからマップをロードするために使用されます。
ファイルの選択をクリックして、ファイルを選択できるウィンドウを開きます。
- (6) **UM:** アルゴリズムが動作するフィルターのタイプを識別するアイコンを示しています。(34ページの「5.7. 状態アイコン」)を参照ください。
- (7) **最小:** 以下を示します。
 - マスターフィルター：デバイスの最小番号。
 - 補助フィルター：復元する出力のリソースの最小番号。
- (8) **最大:** 以下を示します。
 - マスターフィルター：フィルターで選択できるデバイスの最大数。
 - 補助フィルター：選択できるリソースの最大数
フィルタあり（最大= 10）。
- (9) **デフォルト:** ハイパーリンクビューをクリックして、デザイナーが読み込んだフィルターを表示します。
- (10) **入力:** 選択されたパラメータ（11）に対して、新しい値を入力するために使用されるチェックボックスがパラメータに適用されるようにします。選択したフィルター（11）について、フィルター管理用のハイパーリンクセットを表示します。フィルタが編集されると、ハイパーリンク編集が表示されます。実行をクリックすると、変更が有効になります。
- (11) **ラベル:** ラベルの左側にある対応するチェックボックスにチェックを入れることで、パラメーターおよび/またはフィルターを選択するために使用します。
- (12) **コントロールバー:** 36ページの「5.8. ボタンとセレクター」を参照ください。

マスターフィルターと補助フィルターは互いに独立して機能します。

出力リソースのタイプは、入力リソースタイプのサブグループです。出力リソースとして設定できるのは、パラメーターとネットワークコマンドのみです。

補助フィルタの場合、最大フィールドの記号*は**最大制限がない**ことを示します。

設定された最小番号が最大番号よりも大きい場合、要素のグループは空です。

マスターフィルターのハイパーリンクセット (10) をクリックすると、次の画面が開きます:



セレクタとリソースの階層が左側に表示されます。ボタンには次の意味があります:

フィルタは、少なくとも1つのセレクタで構成されます。各セレクタは、リソースの個別のサブグループを識別し、追加または減算することができます。

追加のセレクタは、フィルタリングしたリソースをエンドグループに追加し、減算的セレクタは、フルグループからフィルタリングしたリソースを削除します。

NOTE: 選択または順序が重要です。

控除セレクタは、その前にある追加のセレクタの結果をフィルタリングする場合にのみ役立ちます。セレクタを編集するには、そのセレクタの アイコンをクリックします。

画面の右側に表示されるボックスに関する詳細については、

[45ページの「6.3. スキャンニング」](#) を参照ください。

セレクタのプロパティの編集が完了したら、 **[保存]** をクリックします。

補助入力または出力フィルタのハイパーリンクセット (10) をクリックすると、次の画面が開きます:

入力フィルタ

入力フィルタの編集

1 タイプ アナログ
 デジタル
 状態
 アラーム
 パラメーター

2 ID

3 名前

4 ラベル

警告：EEPROMデバイスの書き込み頻度が高すぎると、電子デバイスが損傷する可能性があります。

警告

意図しない機器の操作
EEPROMパラメーターを頻繁に書き込むと、システムメモリが破損する場合があります。
これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

出力フィルタ

出力フィルタの編集

1 タイプ パラメーター
 コマンド

2 ID

3 名前

4 ラベル

警告：EEPROMデバイスの書き込み頻度が高すぎると、電子デバイスが損傷する可能性があります。

警告

意図しない機器の操作
EEPROMパラメーターを頻繁に書き込むと、システムメモリが破損する場合があります。
これらの指示に従わないと、死亡、重傷、または機器の損傷につながる可能性があります。

各項目の説明は次のとおりです。

(1) **タイプ:** 補助入力フィルタの場合、フィルタが適用される要素のタイプを選択します:

- アナログリソース
- デジタルリソース
- 状態リソース
- アラーム
- パラメーター


補助出力フィルタの場合、フィルタが適用される要素のタイプを選択します:

- パラメーター
- コマンド

(2) **ID:** 識別に基づいてリソースをフィルタリングするために使用されます。文字、数字、ワイルドカード文字 (?および*) の特定の組み合わせのみを受け入れます。3つの大文字のアルファベット文字と5つの番号で構成され、ダッシュとその他のテキストが続く場合があります。例: INP40001-1、ALM00300

(3) **名前:** 前の手順で選択した言語に翻訳された名前に基づいてリソースをフィルタリングするために使用されます。ワイルドカード文字 (?および*) の使用を許可します。


(4) **ラベル:** 「パラメーター」タイプが選択されている場合にのみ表示- (1)。入力または出力リソースの選択に使用コード (大文字と小文字を区別) を入力します。

セレクタのプロパティの編集が完了したら、 [保存] をクリックします。

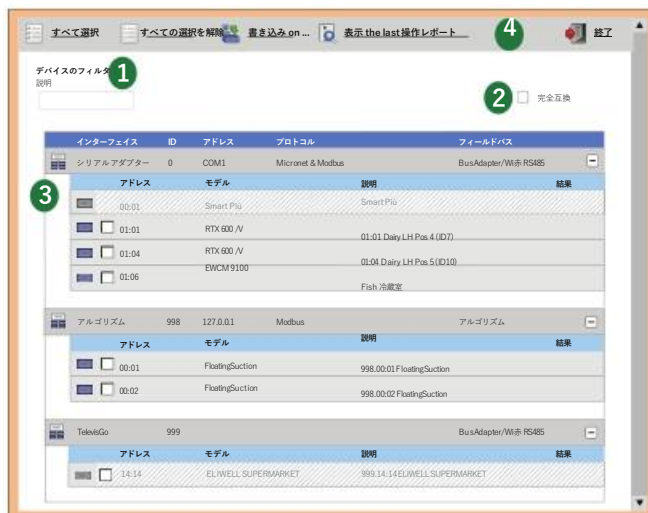
8.5.3. 複数のデバイスでの書き込み

段落に示されている画面を参照する:

- 97ページの「8.5.1. デバイスパラメーター一覧」もしくは
- 98ページの「8.5.2. アルゴリズムパラメーターのリスト」を参照ください。

 [書き込み] をクリックして、前のページで入力したパラメーター値を書き込むデバイスの選択ページにアクセスします。

次のような画面が表示されます:




各項目の説明は次のとおりです。

(1) **デバイスのフィルタ:** 説明によるデバイスのフィルタリングに使用されます。


(2) **完全互換:** 新しいパラメータ値が入力されている開始元のデバイスと完全に互換性のあるデバイスのみを表示するために使用されていました。

(3) **デバイスリスト:** パラメータ書き込みが適用される、選択可能なデバイスリストを表示します。TelevisGoおよび参照デバイスは選択できません。

(4) **コントロールバー:** 36ページの「5.8. ボタンとセレクター」を参照ください。

 **最後の操作レポートを表示する**をクリックすると、次のような画面が表示されます：



実行された最後の書き込み手順、どのデバイスおよびどのパラメーターでの表示。 **[印刷]**をクリックして、レポート全体を印刷します。

8.6. RVD

次のメニューシーケンスを実行します。：

 ツール →  RVD (リモート仮想デバイス)

以下のように画面が表示されます：



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **デバイスのフィルタ**: デバイス説明によるフィルタリングに使用されます。
- (2) **デバイスリスト**: ネットワーク内のデバイスのリストをインターフェース別にグループ化して表示します。機能が存在し、有効になっているデバイスのみが表示されます。
- (3) **RVDアクセス**: デバイスの行をクリックして、対応するRVDにアクセスします。
- (4) **展開する/折りたたみ**: デバイスリストを展開/折りたたみます。
- (5) **コントロールバー**: **36ページの「5.8.ボタンとセレクター」**を参照ください。

画面には、選択したデバイスの写真が表示されます。：



コントロールバーは上部にあります(**36ページの「5.8.ボタンとセレクター」**)を参照ください。

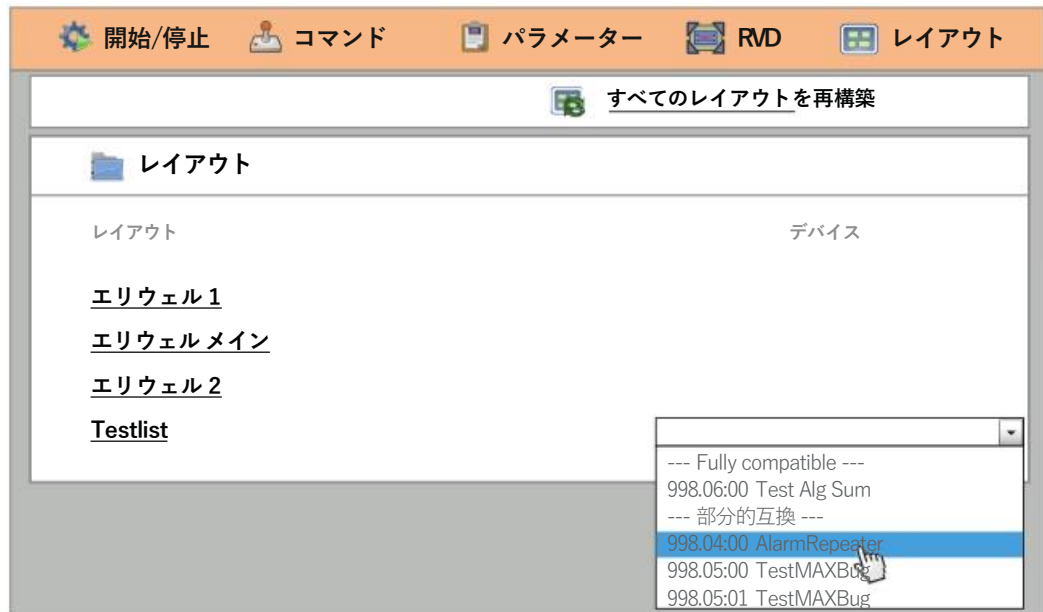
グラフィック表示は、実際のデバイスの外観に似ています。
画面上のデバイスに対して実行されるさまざまな手順（ボタンを押す、アクティブなLEDを表示するなど）は、デバイス自体での作業と同じです。
NOTE: RVD機能は特定のデバイスでのみ使用可能です。


8.7. レイアウト

次のメニューシーケンスを実行します。:

 ツール →  レイアウト

以下のように画面が表示されます:



 **すべてのレイアウトを再構築** をクリック:

• **外部のコンピューター上のレイアウトデザイナー:**

システム更新ページにロードされたレイアウトのリストのみが更新されます:

 コンピュータ →  アップグレード →  プラント →  レイアウトページ

システム更新ページから新しいレイアウトまたは編集されたレイアウトをリロードします。

• **TelevisGoにプリロードされたレイアウトデザイナー:** 存在するすべてのレイアウトが更新され（TelevisGo imポートがレイアウトに加えられた変更）、新しいレイアウトがロードされます。この場合、システム更新ページを使用してロードする必要はありません。

リスト上の名前をクリックして、それに関連付けられているレイアウトを表示します。

レイアウトがパラメトリックである場合（個別に選択された同じデバイスにのみ有効）、右側にドロップダウンリストが表示され、そこからユーザーは表示するデバイスを選択できます。ドロップダウンリストで、デバイスは次のようにグループ化されます:


- **完全互換:** リストの先頭に表示されているデバイス。すべてのリソースがレイアウトに表示されています。
- **部分的互換:** リストの最後に表示されるデバイス。レイアウトにリソースの一部が含まれています。
- **非互換:** 表示されていないデバイスには、レイアウトに存在するリソースがありません。

同じドロップダウンリストもレイアウト画面に表示され、選択するだけで、あるデバイスから別のデバイスに切り替えられます。

← をクリックして前のページに戻り、使用可能なレイアウトのリストを表示します



全般およびパラメトリックレイアウトに対応する画面では、コントロールバーが上部にあります(36ページの「5.8.ボタンとセレクター」)を参照ください。

パラメータの自動更新は、レイアウト画面が開かれたときにのみ行われます。表示された値を手動で更新するには、 パラメータの読み込みをクリックします。

マウスポインターをオブジェクトの上に置くと、その特性を含むウィンドウが表示されます。

パラメータを編集するには、マウスで値を選択し、新しい値を入力して「Enter」を押します。

入力した値が有効な場合、緑のテキスト「**Completed**」がテキストボックスの上に表示されます。; そうでない場合は、赤のテキスト「**Error**」が表示されます。

NOTE:レイアウトの作成/メンテナンスに関する詳細については、マニュアルを参照してください。

9MA00237 MAN レイアウトデザイナー IT

チャプター 9 オフライン MODE

9.1. オフラインモード

次のメニューシーケンスを実行します。:

 **設定** →  **オフラインモードに進む**

画面が表示され、次の情報をオフラインで設定できます:

- インターフェイス
- アラーム
- スケジュールされたアクション

完了したら、 **[オフラインモードを終了]**をクリックして通常の作業環境に戻ります。

9.2. オフライン設定

次のメニューシーケンスを実行します。:

 **設定** →  **インターフェイス** →  **オフライン設定**

次のような画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

(1) **オフライン設定**: 以前に保存された構成をロードするために使用されます。

(2) **デバイステンプレート**: 以前に作成したテンプレートをネットワーク内の1つ以上のデバイスに関連付けるために使用できるドロップダウンメニュー

 **デバイステンプレートの管理**は、テンプレートを管理するために使用できる新しいウィンドウを開きます。(41ページの「6.2.1. デバイステンプレートの管理」)を参照ください。

(3) **デバイスのフィルタ**: 入力ボックスに入力されたテキストに基づいてデバイスリストをフィルタリングします。

(4) **リソースのフィルタ**: 入力ボックスに入力されたテキストおよびリソースの有効なタイプに基づいて、特定のリソースのチェックボックスにチェックを入れて、リソースリストをフィルタリングします。

(5) **ネットワーク外**: 選択されていないリソースの表示/非表示に使用できます。

(6)  **編集インターフェイス**: インターフェイス情報を編集するために使用される新しいウィンドウを開きます(108ページの「9.5. オフラインのアラーム」)を参照ください。

- (7) **編集:** デバイス情報を編集するために使用される新しいウィンドウを開き、必要に応じて作成/編集テンプレートを開きます。(42ページの「6.2.2. テンプレート管理」)を参照ください。
- (8) **コピー:** 1つのデバイスの設定を1つ以上の他の同様のデバイスにコピーするために使用できます。(44ページの「6.2.5. コピー...」)を参照ください。
- (9) **説明:** ユーザーによってデバイスに割り当てられた名前。
- (10) **リソース:** デバイスのリソースリストを展開する/折りたたみするために使用されます。
- (11) **コントロールバー:** 36ページの「5.8. ボタンとセレクター」を参照ください。

インターフェイスビューには、次の情報が表示されます:

- **アドレス:** デバイスアドレス
- **モデル:** 使用されるデバイスタイプ
- **説明:** デバイス名
- **リソース:** デバイスに存在するリソースの番号

リソースリストが展開されると、次の情報が表示されます:

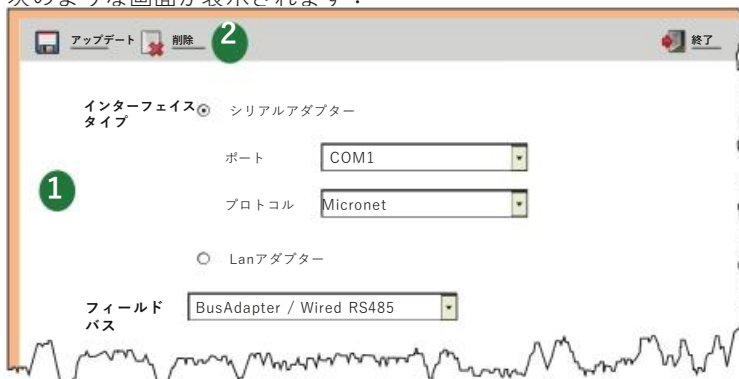
- **説明:** リソースの名前;ユーザーが変更できます。
- **コード:** デバイスリソースのコード (例: ALM00300)。
- **チャート:** カラーリソースは、チャート形式で表されます。
- **遅延 (分):** アラームアクティベーション分単位の遅延。

各デバイスとペアになっているすべてのリソースは、デフォルトで無効になっています。

9.3. インターフェイスの編集

105ページの「9.2. オフライン設定」を参照し、 **インターフェイスの編集**をクリックし、そのインターフェイスの名前の左側で、選択したインターフェイスの情報を管理します。


次のような画面が表示されます:



各項目の説明は次のとおりです。

- (1) **インターフェイス 情報:** 選択したインターフェイスに関連する情報のリスト。編集して保存するために使用します。
- (2) **コントロールバー:** 36ページの「5.8. ボタンとセレクター」を参照する。

9.4. 設定の適用

新しいデバイスネットワークがオフラインで構成されたら、物理ネットワークに適用するには、 **設定の適用**をクリックします。

TelevisGoは、設定されたアドレスを使用して、デバイス構成のネットワークのスキューニングを自動的に開始します。ネットワークスキューニングで説明したのと同じように機能しません。(47ページの「6.3.2. デバイスネットワークのスキューニング」)を参照ください。

スキューニングが完了すると、次のような画面が表示されます：



各項目の説明は次のとおりです。

(1) **アドレスとモデル**:各デバイスに対応するアドレスとペアにします。

(2) **結果**: スキューニングの結果を示します。結果は次のとおりです。：

- ✓: 全てのリソースは、実際のネットワークデバイスに一致します。
- ✗: デバイスが見つかりませんでした。アドレスとモデルが正しいことを確認してください。
- ⚠: リソースは部分的に一致しました。

(3) **リソース**: リソースの総数に対して選択されたリソースの数を示します。

(4) **説明**: リソースリストが選択され、一致するかどうかを示されます：

- ✓: リソースが一致しました。
- ✗: リソースが一致しませんでした。

(5) **物理ネットワークに行く**:画面を物理ネットワーク表示に戻します。

一部のデバイスまたはリソースが見つからない場合は、物理ネットワークからも消えます。

9.5. オフラインのアラーム

オフラインのアラームを設定するには、次のメニューシーケンスを実行します：

 **設定** →  **アラーム**

この時点で、アラームに適用するアラームカテゴリ、アクション、および時間間隔を構成できます。操作は、TelevisGoについて前述したものと同じです。

次の画面が利用可能になります：

- **概要:** 設定されたアラームのカテゴリのリスト。
(77ページの「7.4.1. 表示方法」)を参照ください。
- **アラームカテゴリ:** アラームカテゴリの設定に使用されます。
(78ページの「7.4.2. アラームカテゴリ」)を参照ください。
- **アクション:** アクションの設定に使用されます。
(79ページの「7.4.3. アクション」)を参照ください。
- **時間間隔:** 時間間隔の設定に使用されます。
(81ページの「7.4.4. 時間間隔」)に使用されます。

9.6. スケジューラ

オフラインのアラームを設定するには、次のメニューシーケンスを実行します：

 **設定** →  **スケジュール**

操作は、TelevisGoについて前述したものと同じです。

次の画面が使用可能になります：

- **概要:** セットのスケジュール済みアクションのリスト。
(63ページの「6.7.1. 表示方法」)を参照ください。
- **アクション:** 実行するアクションを設定するために使用されます。
(64ページの「6.7.2. スケジュールされたアクション管理」)を参照ください。

CHAPTER 10

HTTPSプロトコルの構成

10.1. 証明書

以下の画像は、TelevisGoにインストールされている「Eliwell CA」証明書の構造の例を示しています。これは自己認証であり、デフォルトでTelevisGoの「**Trusted Root Certification Authorities**」フォルダにインストールされます。



TelevisGOは以下の環境で動作します:

- **http** 以前のバージョンと同様のhttpモード。
NOTE: このモードは「安全でない」と見なされます。
- **https** URLへの接続によるモード: **https://[装置名].https**での操作は2つの方法で実行できます:
 1. TelevisGoに接続する各マシンに「ELIWELL CA」証明書をインストールします。
NOTE: 証明書はエリウェルによって自己署名され、ブラウザによって認識されず、ユーザーのセキュリティを保証するものではありません。(110ページの「10.2. 他のPCへの証明書のインストール」)を参照ください。
 2. ブラウザで認識され、Televislonの認定証明書機関 (Digicert、Verisignなど) によって発行された証明書を購入してインストールします。
(111ページの「10.3. 新しい証明書のインストール」)を参照ください。

NOTE:

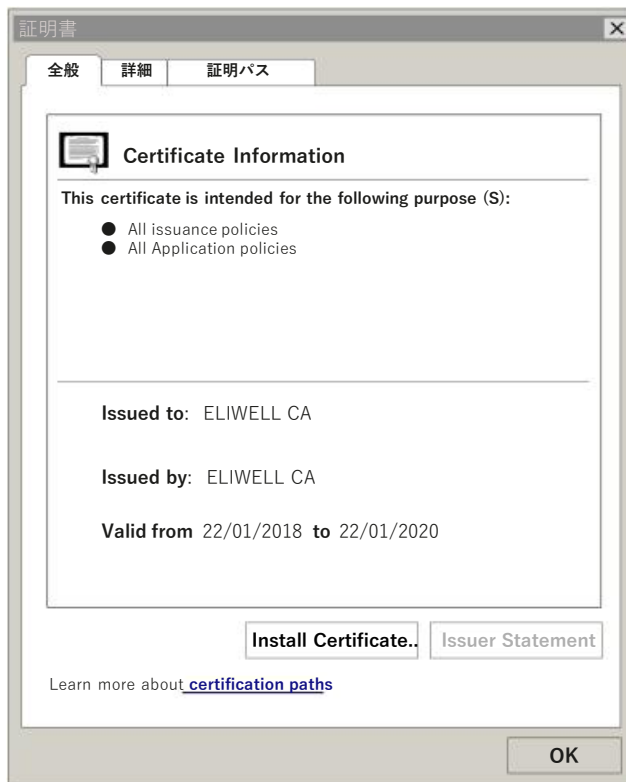
システムのセキュリティを強化するには、次のように**http** (タイプ1) を介して接続をブロックできます。:

1. TelevisGoのC:\Eliwell\Televis\binにアクセスし、テキスト編集またはテキスト編集を使用してファイルを開きます。

GenericSettings.xml.

2. 変数「WebServerallownonsecurconnections」を検索します。
3. 変数の値を「FALSE」に設定します。

10.2. 他のPCへの証明書のインストール



開始時に、証明書に対応する**CertificateGo.cer**ファイルがTelevisGoフォルダに生成されます。(“[109ページ](#)の「[10.1. 証明書](#)」)を参照ください。

TelevisGoとの安全なリモート接続を確立するには、それがエリウェルによって自己署名され、ブラウザによって認識されない「**ELIWELL CA**」証明書であるため、TelevisGoに接続する各装置にその証明書をインストールする必要があります。

正しくインストールするには、次の手順に従ってください：

- 証明書をインストールする装置にファイルをコピーします。
- 証明書をダブルクリックします。
- 開いたウィンドウで、「**Install Certificate...**」をクリックして、インストールウィザードを起動します。
- “**Next>**”をクリックします。
- “all certificates in the following store”を選択します。
- “**Browse...**”をクリックし、“Trusted Root Certification Authorities”のファイルを検索します。
- “**Next>**”をクリックします。
- “**Finish**”をクリックします。

これで、証明書が装置に正しくインストールされ、httpsを介したTelevisGoとのリモート通信が少なくなります。

10.3. 新しい証明書のインストール

ユーザーが公認機関によって発行された証明書に証明書を発行して保護することを決定した場合、それをTelevisGoに正しくインストールするには、次の手順を実行します。:

- 認定機関が発行した証明書をTelevisGoの「**Personal**」フォルダにインストールします。
 - 「**Start**」をクリックし、次に「**Run**」をクリックします。
 - テキストボックスに「**inetmgr**」と入力し、Enterキーを押します。
 - この時点で、**IISインターフェイス**が開きます。
 - 左側のメニューで、（順番に）選択します：**TelevisGo -> Sites -> ReverseProxy.**
 - 右側のメニューで、「**Bindings...**」をクリックします
 - この時点で、「**https**」バインディングを選択し、「**Edit**」をクリックします。
 - 最後に、SSL証明書フィールドで、ドロップダウンメニューを開き、新しくインストールされた証明書、**[OK]**をクリックします。
- この時点で証明書は正しくインストールされ、TelevisGoに割り当てられます。

チャプター 11

レイアウトデザイナー

レイアウトデザイナーは、グラフィカルな表現のために、デバイスのネットワークのレイアウトのオフライン設定を可能にするコンピューターソフトウェアアプリケーションです。

ユーザーは、ネットワークまたはTelevisGo自体に接続することなく、オフラインモードでTelevisGoに接続された自分のネットワーク（任意のコンピューター）のグラフィカル表現（レイアウト）を作成できます。

レイアウトデザイナーは実際にTelevisGoのインターフェイスと同様のインターフェイスを使用し、さまざまなデバイスの位置を使用してシステムのグラフィカルレイアウトを作成したり、特定のデバイスの特定のリソースの値をリアルタイムで表示したりできます。ツールはTelevisGoにプリロードされているため、設置は不要です。

赤を登録して電子メールアドレスを確認した後、エリウエルのWebサイトからも入手できます。予約エリアにアクセスするには、www.eliwell.comで登録してください。

CHAPTER 12

システムの更新とバックアップ

12.1. システムの更新

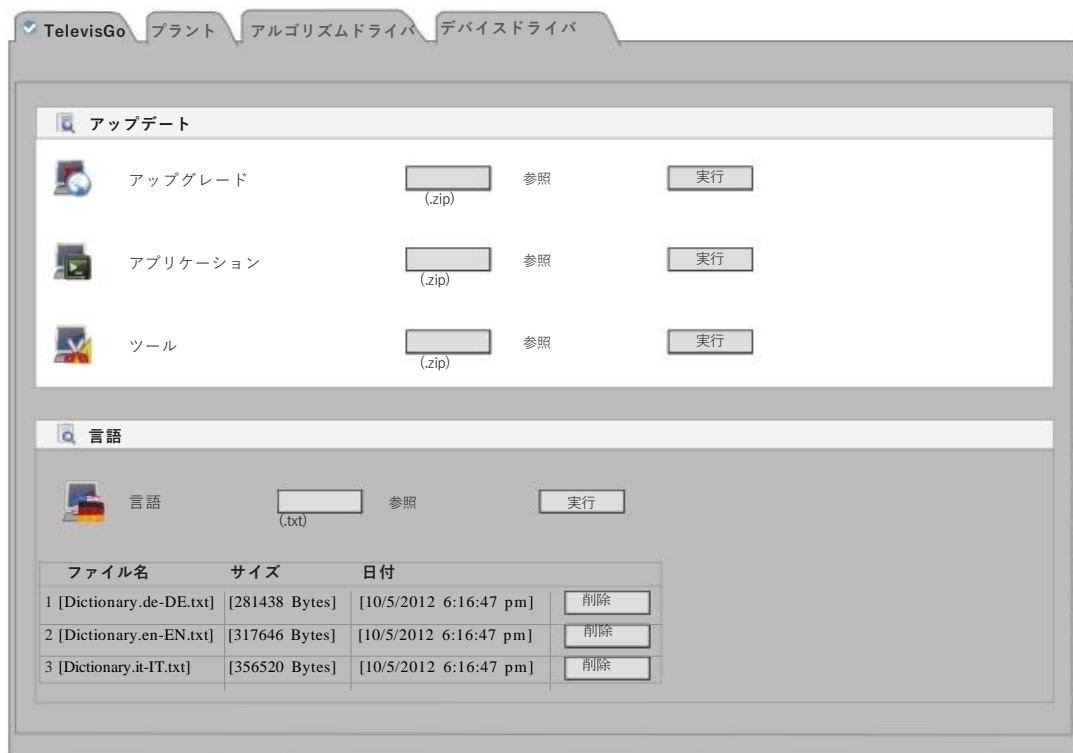
システムは、関連する更新ファイルをロードすることで更新できます。

12.1.1. TELEVISGO

システムを更新するには、次のメニューシーケンスを入力します：

🖥️ **コンピューター** → 🔄 **アップグレード** → 🌐 **TelevisGo**

以下のように画面が表示されます：



以下のアップデートは其中で実行できます：

- **アップグレード**： TelevisGoアップデートを管理するアプリケーションです。
- **アプリケーション**：TelevisGoアプリケーションを更新します。
- **ツール**：「**オフラインコンフィグレータ**」および「**レイアウトデザイナー**」ソフトウェアアプリケーションを更新/ロードします。
- **言語**： TelevisGoシステム用語集を更新/ロードします。

アプリケーションアップデートパッケージは、www.eliwell.comからダウンロードできます。

- 1.デバイスドライバの更新プログラムが含まれています。
- 2.通知メッセージ用の辞書とカスタマイズファイルは含まれていません（ローカルの変更が上書きされるため）。

アプリケーション（したがってドライバー）の更新に続いて、システムはネットワークスキャンを実行する必要があることを示す ⚠️ アイコンを表示する場合があります。

NOTE: デバイスのドライバーが見つからない場合は、エリウェルテクニカルサポートポートにお問い合わせください。

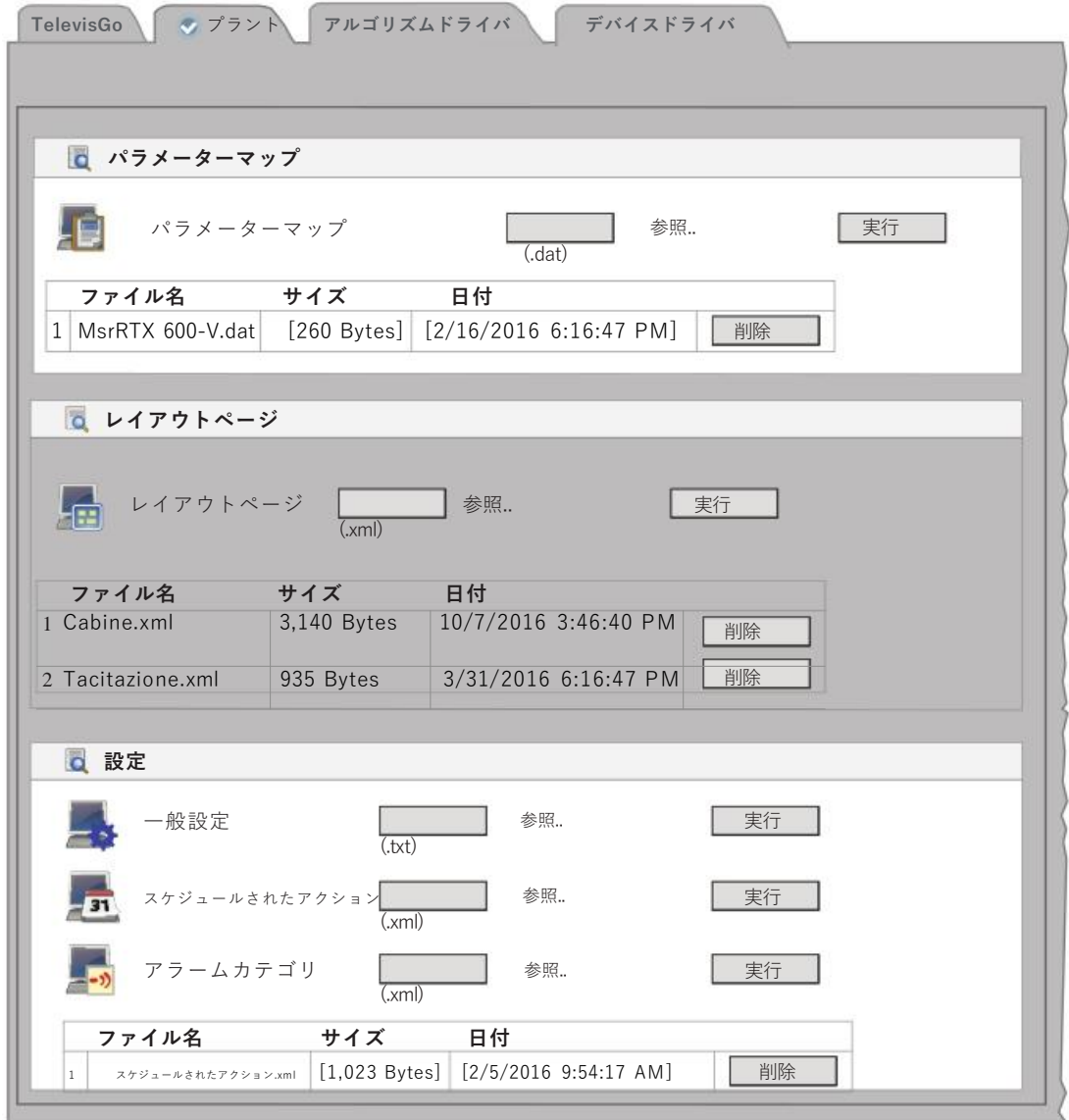
（テクニカルヘルプライン： +39 0437 986 300-電子メール： Techsupp@schneider-electric.com）。

12.1.2. プラント

システムを更新するには、次のメニューシーケンスを入力します：

 **コンピューター** →  **アップグレード** →  **プラント**

以下のように画面が表示されます：



パラメーターマップ

パラメーターマップ (dat) 参照.. 実行

ファイル名	サイズ	日付	
1 MsrRTX 600-V.dat	[260 Bytes]	[2/16/2016 6:16:47 PM]	削除

レイアウトページ

レイアウトページ (xml) 参照.. 実行

ファイル名	サイズ	日付	
1 Cabine.xml	3,140 Bytes	10/7/2016 3:46:40 PM	削除
2 Tacitazione.xml	935 Bytes	3/31/2016 6:16:47 PM	削除

設定

一般設定 (txt) 参照.. 実行

スケジュールされたアクション (xml) 参照.. 実行

アラームカテゴリ (xml) 参照.. 実行

ファイル名	サイズ	日付	
1 スケジュールされたアクション.xml	[1,023 Bytes]	[2/5/2016 9:54:17 AM]	削除

以下のアップデートは其中で実行できます：

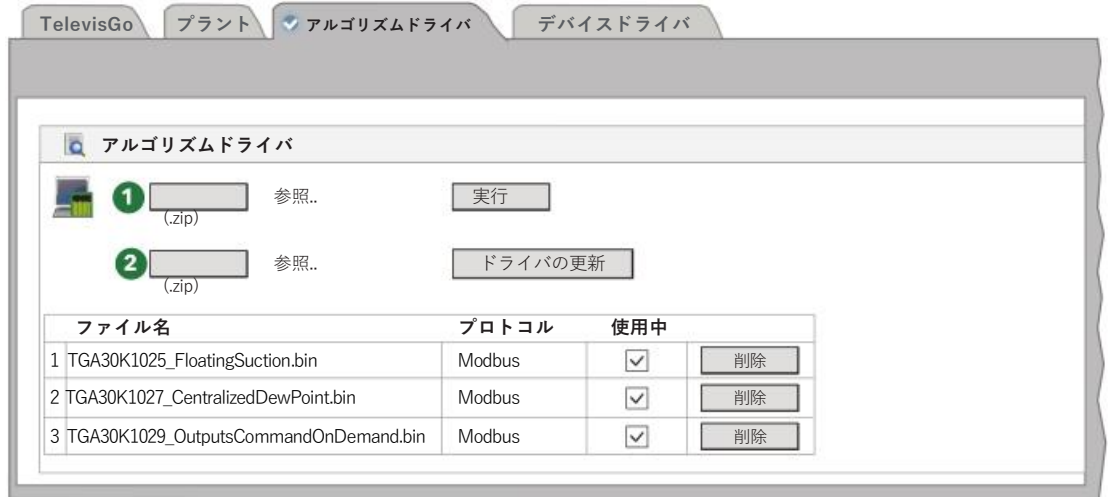
- **パラメーターマップ:** スケジュールされたアクションに使用されるマップをロードします。
- **レイアウトページ:** 1つ以上のレイアウトページの読み込みに使用されます。(103ページの「[8.7. レイアウト](#)」)を参照ください。
- **一般設定:** この手順では、ファイル「Forced_setting.txt」を使用します。

12.1.3. アルゴリズムドライバ

アルゴリズムを更新するには、次のメニューシーケンスを入力します：

🖥️ **コンピューター** → 🔄 **アップグレード** → ⚙️ **アルゴリズムドライバ**

以下のように画面が表示されます：



以下の更新は、その中で実行できます。

アルゴリズムドライバ：FREE Studioプログラミング環境で作成されたアルゴリズムを更新/ロードします。

新しいアルゴリズムをロードするには、(1)で**ファイルの選択**をクリックしてアルゴリズムのファイル（形式TGA30Kxxxx_NomeAlgoritmo.bin）を選択し、**実行**してロードします。

以前にロードしたアルゴリズムを更新するには、(2)でファイルの選択を押してアルゴリズムのファイルを選択し、**ドライバの更新**で更新します。

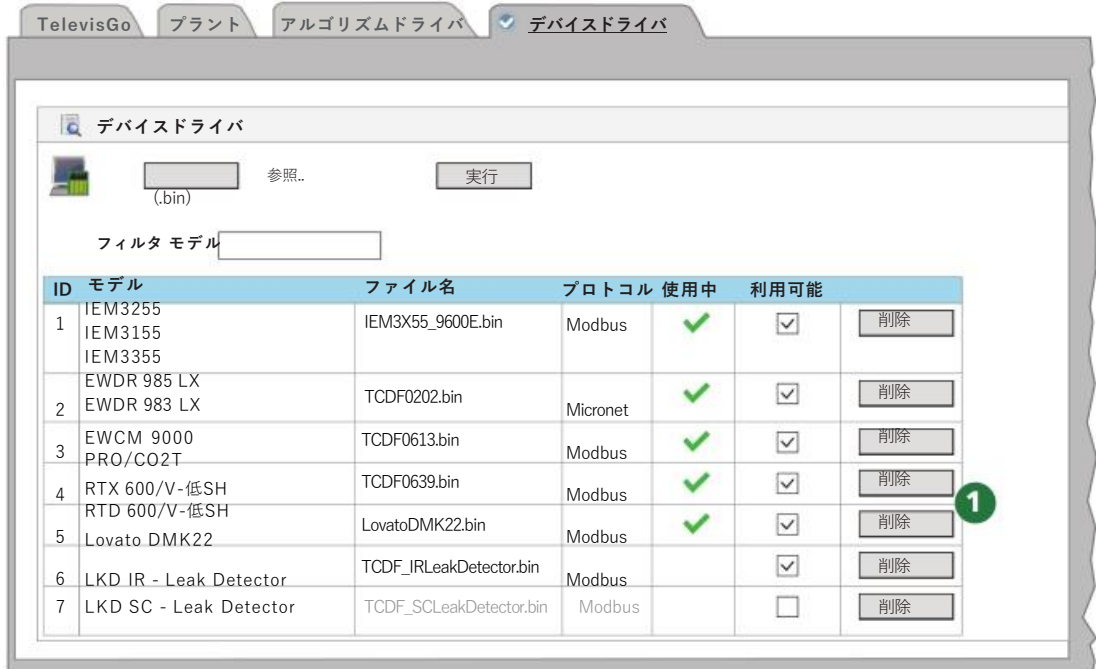
NOTE: デバイスのドライバが見つからない場合は、エリウェルテクニカルサポートポートにお問い合わせください。

12.1.4. デバイスドライバ

デバイスドライバーを更新するには、次のメニューシーケンスを入力します。デバイスドライバーを更新するには、次のメニューシーケンスを入力します：

 **コンピューター** →  **アップグレード** →  **デバイスドライバ**

以下のように画面が表示されます：



以下の更新は、その中で実行できます。

デバイスドライバ：デバイスのドライバーのロード/アップデートに使用されます。

ドライバーの更新は、既存のドライバーを上書きします。

アップデートを実行する前に、ドライバーのバックアップコピーを作成してください。

([117ページ](#)の「**12.4. システムのバックアップ/復元**」)を参照ください。

削除ボタンは、対応する構成/ドライバーファイルを削除します。

(1) TelevisGoに存在するすべてのドライバーのリスト。

NOTE: デバイスのドライバーが見つからない場合は、エリウェルテクニカルサポートポートにお問い合わせください。

12.2. ライセンスの更新

ライセンスは、必要に応じて更新できます（たとえば、接続できるデバイスの数を増やすため、または追加機能をアクティブにするため）。次のメニューに移動します：

 **コンピューター** →  **ライセンスの更新**

.画面で、エリウェルが提供する「現在のコード」と「新しいコード」(1)を入力し、「**開始アップデート**」をクリックします。入力したコードが正しくない場合、エラーメッセージが表示されます。



12.3. 再起動

アップグレード、アプリケーション、ツール、言語、アルゴリズム、ドライバー、またはライセンスのカテゴリの1つ以上を更新した後、変更を有効にするにはTelevisGoソフトウェアを再起動する必要があります。

これを行うには、次のメニューを入力します：

 コンピューター →  リブート

再起動をクリックします。

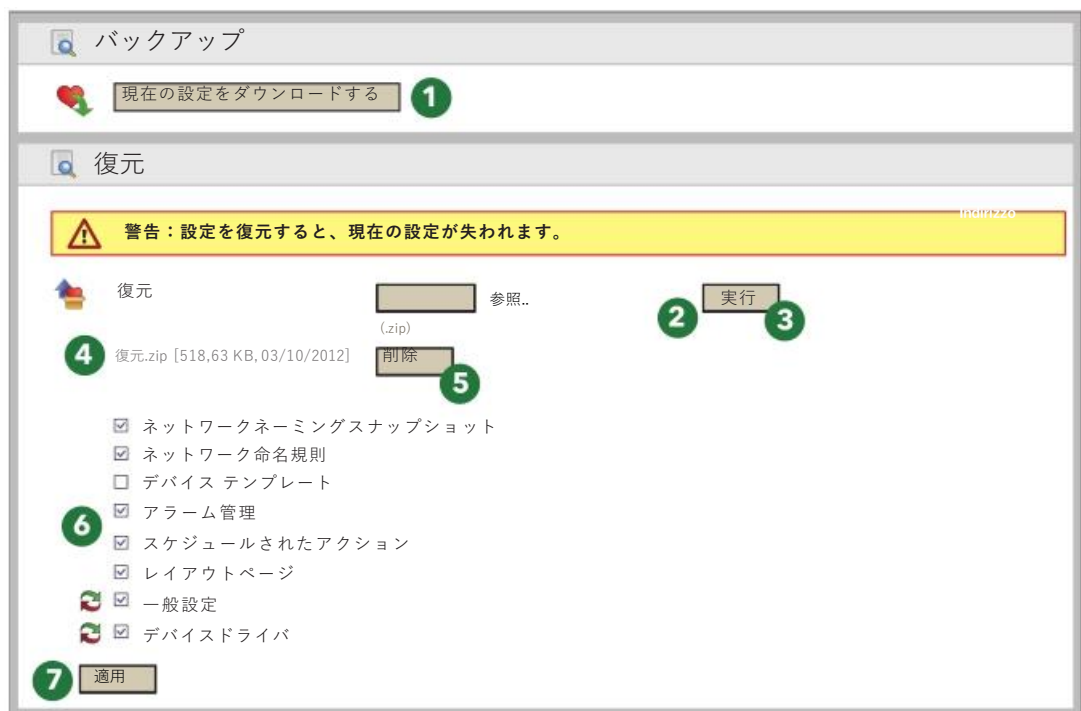
この手順により、PCがTelevisGoから切断されます。ログインページが数分以内に自動的に表示されない場合は、ブラウザを終了してから再度開きます。

12.4. システムのバックアップ/復元


システム構成をバックアップできます。次のメニューを見つけます：

 コンピューター →  バックアップ/復元

以下のように画面が表示されます：



バックアップ

 **現在の設定をダウンロードする** (1) をクリックすると、「デバイステンプレート」を含む.zipファイルと

「スケジュールされたアクション」が作成されます。

ユーザーは、作成されたファイルをアーカイブする必要があります。

スキャンニングとデバイスネットワークのカスタマイズ、アラームの設定、スケジュールdアクションの設定が完了したらすぐにバックアップを作成することをお勧めします。

復元

復元すると、以前にアーカイブされた設定のグループをTelevisGoにロードできます。

(2) **ファイルの選択**：バックアップするファイルを選択して復元するウィンドウを開きます。

(3) **実行**：選択したファイルのTelevisGoへのロードをアクティブにします。

(4) 読み込みが完了すると、バックアップファイルの名前、サイズ、および日付が表示されます（ただし、復元プロセスはまだ完了していません）。

(5) **削除**：以前にロードされたファイルを削除するために使用。

(6) 適用ボタン (7) の上にいくつかのチェックボックスがあります。ユーザーはこれらにチェックを入れて、復元に設定します。

(7) **適用**：TelevisGoは、ロードされたファイルの内容に従って復元されます (4)。

実際、復元ツールを使用して、同じシステムにバックアップ機能を再適用したり、異なるシステムに情報を複製したりできます。

復元プロセスは、現在のシステム設定を上書きするため、元に戻すことはできません（復元プロセスを続行する前に、ユーザーが安全なバックアップを作成する必要があります）。

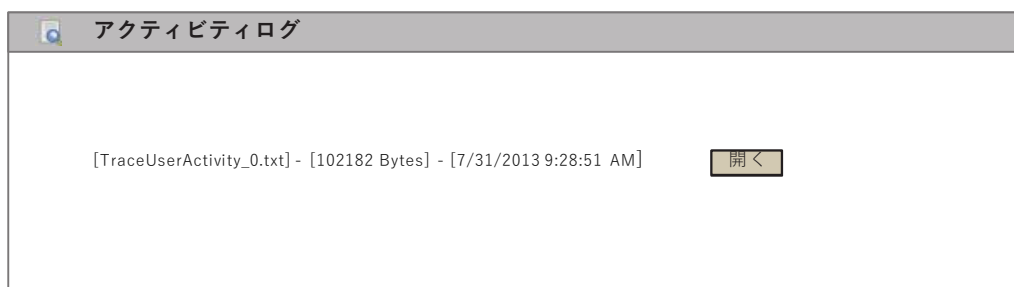
復元プロセスがネットワーク分類に関係する場合は、ネットワークスキャンが実行されていることを確認してください。

12.5. アクティビティログ

TelevisGoは、ユーザーが実行した主な手順を記録します：

 コンピューター →  アクティビティログ

画面には、**[開く]**をクリックして参照できる1つ以上のテキストファイルが表示されます。



アクティビティロギングテキストファイルは、循環形式で管理されているファイルのグループ（最大10ファイル）に属しているため、情報は無限ではありませんが、ユーザーアクティビティの量に応じて一定期間保持されます。

これらのファイル内でデータを記録するために使用される言語は、システム言語です。

必要に応じてより簡単に確認できるように、ユーザーアクティビティトレースもアプリケーショントレースファイルに英語で記載されています。

ファイルに記録されているアクティビティのリストは次のとおりです。

- ログイン-自動ログイン-ログアウト
- 開始/停止データ取得
- スケジュール/アクションの開始/停止
- コマンドの実行
- パラメーターページからのコマンドの実行
- パラメーター書き込み
- RVDアクセス
- ネットワークスキャン
- 新しいネットワーク構成の保存
- デバイス名の編集と保存
- ネットワーク外デバイスの編集と保存
- アラームアクションの編集/作成/削除
- 間隔の編集/作成/削除
- スケジュールされたアクションの編集/作成/削除
- システム名の編集と保存
- 更新：ページ内のファイルの更新
 - コンピューターの更新
 - バックアップ/復元
 - 分類
 - デバイステンプレート
 - ドライバ
- 再起動
- 更新：ファイルの削除
 - アプリケーション
 - 分類ルール
 - アップデート
 - 辞書
 - ドライバ
 - スケジュールされたアクション
 - レイアウト
 - パラメーターマップファイル
- ライセンスの更新
- 設定バックアップ
- 設定の復元
- 編集と保存：
 - 一般設定 → システム
 - 一般設定 → TelevisTwin
 - 一般設定 → アラーム
 - 一般設定 → メディア
- 編集と保存
 - データアーカイブ → 制御
- 編集と保存
 - データアーカイブ → 管理
- 編集と保存
 - コンピューター → 情報 → ネットワーク設定。

チャプター 13

管理ツール

13.1. ディスクイメージの復元

機能は、Windows 7のバージョンでのみ使用できます。

この機能は、インストールされたソフトウェアとオペレーティングシステムを復元するために使用されます。

この手順では、ハードディスクに保存されているすべての情報（TelevisGoのソフトウェア、データ、設定）が削除されます。

- A) 続行するには、空のファイルを「C:¥」システムに追加し、名前を付けて復元を有効にする必要があります。次に、TelevisGoを再起動します。ファイルは、再起動するたびに削除されます。
B) 再起動すると、次のメニューが10秒間表示されます。

- 自動ウィンドウブート：通常のオペレーティングシステムの起動
 - Eliwell Factoryイメージの復元：：インストールされたソフトウェアとオペレーティングシステムを復元します。
 - バックアップイメージの作成：パーソナルアシスタント用
- 上/下矢印を使用して、オプション「Eliwell Factoryイメージの復元：」を選択し、Enterキーを押します。上/下矢印を使用して、復元するイメージを選択し、Enterキーを押します。
上/下矢印を使用して「OK」を選択し、Enterを押します。手順には約10分かかります。
C) システム復元が完了したら、メニューに入ります：

🖥️ コンピューター → 📄 ライセンスの更新

ライセンスの更新	
現在のコード	2MBQB6ATASMJQQMYAB35BPM4YRRJQ ①
新しいコード	<input type="text"/> ②
更新の開始 ③	

- エリウェルテクニカルサポートポータル (techsuppeliwell@schneider-electric.com) に電子メールを送信します。
メッセージの件名として「TELEVISGO LICENSE」。製品コードとIDコードを記入してください。
(1) 新しいライセンスコードとアクティブ化するライセンスのタイプ (LEまたは標準) の計算、およびサイズ。
- エリウェルテクニカルサポートポータルは、灰色のテキストボックスに入力する新しいライセンスコードを電子メールで送信します (2)。
- 「更新の開始」をクリックします (3)。

13.2. ダウンロードファイル

問題を診断するために、システムステータスとその構成に関する情報を含む.zipファイルをダウンロードできます。

これを行うには、ブラウザを開いてタイプするだけです：

http://<TelevisGo address>/debug.rlx

TelevisGoのアドレスは、ユーザーインターフェースの通常の使用中に使用されるものです（例：192.168.1.50）。
ユーザーは、FTPまたはリモートアクセス通信を使用して、ファイルをTelevisGoにロードできます。

CHAPTER 14

REMOTE DATA ACCESS PROTOCOL

14.1. DATA PROTOCOL

TelevisGoは、サードパーティの顧客が独自のアーカイブに保存されたデータを抽出し、文書に記載されているTCP/IP通信プロトコルを使用してシステム上でリモートプロシージャを実行することを許可しています。

Data_Download_Protocol.doc (英語版のみ)

コマンド、タイムスケール、ハンドシェイクモードに関するすべての詳細を提供します。

NOTE: この場合、顧客の場合、企業ネットワークやVPNなどの本質的に安全なインフラストラクチャによる情報の保護が必要です。

サポートされる機能は次のとおりです。

- システムステータスに関する全般情報の回復
- リアルタイムデータの回復
- 履歴データの回復
- TelevisGoの時刻を変更する
- コマンドをデバイスに送信する
- デバイスにパラメーターを記述する

ユーザーとTelevisGo間の通信をさせるには、2つのシステム間に物理イーサネットタイプ接続が存在する必要があります。

チャプター 15

よくあるご質問

15.1. FAQ

• **機能使用中メッセージ**：TelevisGo機能のロックを回避するには、常にログアウトボタンを使用してアプリケーションを終了します。そうしないと、使用中の機能は作業セッションが期限切れ（20分）になるまでロックされたままになり、他の操作者による使用が妨げられます。

• **デバイスの説明**：さまざまなシステム機能（パラメーター、RVDなど）にアクセスするためのデバイス/リソースの選択に使用されるページには、デバイス/リソースの「説明」に基づいて機能するフィルターを適用するオプションがあります。

フィルターを使用して選択を簡単にするには、簡単に説明を割り当てることをお勧めします
認識します。

次のようなデバイスの命名システム：

- 冷凍食品キャビネット 1
- 冷凍食品キャビネット 2
- ⋮
- 冷凍食品キャビネット n
- 野菜ディスプレイ 1
- 野菜ディスプレイ 2
- ⋮
- 野菜ディスプレイ m
- 正温度制御ユニット
- 負温度制御ユニット

文字列「**冷凍食品**」をフィルターに入力するだけで、グループ内のすべてのデバイスを簡単に識別できます（または、「**制御ユニット**」という文字列を使用して制御ユニットを検索できます）。同じ概念が、個々のデバイスリソース/アラームの命名にも適用されます。

• **アラーム詳細**：アラームがトリガー赤であるが、アラームリセットに関連付けられたアクションではないときに、アクションが表示されるのはなぜですか？

これは、そのアラーム管理カテゴリに接続されているカテゴリまたはアクションが削除されたときに発生します。システムは、そのアラームのリセットに関連するアクションを実行できなくなります。

• **システムが有効期間外であっても、なぜアラームカテゴリに関連付けられたアクションを実行するのですか？**

これは、アラームインスタンスが有効期間内に開始した場合に発生します。
アラームがリセットされても、有効期間外であっても管理は継続されます。

• **ドライバーを更新した後、なぜいくつかの文字列が欠落するのですか？**

これは、ドライバが更新されるときに辞書が更新されないために発生します。
辞書を更新するには、更新ページにアクセスし、辞書を更新します（「更新」セクションを参照）。

Eliwell Controlls s.r.l.

Via dell'Industria, 15 • Z.I. Paludi
32016 Alpago (BL) - ITALY

T: +39 0437 986 111

F: +39 0437 989 066 www.eliwell.com

カスタマーテクニカルサポート:

T: : +39 0437 986 300

E: Techsuppeliwell@schneider-electric.com

営業:

T: +39 0437 986 100 (Italy)

T: +39 0437 986 200 (other countries)

E: salesエリウェル@schneider-electric.com

MADE IN TAIWAN

code 9MA10061.09 • TelevisGo • rel.03/19 • EN ©
2019 Eliwell • All rights reserved